

<人文学部人文学科> (認定課程：高等学校 国語)

年 次	時 期		各段階における到達目標
1年次	第1学期	第1ターム	人文学を専門的に学修していく上で必須となる文献を探す・読む・まとめる・報告するといった基礎的な能力を修得するとともに、教職の意義を考え、教員の役割、職務内容、進路選択に資する各種の機会の提供等について理解する。また、日本国憲法や情報リテラシー科目、英語科目、健康スポーツ講義を履修することで、現代社会に生きる社会人としての力を養う。
		第2ターム	
	第2学期	第3ターム	教育についての基礎的な概念と手法および生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)について理解するとともに、人文学に属する個別の学問分野についての基礎的な概念や知識を幅広く修得する。
		第4ターム	
2年次	第1学期	第1ターム	教育課程の意義及び編成の方法、教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想を理解する。さらに免許にかかわる基礎講義科目を履修することを通して、教科にかかわる基礎的な知識を修得すると同時に、実習・研究法科目を履修することで教科に関する実践的な能力を涵養する。
		第2ターム	
	第2学期	第3ターム	今日求められる資質・能力を育成するために必要な教科指導の方法と、それを成立させる指導技術を理解し、その基本を身につける。同時に教科教育に関係する基礎講義科目を履修して、さらなる基礎的な知識の蓄積を図るとともに、実習・研究法科目の履修を継続して、実践的な能力を高めていく。また、社会とつながる形で人文学の可能性について理解を深めるため、キャリアデザインないしは表現プロジェクト演習を履修する。
		第4ターム	
3年次	第1学期	第1ターム	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項、教科の指導法、生徒指導、進路指導や教育相談の理論及び方法を理解する。これと並行して、発展講義と発展演習を履修することで2年次の学修に積み上げる形で、教科教育に関連する専門的な知識の修得と専門的な見地に立脚した実践力を養うことを目指していく。
		第2ターム	
	第2学期	第3ターム	高度な科目の教育方法、道徳の指導方法と生徒指導、進路指導や教育相談の理論及び方法を理解するとともに、発展講義および発展演習の継続的な履修により、教科に関する専門的知識の修得と実践力の涵養を進める。
		第4ターム	
4年次	第1学期	第1ターム	教育実習を通して教員の業務について理解を深め、自己の課題を認識し、教員に必要な資質を向上させる。あわせて自ら主体的に設定した専門的なテーマについて論文を執筆するため、関連する資料を正しく収集、精確に活用し、整合的論理展開を導く能力を涵養する。
		第2ターム	
	第2学期	第3ターム	教育実習での体験をグループで振り返り、効果的な板書や説明の方法を身に付けることおよび専門分野のまとめを行い、その分野の背景や研究の意義を理解し、教職実践演習を通じて自己の課題を認識し、教員に必要な資質を向上させる。同時に自ら設定したテーマについて論文執筆の作法に則り、大学生活の着実な成果としての論考をまとめ上げることを通して、論理的な議論を行い、文章化する思考力を身につける。
		第4ターム	

<人文学部人文学科> (認定課程：中学校 国語)

年 次	時 期		各段階における到達目標
1年次	第1学期	第1ターム	人文学を専門的に学修していく上で必須となる文献を探す・読む・まとめる・報告するといった基礎的な能力を修得するとともに、教職の意義を考え、教員の役割、職務内容、進路選択に資する各種の機会の提供等について理解する。また、日本国憲法や情報リテラシー科目、英語科目、健康スポーツ講義を履修することで、現代社会に生きる社会人としての力を養う。
		第2ターム	
	第2学期	第3ターム	教育についての基礎的な概念と手法および生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)について理解するとともに、人文学に属する個別の学問分野についての基礎的な概念や知識を幅広く修得する。
		第4ターム	
2年次	第1学期	第1ターム	教育課程の意義及び編成の方法、教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想を理解する。さらに免許にかかわる基礎講義科目を履修することを通して、教科にかかわる基礎的な知識を修得すると同時に、実習・研究法科目を履修することで教科に関する実践的な能力を涵養する。
		第2ターム	
	第2学期	第3ターム	今日求められる資質・能力を育成するために必要な教科指導の方法と、それを成立させる指導技術を理解し、その基本を身につける。同時に教科教育に関係する基礎講義科目を履修して、さらなる基礎的な知識の蓄積を図るとともに、実習・研究法科目の履修を継続して、実践的な能力を高めていく。また、社会とつながる形で人文学の可能性について理解を深めるため、キャリアデザインないしは表現プロジェクト演習を履修する。
		第4ターム	
3年次	第1学期	第1ターム	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項、教科の指導法、生徒指導、進路指導や教育相談の理論及び方法を理解する。これと並行して、発展講義と発展演習を履修することで2年次の学修に積み上げる形で、教科教育に関連する専門的な知識の修得と専門的な見地に立脚した実践力を養うことを目指していく。
		第2ターム	
	第2学期	第3ターム	高度な科目の教育方法、道徳の指導方法と生徒指導、進路指導や教育相談の理論及び方法を理解するとともに、発展講義および発展演習の継続的な履修により、教科に関する専門的知識の修得と実践力の涵養を進める。
		第4ターム	
4年次	第1学期	第1ターム	教育実習を通して教員の業務について理解を深め、自己の課題を認識し、教員に必要な資質を向上させる。あわせて自ら主体的に設定した専門的なテーマについて論文を執筆するため、関連する資料を正しく収集、精確に活用し、整合的論理展開を導く能力を涵養する。
		第2ターム	
	第2学期	第3ターム	教育実習での体験をグループで振り返り、効果的な板書や説明の方法を身に付けることおよび専門分野のまとめを行い、その分野の背景や研究の意義を理解し、教職実践演習を通じて自己の課題を認識し、教員に必要な資質を向上させる。同時に自ら設定したテーマについて論文執筆の作法に則り、大学生生活の着実な成果としての論考をまとめ上げることを通して、論理的な議論を行い、文章化する思考力を身につける。
		第4ターム	

<人文学部人文学科> （認定課程：高等学校 英語）

年 次	時 期		各段階における到達目標
1年次	第1学期	第1ターム	人文学を専門的に学修していく上で必須となる文献を探す・読む・まとめる・報告するといった基礎的な能力を修得するとともに、教職の意義を考え、教員の役割、職務内容、進路選択に資する各種の機会の提供等について理解する。また、日本国憲法や情報リテラシー科目、英語科目、健康スポーツ講義を履修することで、現代社会に生きる社会人としての力を養う。
		第2ターム	
	第2学期	第3ターム	教育についての基礎的な概念と手法および生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)について理解するとともに、人文学に属する個別の学問分野についての基礎的な概念や知識を幅広く修得する。
		第4ターム	
2年次	第1学期	第1ターム	教育課程の意義及び編成の方法、教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想を理解する。さらに免許にかかわる基礎講義科目を履修することを通して、教科にかかわる基礎的な知識を修得すると同時に、実習・研究法科目を履修することで教科に関する実践的な能力を涵養する。
		第2ターム	
	第2学期	第3ターム	今日求められる資質・能力を育成するために必要な教科指導の方法と、それを成立させる指導技術を理解し、その基本を身につける。同時に教科教育に関係する基礎講義科目を履修して、さらなる基礎的な知識の蓄積を図るとともに、実習・研究法科目の履修を継続して、実践的な能力を高めていく。また、社会とつながる形での人文学の可能性について理解を深めるため、キャリアデザインないしは表現プロジェクト演習を履修する。
		第4ターム	
3年次	第1学期	第1ターム	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項、教科の指導法、生徒指導、進路指導や教育相談の理論及び方法を理解する。これと並行して、発展講義と発展演習を履修することで2年次の学修に積み上げる形で、教科教育に関連する専門的な知識の修得と専門的な見地に立脚した実践力を養うことを目指していく。
		第2ターム	
	第2学期	第3ターム	高度な科目の教育方法、道徳の指導方法と生徒指導、進路指導や教育相談の理論及び方法を理解するとともに、発展講義および発展演習の継続的な履修により、教科に関する専門的知識の修得と実践力の涵養を進める。
		第4ターム	
4年次	第1学期	第1ターム	教育実習を通して教員の業務について理解を深め、自己の課題を認識し、教員に必要な資質を向上させる。あわせて自ら主体的に設定した専門的なテーマについて論文を執筆するため、関連する資料を正しく収集、精確に活用し、整合的論理展開を導く能力を涵養する。
		第2ターム	
	第2学期	第3ターム	教育実習での体験をグループで振り返り、効果的な板書や説明の方法を身に付けることおよび専門分野のまとめを行い、その分野の背景や研究の意義を理解し、教職実践演習を通じて自己の課題を認識し、教員に必要な資質を向上させる。同時に自ら設定したテーマについて論文執筆の作法に則り、大学生活の着実な成果としての論考をまとめ上げることを通して、論理的な議論を行い、文章化する思考力を身につける。
		第4ターム	

<人文学部人文学科> (認定課程：中学校 英語)

年 次	時 期		各段階における到達目標
1年次	第1学期	第1ターム	人文学を専門的に学修していく上で必須となる文献を探す・読む・まとめる・報告するといった基礎的な能力を修得するとともに、教職の意義を考え、教員の役割、職務内容、進路選択に資する各種の機会の提供等について理解する。また、日本国憲法や情報リテラシー科目、英語科目、健康スポーツ講義を履修することで、現代社会に生きる社会人としての力を養う。
		第2ターム	
	第2学期	第3ターム	教育についての基礎的な概念と手法および生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)について理解するとともに、人文学に属する個別の学問分野についての基礎的な概念や知識を幅広く修得する。
		第4ターム	
2年次	第1学期	第1ターム	教育課程の意義及び編成の方法、教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想を理解する。さらに免許にかかわる基礎講義科目を履修することを通して、教科にかかわる基礎的な知識を修得すると同時に、実習・研究法科目を履修することで教科に関する実践的な能力を涵養する。
		第2ターム	
	第2学期	第3ターム	今日求められる資質・能力を育成するために必要な教科指導の方法と、それを成立させる指導技術を理解し、その基本を身につける。同時に教科教育に関係する基礎講義科目を履修して、さらなる基礎的な知識の蓄積を図るとともに、実習・研究法科目の履修を継続して、実践的な能力を高めていく。また、社会とつながる形で人文学の可能性について理解を深めるため、キャリアデザインないしは表現プロジェクト演習を履修する。
		第4ターム	
3年次	第1学期	第1ターム	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項、教科の指導法、生徒指導、進路指導や教育相談の理論及び方法を理解する。これと並行して、発展講義と発展演習を履修することで2年次の学修に積み上げる形で、教科教育に関連する専門的な知識の修得と専門的な見地に立脚した実践力を養うことを目指していく。
		第2ターム	
	第2学期	第3ターム	高度な科目の教育方法、道徳の指導方法と生徒指導、進路指導や教育相談の理論及び方法を理解するとともに、発展講義および発展演習の継続的な履修により、教科に関する専門的知識の修得と実践力の涵養を進める。
		第4ターム	
4年次	第1学期	第1ターム	教育実習を通して教員の業務について理解を深め、自己の課題を認識し、教員に必要な資質を向上させる。あわせて自ら主体的に設定した専門的なテーマについて論文を執筆するため、関連する資料を正しく収集、精確に活用し、整合的論理展開を導く能力を涵養する。
		第2ターム	
	第2学期	第3ターム	教育実習での体験をグループで振り返り、効果的な板書や説明の方法を身に付けることおよび専門分野のまとめを行い、その分野の背景や研究の意義を理解し、教職実践演習を通じて自己の課題を認識し、教員に必要な資質を向上させる。同時に自ら設定したテーマについて論文執筆の作法に則り、大学生活の着実な成果としての論考をまとめ上げることを通して、論理的な議論を行い、文章化する思考力を身につける。
		第4ターム	

<人文学部人文学科> (認定課程：高等学校 公民)

年 次	時 期		各段階における到達目標
1年次	第1学期	第1ターム	人文学を専門的に学修していく上で必須となる文献を探す・読む・まとめる・報告するといった基礎的な能力を修得するとともに、教職の意義を考え、教員の役割、職務内容、進路選択に資する各種の機会の提供等について理解する。また、日本国憲法や情報リテラシー科目、英語科目、健康スポーツ講義を履修することで、現代社会に生きる社会人としての力を養う。
		第2ターム	
	第2学期	第3ターム	教育についての基礎的な概念と手法および生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)について理解するとともに、人文学に属する個別の学問分野についての基礎的な概念や知識を幅広く修得する。
		第4ターム	
2年次	第1学期	第1ターム	教育課程の意義及び編成の方法、教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想を理解する。さらに免許にかかわる基礎講義科目を履修することを通して、法律学（国際法を含む、政治学（国際政治を含む。））、社会学、経済学（国際政治を含む。））、哲学、倫理学、宗教学、心理学などの教科にかかわる基礎的な知識を修得すると同時に、実習・研究法科目を履修することで教科に関する実践的な能力を涵養する。
		第2ターム	
	第2学期	第3ターム	今日求められる資質・能力を育成するために必要な教科指導の方法と、それを成立させる指導技術を理解し、その基本を身につける。同時に教科教育に関係する基礎講義科目を履修して、さらなる基礎的な知識の蓄積を図るとともに、実習・研究法科目の履修を継続して、実践的な能力を高めていく。また、社会とつながる形での人文学の可能性について理解を深めるため、キャリアデザインないしは表現プロジェクト演習を履修する。
		第4ターム	
3年次	第1学期	第1ターム	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項、教科の指導法、生徒指導、進路指導や教育相談の理論及び方法を理解する。これと並行して、発展講義と発展演習を履修することで2年次の学修に積み上げる形で、法律学（国際法を含む、政治学（国際政治を含む。））、社会学、経済学（国際政治を含む。））、哲学、倫理学、宗教学、心理学などの教科教育に関連する専門的な知識の修得と専門的な見地に立脚した実践力を養うことを目指していく。
		第2ターム	
	第2学期	第3ターム	高度な科目の教育方法、道徳の指導方法と生徒指導、進路指導や教育相談の理論及び方法を理解するとともに、発展講義および発展演習の継続的な履修により、教科に関する専門的知識の修得と実践力の涵養を進める。
		第4ターム	
4年次	第1学期	第1ターム	教育実習を通して教員の業務について理解を深め、自己の課題を認識し、教員に必要な資質を向上させる。あわせて自ら主体的に設定した専門的なテーマについて論文を執筆するため、関連する資料を正しく収集、精確に活用し、整合的論理展開を導く能力を涵養する。
		第2ターム	
	第2学期	第3ターム	教育実習での体験をグループで振り返り、効果的な板書や説明の方法を身に付けることおよび専門分野のまとめを行い、その分野の背景や研究の意義を理解し、教職実践演習を通じて自己の課題を認識し、教員に必要な資質を向上させる。同時に自ら設定したテーマについて論文執筆の作法に則り、大学生活の着実な成果としての論考をまとめ上げることを通して、論理的な議論を行い、文章化する思考力を身につける。
		第4ターム	

<人文学部人文学科> (認定課程：高等学校 地理歴史)

年 次	時 期		各段階における到達目標
1年次	第1学期	第1ターム	人文学を専門的に学修していく上で必須となる文献を探す・読む・まとめる・報告するといった基礎的な能力を修得するとともに、教職の意義を考え、教員の役割、職務内容、進路選択に資する各種の機会の提供等について理解する。また、日本国憲法や情報リテラシー科目、英語科目、健康スポーツ講義を履修することで、現代社会に生きる社会人としての力を養う。
		第2ターム	
	第2学期	第3ターム	教育についての基礎的な概念と手法および生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)について理解するとともに、人文学に属する個別の学問分野についての基礎的な概念や知識を幅広く修得する。
		第4ターム	
2年次	第1学期	第1ターム	教育課程の意義及び編成の方法、教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想を理解する。さらに免許にかかわる基礎講義科目を履修することを通して、日本史、外国史、人文地理学及び自然地理学などの教科にかかわる基礎的な知識を修得すると同時に、実習・研究法科目を履修することで教科に関する実践的な能力を涵養する。
		第2ターム	
	第2学期	第3ターム	今日求められる資質・能力を育成するために必要な教科指導の方法と、それを成立させる指導技術を理解し、その基本を身につける。同時に教科教育に関係する基礎講義科目を履修して、さらなる基礎的な知識の蓄積を図るとともに、実習・研究法科目の履修を継続して、実践的な能力を高めていく。また、社会とつながる形での人文学の可能性について理解を深めるため、キャリアデザインないしは表現プロジェクト演習を履修する。
		第4ターム	
3年次	第1学期	第1ターム	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項、教科の指導法、生徒指導、進路指導や教育相談の理論及び方法を理解する。これと並行して、発展講義と発展演習を履修することで2年次の学修に積み上げる形で、日本史、外国史、人文地理学及び自然地理学などの教科教育に関連する専門的な知識の修得と専門的な見地に立脚した実践力を養うことを目指していく。
		第2ターム	
	第2学期	第3ターム	高度な科目の教育方法、道徳の指導方法と生徒指導、進路指導や教育相談の理論及び方法を理解するとともに、発展講義および発展演習の継続的な履修により、教科に関する専門的知識の修得と実践力の涵養を進める。
		第4ターム	
4年次	第1学期	第1ターム	教育実習を通して教員の業務について理解を深め、自己の課題を認識し、教員に必要な資質を向上させる。あわせて自ら主体的に設定した専門的なテーマについて論文を執筆するため、関連する資料を正しく収集、精確に活用し、整合的論理展開を導く能力を涵養する。
		第2ターム	
	第2学期	第3ターム	教育実習での体験をグループで振り返り、効果的な板書や説明の方法を身に付けることおよび専門分野のまとめを行い、その分野の背景や研究の意義を理解し、教職実践演習を通じて自己の課題を認識し、教員に必要な資質を向上させる。同時に自ら設定したテーマについて論文執筆の作法に則り、大学生活の着実な成果としての論考をまとめ上げることを通して、論理的な議論を行い、文章化する思考力を身につける。
		第4ターム	

<人文学部人文学科> (認定課程：中学校 社会)

年 次	時 期		各段階における到達目標
1年次	第1学期	第1ターム	人文学を専門的に学修していく上で必須となる文献を探す・読む・まとめる・報告するといった基礎的な能力を修得するとともに、教職の意義を考え、教員の役割、職務内容、進路選択に資する各種の機会の提供等について理解する。また、日本国憲法や情報リテラシー科目、英語科目、健康スポーツ講義を履修することで、現代社会に生きる社会人としての力を養う。
		第2ターム	
	第2学期	第3ターム	教育についての基礎的な概念と手法および生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)について理解するとともに、人文学に属する個別の学問分野についての基礎的な概念や知識を幅広く修得する。
		第4ターム	
2年次	第1学期	第1ターム	教育課程の意義及び編成の方法、教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想を理解する。さらに免許にかかわる基礎講義科目を履修することを通して、日本史及び外国史、地理学（地誌を含む。）、法律学、政治学、社会学、経済学、哲学、倫理学、宗教学などの教科にかかわる基礎的な知識を修得すると同時に、実習・研究法科目を履修することで教科に関する実践的な能力を涵養する。
		第2ターム	
	第2学期	第3ターム	今日求められる資質・能力を育成するために必要な教科指導の方法と、それを成立させる指導技術を理解し、その基本を身につける。同時に教科教育に関係する基礎講義科目を履修して、さらなる基礎的な知識の蓄積を図るとともに、実習・研究法科目の履修を継続して、実践的な能力を高めていく。また、社会とつながる形での人文学の可能性について理解を深めるため、キャリアデザインないしは表現プロジェクト演習を履修する。
		第4ターム	
3年次	第1学期	第1ターム	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項、教科の指導法、生徒指導、進路指導や教育相談の理論及び方法を理解する。これと並行して、発展講義と発展演習を履修することで2年次の学修に積み上げる形で、日本史及び外国史、地理学（地誌を含む。）、法律学、政治学、社会学、経済学、哲学、倫理学、宗教学などの教科教育に関連する専門的な知識の修得と専門的な見地に立脚した実践力を養うことを目指していく。
		第2ターム	
	第2学期	第3ターム	高度な科目の教育方法、道徳の指導方法と生徒指導、進路指導や教育相談の理論及び方法を理解するとともに、発展講義および発展演習の継続的な履修により、教科に関する専門的知識の修得と実践力の涵養を進める。
		第4ターム	
4年次	第1学期	第1ターム	教育実習を通して教員の業務について理解を深め、自己の課題を認識し、教員に必要な資質を向上させる。あわせて自ら主体的に設定した専門的なテーマについて論文を執筆するため、関連する資料を正しく収集、精確に活用し、整合的論理展開を導く能力を涵養する。
		第2ターム	
	第2学期	第3ターム	教育実習での体験をグループで振り返り、効果的な板書や説明の方法を身に付けることおよび専門分野のまとめを行い、その分野の背景や研究の意義を理解し、教職実践演習を通じて自己の課題を認識し、教員に必要な資質を向上させる。同時に自ら設定したテーマについて論文執筆の作法に則り、大学生活の着実な成果としての論考をまとめ上げることを通して、論理的な議論を行い、文章化する思考力を身に付ける。
		第4ターム	

<人文学部人文学科> (認定課程：高等学校 フランス語)

年 次	時 期		各段階における到達目標
1年次	第1学期	第1ターム	人文学を専門的に学修していく上で必須となる文献を探す・読む・まとめる・報告するといった基礎的な能力を修得するとともに、教職の意義を考え、教員の役割、職務内容、進路選択に資する各種の機会の提供等について理解する。また、日本国憲法や情報リテラシー科目、英語科目、健康スポーツ講義を履修することで、現代社会に生きる社会人としての力を養う。
		第2ターム	
	第2学期	第3ターム	教育についての基礎的な概念と手法および生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)について理解するとともに、人文学に属する個別の学問分野についての基礎的な概念や知識を幅広く修得する。
		第4ターム	
2年次	第1学期	第1ターム	教育課程の意義及び編成の方法、教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想を理解する。さらに免許にかかわる基礎講義科目を履修することを通して、教科にかかわる基礎的な知識を修得すると同時に、実習・研究法科目を履修することで教科に関する実践的な能力を涵養する。
		第2ターム	
	第2学期	第3ターム	今日求められる資質・能力を育成するために必要な教科指導の方法と、それを成立させる指導技術を理解し、その基本を身につける。同時に教科教育に関係する基礎講義科目を履修して、さらなる基礎的な知識の蓄積を図るとともに、実習・研究法科目の履修を継続して、実践的な能力を高めていく。また、社会とつながる形で人文学の可能性について理解を深めるため、キャリアデザインないしは表現プロジェクト演習を履修する。
		第4ターム	
3年次	第1学期	第1ターム	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項、教科の指導法、生徒指導、進路指導や教育相談の理論及び方法を理解する。これと並行して、発展講義と発展演習を履修することで2年次の学修に積み上げる形で、教科教育に関連する専門的な知識の修得と専門的な見地に立脚した実践力を養うことを目指していく。
		第2ターム	
	第2学期	第3ターム	高度な科目の教育方法、道徳の指導方法と生徒指導、進路指導や教育相談の理論及び方法を理解するとともに、発展講義および発展演習の継続的な履修により、教科に関する専門的知識の修得と実践力の涵養を進める。
		第4ターム	
4年次	第1学期	第1ターム	教育実習を通して教員の業務について理解を深め、自己の課題を認識し、教員に必要な資質を向上させる。あわせて自ら主体的に設定した専門的なテーマについて論文を執筆するため、関連する資料を正しく収集、精確に活用し、整合的論理展開を導く能力を涵養する。
		第2ターム	
	第2学期	第3ターム	教育実習での体験をグループで振り返り、効果的な板書や説明の方法を身に付けることおよび専門分野のまとめを行い、その分野の背景や研究の意義を理解し、教職実践演習を通じて自己の課題を認識し、教員に必要な資質を向上させる。同時に自ら設定したテーマについて論文執筆の作法に則り、大学生活の着実な成果としての論考をまとめ上げることを通して、論理的な議論を行い、文章化する思考力を身につける。
		第4ターム	

<人文学部人文学科> (認定課程：中学校 フランス語)

年 次	時 期		各段階における到達目標
1年次	第1学期	第1ターム	人文学を専門的に学修していく上で必須となる文献を探す・読む・まとめる・報告するといった基礎的な能力を修得するとともに、教職の意義を考え、教員の役割、職務内容、進路選択に資する各種の機会の提供等について理解する。また、日本国憲法や情報リテラシー科目、英語科目、健康スポーツ講義を履修することで、現代社会に生きる社会人としての力を養う。
		第2ターム	
	第2学期	第3ターム	教育についての基礎的な概念と手法および生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)について理解するとともに、人文学に属する個別の学問分野についての基礎的な概念や知識を幅広く修得する。
		第4ターム	
2年次	第1学期	第1ターム	教育課程の意義及び編成の方法、教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想を理解する。さらに免許にかかわる基礎講義科目を履修することを通して、教科にかかわる基礎的な知識を修得すると同時に、実習・研究法科目を履修することで教科に関する実践的な能力を涵養する。
		第2ターム	
	第2学期	第3ターム	今日求められる資質・能力を育成するために必要な教科指導の方法と、それを成立させる指導技術を理解し、その基本を身につける。同時に教科教育に関係する基礎講義科目を履修して、さらなる基礎的な知識の蓄積を図るとともに、実習・研究法科目の履修を継続して、実践的な能力を高めていく。また、社会とつながる形で人文学の可能性について理解を深めるため、キャリアデザインないしは表現プロジェクト演習を履修する。
		第4ターム	
3年次	第1学期	第1ターム	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項、教科の指導法、生徒指導、進路指導や教育相談の理論及び方法を理解する。これと並行して、発展講義と発展演習を履修することで2年次の学修に積み上げる形で、教科教育に関連する専門的な知識の修得と専門的な見地に立脚した実践力を養うことを目指していく。
		第2ターム	
	第2学期	第3ターム	高度な科目の教育方法、道徳の指導方法と生徒指導、進路指導や教育相談の理論及び方法を理解するとともに、発展講義および発展演習の継続的な履修により、教科に関する専門的知識の修得と実践力の涵養を進める。
		第4ターム	
4年次	第1学期	第1ターム	教育実習を通して教員の業務について理解を深め、自己の課題を認識し、教員に必要な資質を向上させる。あわせて自ら主体的に設定した専門的なテーマについて論文を執筆するため、関連する資料を正しく収集、精確に活用し、整合的論理展開を導く能力を涵養する。
		第2ターム	
	第2学期	第3ターム	教育実習での体験をグループで振り返り、効果的な板書や説明の方法を身に付けることおよび専門分野のまとめを行い、その分野の背景や研究の意義を理解し、教職実践演習を通じて自己の課題を認識し、教員に必要な資質を向上させる。同時に自ら設定したテーマについて論文執筆の作法に則り、大学生活の着実な成果としての論考をまとめ上げることを通して、論理的な議論を行い、文章化する思考力を身につける。
		第4ターム	

<人文学部人文学科> (認定課程：高等学校 中国語)

年 次	時 期		各段階における到達目標
1年次	第1学期	第1ターム	人文学を専門的に学修していく上で必須となる文献を探す・読む・まとめる・報告するといった基礎的な能力を修得するとともに、教職の意義を考え、教員の役割、職務内容、進路選択に資する各種の機会の提供等について理解する。また、日本国憲法や情報リテラシー科目、英語科目、健康スポーツ講義を履修することで、現代社会に生きる社会人としての力を養う。
		第2ターム	
	第2学期	第3ターム	教育についての基礎的な概念と手法および生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)について理解するとともに、人文学に属する個別の学問分野についての基礎的な概念や知識を幅広く修得する。
		第4ターム	
2年次	第1学期	第1ターム	教育課程の意義及び編成の方法、教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想を理解する。さらに免許にかかわる基礎講義科目を履修することを通して、教科にかかわる基礎的な知識を修得すると同時に、実習・研究法科目を履修することで教科に関する実践的な能力を涵養する。
		第2ターム	
	第2学期	第3ターム	今日求められる資質・能力を育成するために必要な教科指導の方法と、それを成立させる指導技術を理解し、その基本を身につける。同時に教科教育に関係する基礎講義科目を履修して、さらなる基礎的な知識の蓄積を図るとともに、実習・研究法科目の履修を継続して、実践的な能力を高めていく。また、社会とつながる形で人文学の可能性について理解を深めるため、キャリアデザインないしは表現プロジェクト演習を履修する。
		第4ターム	
3年次	第1学期	第1ターム	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項、教科の指導法、生徒指導、進路指導や教育相談の理論及び方法を理解する。これと並行して、発展講義と発展演習を履修することで2年次の学修に積み上げる形で、教科教育に関連する専門的な知識の修得と専門的な見地に立脚した実践力を養うことを目指していく。
		第2ターム	
	第2学期	第3ターム	高度な科目の教育方法、道徳の指導方法と生徒指導、進路指導や教育相談の理論及び方法を理解するとともに、発展講義および発展演習の継続的な履修により、教科に関する専門的知識の修得と実践力の涵養を進める。
		第4ターム	
4年次	第1学期	第1ターム	教育実習を通して教員の業務について理解を深め、自己の課題を認識し、教員に必要な資質を向上させる。あわせて自ら主体的に設定した専門的なテーマについて論文を執筆するため、関連する資料を正しく収集、精確に活用し、整合的論理展開を導く能力を涵養する。
		第2ターム	
	第2学期	第3ターム	教育実習での体験をグループで振り返り、効果的な板書や説明の方法を身に付けることおよび専門分野のまとめを行い、その分野の背景や研究の意義を理解し、教職実践演習を通じて自己の課題を認識し、教員に必要な資質を向上させる。同時に自ら設定したテーマについて論文執筆の作法に則り、大学生活の着実な成果としての論考をまとめ上げることを通して、論理的な議論を行い、文章化する思考力を身につける。
		第4ターム	

<人文学部人文学科> (認定課程：中学校 中国語)

年 次	時 期		各段階における到達目標
1年次	第1学期	第1ターム	人文学を専門的に学修していく上で必須となる文献を探す・読む・まとめる・報告するといった基礎的な能力を修得するとともに、教職の意義を考え、教員の役割、職務内容、進路選択に資する各種の機会の提供等について理解する。また、日本国憲法や情報リテラシー科目、英語科目、健康スポーツ講義を履修することで、現代社会に生きる社会人としての力を養う。
		第2ターム	
	第2学期	第3ターム	教育についての基礎的な概念と手法および生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)について理解するとともに、人文学に属する個別の学問分野についての基礎的な概念や知識を幅広く修得する。
		第4ターム	
2年次	第1学期	第1ターム	教育課程の意義及び編成の方法、教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想を理解する。さらに免許にかかわる基礎講義科目を履修することを通して、教科にかかわる基礎的な知識を修得すると同時に、実習・研究法科目を履修することで教科に関する実践的な能力を涵養する。
		第2ターム	
	第2学期	第3ターム	今日求められる資質・能力を育成するために必要な教科指導の方法と、それを成立させる指導技術を理解し、その基本を身につける。同時に教科教育に関係する基礎講義科目を履修して、さらなる基礎的な知識の蓄積を図るとともに、実習・研究法科目の履修を継続して、実践的な能力を高めていく。また、社会とつながる形での人文学の可能性について理解を深めるため、キャリアデザインないしは表現プロジェクト演習を履修する。
		第4ターム	
3年次	第1学期	第1ターム	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項、教科の指導法、生徒指導、進路指導や教育相談の理論及び方法を理解する。これと並行して、発展講義と発展演習を履修することで2年次の学修に積み上げる形で、教科教育に関連する専門的な知識の修得と専門的な見地に立脚した実践力を養うことを目指していく。
		第2ターム	
	第2学期	第3ターム	高度な科目の教育方法、道徳の指導方法と生徒指導、進路指導や教育相談の理論及び方法を理解するとともに、発展講義および発展演習の継続的な履修により、教科に関する専門的知識の修得と実践力の涵養を進める。
		第4ターム	
4年次	第1学期	第1ターム	教育実習を通して教員の業務について理解を深め、自己の課題を認識し、教員に必要な資質を向上させる。あわせて自ら主体的に設定した専門的なテーマについて論文を執筆するため、関連する資料を正しく収集、精確に活用し、整合的論理展開を導く能力を涵養する。
		第2ターム	
	第2学期	第3ターム	教育実習での体験をグループで振り返り、効果的な板書や説明の方法を身に付けることおよび専門分野のまとめを行い、その分野の背景や研究の意義を理解し、教職実践演習を通じて自己の課題を認識し、教員に必要な資質を向上させる。同時に自ら設定したテーマについて論文執筆の作法に則り、大学生活の着実な成果としての論考をまとめ上げることを通して、論理的な議論を行い、文章化する思考力を身につける。
		第4ターム	

<人文学部人文学科> (認定課程：高等学校 ロシア語)

年 次	時 期		各段階における到達目標
1年次	第1学期	第1ターム	人文学を専門的に学修していく上で必須となる文献を探す・読む・まとめる・報告するといった基礎的な能力を修得するとともに、教職の意義を考え、教員の役割、職務内容、進路選択に資する各種の機会の提供等について理解する。また、日本国憲法や情報リテラシー科目、英語科目、健康スポーツ講義を履修することで、現代社会に生きる社会人としての力を養う。
		第2ターム	
	第2学期	第3ターム	教育についての基礎的な概念と手法および生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)について理解するとともに、人文学に属する個別の学問分野についての基礎的な概念や知識を幅広く修得する。
		第4ターム	
2年次	第1学期	第1ターム	教育課程の意義及び編成の方法、教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想を理解する。さらに免許にかかわる基礎講義科目を履修することを通して、教科にかかわる基礎的な知識を修得すると同時に、実習・研究法科目を履修することで教科に関する実践的な能力を涵養する。
		第2ターム	
	第2学期	第3ターム	今日求められる資質・能力を育成するために必要な教科指導の方法と、それを成立させる指導技術を理解し、その基本を身につける。同時に教科教育に関係する基礎講義科目を履修して、さらなる基礎的な知識の蓄積を図るとともに、実習・研究法科目の履修を継続して、実践的な能力を高めていく。また、社会とつながる形で人文学の可能性について理解を深めるため、キャリアデザインないしは表現プロジェクト演習を履修する。
		第4ターム	
3年次	第1学期	第1ターム	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項、教科の指導法、生徒指導、進路指導や教育相談の理論及び方法を理解する。これと並行して、発展講義と発展演習を履修することで2年次の学修に積み上げる形で、教科教育に関連する専門的な知識の修得と専門的な見地に立脚した実践力を養うことを目指していく。
		第2ターム	
	第2学期	第3ターム	高度な科目の教育方法、道徳の指導方法と生徒指導、進路指導や教育相談の理論及び方法を理解するとともに、発展講義および発展演習の継続的な履修により、教科に関する専門的知識の修得と実践力の涵養を進める。
		第4ターム	
4年次	第1学期	第1ターム	教育実習を通して教員の業務について理解を深め、自己の課題を認識し、教員に必要な資質を向上させる。あわせて自ら主体的に設定した専門的なテーマについて論文を執筆するため、関連する資料を正しく収集、精確に活用し、整合的論理展開を導く能力を涵養する。
		第2ターム	
	第2学期	第3ターム	教育実習での体験をグループで振り返り、効果的な板書や説明の方法を身に付けることおよび専門分野のまとめを行い、その分野の背景や研究の意義を理解し、教職実践演習を通じて自己の課題を認識し、教員に必要な資質を向上させる。同時に自ら設定したテーマについて論文執筆の作法に則り、大学生活の着実な成果としての論考をまとめ上げることを通して、論理的な議論を行い、文章化する思考力を身につける。
		第4ターム	

<人文学部人文学科> (認定課程：中学校 ロシア語)

年 次	時 期		各段階における到達目標
1年次	第1学期	第1ターム	人文学を専門的に学修していく上で必須となる文献を探す・読む・まとめる・報告するといった基礎的な能力を修得するとともに、教職の意義を考え、教員の役割、職務内容、進路選択に資する各種の機会の提供等について理解する。また、日本国憲法や情報リテラシー科目、英語科目、健康スポーツ講義を履修することで、現代社会に生きる社会人としての力を養う。
		第2ターム	
	第2学期	第3ターム	教育についての基礎的な概念と手法および生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)について理解するとともに、人文学に属する個別の学問分野についての基礎的な概念や知識を幅広く修得する。
		第4ターム	
2年次	第1学期	第1ターム	教育課程の意義及び編成の方法、教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想を理解する。さらに免許にかかわる基礎講義科目を履修することを通して、教科にかかわる基礎的な知識を修得すると同時に、実習・研究法科目を履修することで教科に関する実践的な能力を涵養する。
		第2ターム	
	第2学期	第3ターム	今日求められる資質・能力を育成するために必要な教科指導の方法と、それを成立させる指導技術を理解し、その基本を身につける。同時に教科教育に関係する基礎講義科目を履修して、さらなる基礎的な知識の蓄積を図るとともに、実習・研究法科目の履修を継続して、実践的な能力を高めていく。また、社会とつながる形での人文学の可能性について理解を深めるため、キャリアデザインないしは表現プロジェクト演習を履修する。
		第4ターム	
3年次	第1学期	第1ターム	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項、教科の指導法、生徒指導、進路指導や教育相談の理論及び方法を理解する。これと並行して、発展講義と発展演習を履修することで2年次の学修に積み上げる形で、教科教育に関連する専門的な知識の修得と専門的な見地に立脚した実践力を養うことを目指していく。
		第2ターム	
	第2学期	第3ターム	高度な科目の教育方法、道徳の指導方法と生徒指導、進路指導や教育相談の理論及び方法を理解するとともに、発展講義および発展演習の継続的な履修により、教科に関する専門的知識の修得と実践力の涵養を進める。
		第4ターム	
4年次	第1学期	第1ターム	教育実習を通して教員の業務について理解を深め、自己の課題を認識し、教員に必要な資質を向上させる。あわせて自ら主体的に設定した専門的なテーマについて論文を執筆するため、関連する資料を正しく収集、精確に活用し、整合的論理展開を導く能力を涵養する。
		第2ターム	
	第2学期	第3ターム	教育実習での体験をグループで振り返り、効果的な板書や説明の方法を身に付けることおよび専門分野のまとめを行い、その分野の背景や研究の意義を理解し、教職実践演習を通じて自己の課題を認識し、教員に必要な資質を向上させる。同時に自ら設定したテーマについて論文執筆の作法に則り、大学生活の着実な成果としての論考をまとめ上げることを通して、論理的な議論を行い、文章化する思考力を身につける。
		第4ターム	

<教育学部学校教員養成課程> (幼一種免)

年 次	時 期	各段階における到達目標
1年次	第1学期	・教員という職務の内容やその意義について理解することを通して、教職の特性を認識できる。 ・教員に必要とされる英語、健康・運動および数理・データサイエンスの基礎的な知識やスキルを形成できる。 ・学校教育・社会教育の現場での諸活動への参加を通して、教育現場に根ざした教師の仕事の特性に気付くことができる。
	第2学期	・幼児・児童の学習の過程や学校生活をめぐる心理的理論の基礎を認識できる。 ・教員の服務に焦点をあてて教職の特性の理解を深めることを通して、教育法規・教育政策に関する理論的基礎を認識できる。 ・学校教育・社会教育の現場での諸活動を振り返ることで、教職への意欲を高めることができる。
2年次	第1学期	・教育の思想や歴史の基礎を認識することで、教育を考えるための理論的基礎を形成できる。 ・教育方法や子どもの発達に関する心理の認識、特別活動指導の理論と方法の習得を通して、子どもの学習およびその環境のデザインに関する理論的基礎を認識できる。 ・幼稚園における健康、言葉、表現の領域の教育内容に関する基礎的な認識を形成できる。 ・学校における教育活動の観察を通して、教師の職務や学校の特質についての認識を深める。
	第2学期	・教育の社会的側面の客観的認識や学校教育と社会の関係の考察を通して、教育を考えるための理論的基礎の理解を拡充できる。 ・教育評価の理論的基礎と方法についての認識を形成できる。 ・情報通信技術を活用した教育についての基礎的知識とそれを活用するための方法を習得できる。
3年次	第1学期	・道德教育に関する理論や指導法の習得を通して、豊かな心を育てる教育についての基礎的認識を形成できる。 ・幼稚園における環境領域、表現領域の保育を指導するための基礎理論および指導方法の基礎を理解できる。
	第2学期	・幼稚園における健康領域、人間関係領域、言葉領域の保育を指導するための基礎理論および指導方法の基礎を理解できる。 ・幼稚園の教育カリキュラムの編成および保育の方法に関する理論的基礎を形成できる。 ・幼児の心理に関する理論および教育相談の方法の基礎を理解し、幼児の状況に応じた対応に関する基礎的な認識を形成できる。 ・特別支援教育に関する知識の習得を通して、特別な支援を必要とする子どもの状況に応じた対応に関する基礎的な認識やスキルを形成できる。
4年次	第1学期	・著しい支障をきたすことなく、幼稚園の教育現場での教育実習を遂行できる。 ・教育実習での体験を振り返ることで自己の課題を認識し、教員として必要な資質の向上を図る。 ・教師として必要な社会性とコミュニケーション能力の基礎を確立するとともに、教師の仕事の特質を認識し、教職への意欲を高めることができる。
	第2学期	・これまでの教職課程の学びを振り返りつつ、著しい支障をきたすことなく保育を行なえるようになるとともに、教員として必要な使命感・責任感・子どもに対する愛情、および社会性とコミュニケーションの能力を形成し、教職への適性・意欲を高めることができる。

<教育学部学校教員養成課程> (小一種免)

年 次	時 期	各段階における到達目標
1年次	第1学期	・教員という職務の内容やその意義について理解することを通して、教職の特性を認識できる。 ・小学校における各教科の教科内容の背景にある諸学問についての入門的な認識を形成できる。 ・教員に必要とされる英語、健康・運動および数理・データサイエンスの基礎的な知識やスキルを形成できる。 ・学校教育・社会教育の現場での諸活動への参加を通して、教育現場に根ざした教師の仕事の特性に気付くことができる。
	第2学期	・児童の学習の過程や学校生活をめぐる心理的理論の基礎を認識できる。 ・教員の服務に焦点をあてて教職の特性の理解を深めることを通して、教育法規・教育政策に関する理論的基礎を認識できる。 ・小学校における各教科の教科内容の背景にある諸学問についての入門的な認識を形成できる。 ・学校教育・社会教育の現場での諸活動を振り返ることで、教職への意欲を高めることができる。
2年次	第1学期	・教育の思想や歴史の基礎を認識することで、教育を考えるための理論的基礎を形成できる。 ・教育方法や子どもの発達に関する心理の認識、特別活動指導の理論と方法の習得を通して、子どもの学習およびその環境のデザインに関する理論的基礎を認識できる。 ・小学校で教える各教科の性格や教育内容・授業・評価の理論と方法についての基礎を習得するとともに、それに即した授業を計画・実施できる。 ・小学校で教える教科内容の背景にある諸学問についての基礎的な認識を形成できる。 ・小学校における教育活動の観察を通して、教師の職務や学校の特質についての認識を深める。
	第2学期	・教育の社会的側面の客観的認識や学校教育と社会の関係の考察を通して、教育を考えるための理論的基礎の理解を拡充できる。 ・教育課程と教育評価の理論と方法について総合的な学習の時間の指導と関わらせつつ習得することによって、教育内容の編成・開発に関する理論的基礎を認識できる。 ・小学校で教える各教科の性格や教育内容・授業・評価の理論と方法、および情報通信技術を活用した教育についての基礎を習得するとともに、それに即した授業を計画・実施できる。 ・小学校で教える教科内容の背景にある諸学問についての基礎的な認識を拡充できる。
3年次	第1学期	・道徳教育に関する理論や指導法の習得を通して、豊かな心を育てる教育についての基礎的認識を形成できる。 ・生徒指導に関する知識の習得をととして、子どもの状況に応じた対応に関する基礎的な知識を習得できる。 ・各自の専修（学校教育、教育心理、特別支援教育、教科教育）の学修と関わらせて、小学校における各教科の内容の背景にある諸学問の認識および教科の学習指導についての認識を深めることができる。 ・著しい支障をきたすことなく、小学校教育の現場での教科指導・学級経営等を実習として遂行できる。
	第2学期	・教育相談や特別支援教育に関する知識の習得を通して、特別な支援を必要とする子どもの状況に応じた対応に関する基礎的な認識やスキルを形成できる。 ・各自の専修（学校教育、教育心理、特別支援教育、教科教育）の学修と関わらせるとともに、小学校における各教科の内容の背景にある諸学問の基礎的知識に基づいて、各教科の学習指導の方法や評価についての認識やスキルを形成できる。 ・教育実習での体験を振り返ることで自己の課題を認識し、教員として必要な資質の向上を図る。
4年次	第1学期	・各自の専修（学校教育、教育心理、特別支援教育、教科教育）での学修をさらに拡充させるとともに、その学修から、学校や教育・児童の特質や現状、あるいは小学校における各教科や諸領域の活動をめぐる研究課題を発見することができる。 ・教師として必要な社会性とコミュニケーション能力の基礎を確立するとともに、教師の仕事の特質を認識し、教職への意欲を高めることができる。
	第2学期	・教職課程での学びの成果として、教育・児童の特質や現状、小学校における各教科の教育や諸領域の活動をめぐる各自の課題意識に基づく研究をまとめることができる。 ・これまでの教職課程の学びを振り返りつつ、著しい支障をきたすことなく教科指導や学級経営を行えるようになるとともに、教員として必要な使命感・責任感・子どもに対する愛情、および社会性とコミュニケーションの能力を形成し、教職への適性・意欲を高めることができる。

<教育学部学校教員養成課程> (中一種免 国語)

年 次	時 期	各段階における到達目標
1年次	第1学期	・教員という職務の内容やその意義について理解することを通して、教職の特性を認識できる。 ・中学校国語科の学習内容の背景にある国語学、国文学や書道の理論の基礎を認識できる。 ・教員に必要とされる英語、健康・運動および数理・データサイエンスの基礎的な知識やスキルを形成できる。 ・学校教育・社会教育の現場での諸活動への参加を通して、教育現場に根ざした教師の仕事の特性に気付くことができる。
	第2学期	・生徒の学習の過程や学校生活をめぐる心理的理論の基礎を認識できる。 ・教員の服務に焦点をあてて教職の特性の理解を深めることを通して、教育法規・教育政策に関する理論的基礎を認識できる。 ・中学校国語科の学習内容の背景にある日本語文法や近代文学の理論の基礎を認識できる。 ・学校教育・社会教育の現場での諸活動を振り返ることで、教職への意欲を高めることができる。
2年次	第1学期	・教育の思想や歴史の基礎を認識することで、教育を考えるための理論的基礎を形成できる。 ・教育方法や子どもの発達に関する心理の認識、特別活動指導の理論と方法の習得を通して、子どもの学習およびその環境のデザインに関する理論的基礎を認識できる。 ・中学校国語科の学習内容の背景にある日本語の音声や漢文学の理論の基礎を認識できる。 ・中学校国語科の学習内容について背景となる学問理論と関連させて理解を深めるとともに、様々な学習指導理論を踏まえて具体的な授業場面を想定した授業設計を行う方法の基礎を身に付けることができる。 ・中学校における教育活動の観察を通して、教師の職務や学校の特質についての認識を深める。
	第2学期	・教育の社会的側面の客観的認識や学校教育と社会の関係の考察を通して、教育を考えるための理論的基礎の理解を拡充できる。 ・教育課程と教育評価の理論と方法について総合的な学習の時間の指導と関わらせつつ習得することによって、教育内容の編成・開発に関する理論的基礎を認識できる。 ・情報通信技術を活用した教育についての基礎を習得するとともに、それに即した授業を計画できる。 ・中学校国語科の目標、育成を目指す資質・能力を理解し、中学校国語科の内容について背景となる学問領域と関連させて理解を深めることができるとともに、様々な学習指導理論を踏まえて具体的な授業場面を想定した授業設計を行う方法を身に付ける。 ・中学校国語科の学習内容の背景にある古典文学の基礎理論や書道の基礎的技能を身に付けることができる。
3年次	第1学期	・道徳教育に関する理論や指導法の習得を通して、豊かな心を育てる教育についての基礎的認識を形成できる。 ・生徒指導に関する知識の習得を通して、子どもの状況に応じた対応に関する基礎的な知識を習得できる。 ・中学校国語科の基礎的な学習指導理論を理解し、様々な領域について具体的な授業場面を想定した模擬授業を実施できるようになるとともに、それを検討しあったり振り返ったりすることにより、授業設計の方法や授業実施の能力を身に付ける。 ・国語学・国文学・漢文学・書道・国語科教育学という中学校国語科の背景にある諸学問分野についての知見を広げることができる。 ・著しい支障をきたすことなく、中等教育の現場での教科指導・学級経営等を実習として遂行できる。
	第2学期	・教育相談や特別支援教育に関する知識の習得を通して、特別な支援を必要とする子どもの状況に応じた対応に関する基礎的な認識やスキルを形成できる。 ・国語学・国文学・漢文学・書道・国語科教育学という中学校国語科の背景にある諸学問分野についての知見を深めるとともに、諸学問分野の知見と関わらせて中学校国語科の教育内容に関する理解を拡充できる。 ・教育実習での体験を振り返ることで自己の課題を認識し、教員として必要な資質の向上を図る。
4年次	第1学期	・中学校国語科教育に関連する諸学問分野の学修をさらに拡充させるとともに、その学修から、中学校国語科の理論や学習指導の方法あるいは、その教育内容をめぐる研究課題を発見することができる。 ・教師として必要な社会性とコミュニケーション能力の基礎を確立するとともに、教師の仕事の特質を認識し、教職への意欲を高めることができる。
	第2学期	・教職課程での学びの成果として、中学校国語科の理論や学習指導の方法、あるいはその教育内容についての各自の課題意識に基づいた研究をまとめることができる。 ・これまでの教職課程の学びを振り返りつつ、著しい支障をきたすことなく教科指導や学級経営を行えるようになるとともに、教員として必要な使命感・責任感・子どもに対する愛情、および社会性とコミュニケーションの能力を形成し、教職への適性・意欲を高めることができる。

<教育学部学校教員養成課程> (高一種免 国語)

年 次	時 期	各段階における到達目標
1年次	第1学期	・教員という職務の内容やその意義について理解することを通して、教職の特性を認識できる。 ・高等学校国語科の学習内容の基盤となる国語学、国文学や漢文学の理論の基礎を認識できる。 ・教員に必要とされる英語、健康・運動および数理・データサイエンスの基礎的な知識やスキルを形成できる。 ・学校教育・社会教育の現場での諸活動への参加を通して、教育現場に根ざした教師の仕事の特性に気付くことができる。
	第2学期	・生徒の学習の過程や学校生活をめぐる心理的理論の基礎を認識できる。 ・教員の服務に焦点をあてて教職の特性の理解を深めることを通して、教育法規・教育政策に関する理論的基礎を認識できる。 ・高等学校国語科の学習内容の基盤となる日本語文法や近代文学の理論の基礎を認識できる。 ・学校教育・社会教育の現場での諸活動を振り返ることで、教職への意欲を高めることができる。
2年次	第1学期	・教育の思想や歴史の基礎を認識することで、教育を考えるための理論的基礎を形成できる。 ・教育方法や子どもの発達に関する心理の認識、特別活動指導の理論と方法の習得を通して、子どもの学習およびその環境のデザインに関する理論的基礎を認識できる。 ・高等学校国語科の学習内容の基盤となる日本語の音声に関する理論の基礎を認識できる。
	第2学期	・教育の社会的側面の客観的認識や学校教育と社会の関係の考察を通して、教育を考えるための理論的基礎の理解を拡充できる。 ・教育課程と教育評価の理論と方法について総合的な探究の時間の指導と関わらせつつ習得することによって、教育内容の編成・開発に関する理論的基礎を認識できる。 ・情報通信技術を活用した教育についての基礎を習得するとともに、それに即した授業を計画できる。 ・高等学校国語科の目標、育成を目指す資質・能力を理解し、高等学校国語科の内容について背景となる学問領域と関連させて理解を深めることができるとともに、様々な学習指導理論を踏まえて具体的な授業場面を想定した授業設計を行う方法を身に付ける。 ・高等学校国語科の学習内容の基盤となる古典文学の基礎理論を身に付けることができる。
3年次	第1学期	・道德教育に関する理論や指導法の習得を通して、豊かな心を育てる教育についての基礎的認識を形成できる。 ・生徒指導に関する知識の習得を通して、子どもの状況に応じた対応に関する基礎的な知識を習得できる。 ・高等学校国語科の基礎的な学習指導理論を理解し、様々な領域について具体的な授業場面を想定した模擬授業を実施できるようになるとともに、それを検討しあったり振り返ったりすることにより、授業設計の方法や授業実施の能力を身に付ける。 ・国語学・国文学・漢文学・国語科教育学という高等学校国語科の教育内容の基盤となる諸学問分野についての知見を広げることができる。 ・著しい支障をきたすことなく、中等教育の現場での教科指導・学級経営等を実習として遂行できる。
	第2学期	・教育相談や特別支援教育に関する知識の習得を通して、特別な支援を必要とする子どもの状況に応じた対応に関する基礎的な認識やスキルを形成できる。 ・国語学・国文学・漢文学・国語科教育学という高等学校国語科の教育内容の基盤となる諸学問分野についての知見を拡充できる。 ・教育実習での体験を振り返ることで自己の課題を認識し、教員として必要な資質の向上を図る。
4年次	第1学期	・高等学校国語科教育に関連する諸学問分野の学修をさらに拡充させるとともに、その学修から、高等学校国語科の理論や学習指導の方法あるいは、その教育内容をめぐる研究課題を発見することができる。 ・教師として必要な社会性とコミュニケーション能力の基礎を確立するとともに、教師の仕事の特質を認識し、教職への意欲を高めることができる。
	第2学期	・教職課程での学びの成果として、高等学校国語科の理論や学習指導の方法、あるいはその教育内容について各自の課題意識に基づいた研究をまとめることができる。 ・これまでの教職課程の学びを振り返りつつ、著しい支障をきたすことなく教科指導や学級経営を行えるようになるとともに、教員として必要な使命感・責任感・子どもに対する愛情、および社会性とコミュニケーションの能力を形成し、教職への適性・意欲を高めることができる。

<教育学部学校教員養成課程> (中一種免 社会)

年 次	時 期	各段階における到達目標
1年次	第1学期	・教員という職務の内容やその意義について理解することを通して、教職の特性を認識できる。 ・中学校社会科の学習内容の背景にある日本史、地誌、経済学の理論の基礎を認識できる。 ・教員に必要とされる英語、健康・運動および数理・データサイエンスの基礎的な知識やスキルを形成できる。 ・学校教育・社会教育の現場での諸活動への参加を通して、教育現場に根ざした教師の仕事の特性に気付くことができる。
	第2学期	・生徒の学習の過程や学校生活をめぐる心理的理論の基礎を認識できる。 ・教員の服務に焦点をあてて教職の特性の理解を深めることを通して、教育法規・教育政策に関する理論的基礎を認識できる。 ・中学校社会科の学習内容の背景にある自然地理学、法律学の理論の基礎を認識できる。 ・学校教育・社会教育の現場での諸活動を振り返ることで、教職への意欲を高めることができる。
2年次	第1学期	・教育の思想や歴史の基礎を認識することで、教育を考えるための理論的基礎を形成できる。 ・教育方法や子どもの発達に関する心理の認識、特別活動指導の理論と方法の習得を通して、子どもの学習およびその環境のデザインに関する理論的基礎を認識できる。 ・中学校社会科の歴史や教科論に関する基礎的な認識の形成を図るとともに、優れた授業の検討を通して授業設計の基本を認識できるようになるとともに、中学校社会科各分野の構造や中学生の社会認識の特質を理解したうえで、社会諸科学の成果と方法を活用した教材研究の考え方や方法を習得できる。 ・中学校社会科の学習内容の背景にある外国史、人文地理学、政治学、社会学、哲学の理論の基礎を認識できる。 ・中学校における教育活動の観察を通して、教師の職務や学校の特質についての認識を深める。
	第2学期	・教育の社会的側面の客観的認識や学校教育と社会の関係の考察を通して、教育を考えるための理論的基礎の理解を拡充できる。 ・教育課程と教育評価の理論と方法について総合的な学習の時間の指導と関わらせつつ習得することによって、教育内容の編成・開発に関する理論的基礎を認識できる。 ・情報通信技術を活用した教育についての基礎を習得するとともに、それに即した授業を計画できる。 ・中学校社会科のカリキュラム構成に関する理論的基礎の認識の形成を図るとともに、今日的な社会科の実践課題に応える中学校社会科のカリキュラム開発の方法を身に付けることができる。 ・中学校社会科の学習内容の背景にある外国史、法律学、倫理学の理論の認識を広げることができる。
3年次	第1学期	・道徳教育に関する理論や指導法の習得を通して、豊かな心を育てる教育についての基礎的認識を形成できる。 ・生徒指導に関する知識の習得を通して、子どもの状況に応じた対応に関する基礎的な知識を習得できる。 ・社会科教育学・歴史学・地理学・法律学・経済学という中学校社会科の背景にある諸学問分野についての知見を広げることができる。 ・著しい支障をきたすことなく、中等教育の現場での教科指導・学級経営等を実習として遂行できる。
	第2学期	・教育相談や特別支援教育に関する知識の習得を通して、特別な支援を必要とする子どもの状況に応じた対応に関する基礎的な認識やスキルを形成できる。 ・社会科教育学・歴史学・地理学・法律学・経済学という中学校社会科の背景にある諸学問分野についての知見を深めるとともに、各学問分野の視点から現代の社会的諸課題を総合的に考察する考え方を修得できる。 ・教育実習での体験を振り返ることで自己の課題を認識し、教員として必要な資質の向上を図る。
4年次	第1学期	・中学校社会科教育に関連する諸学問分野の学修をさらに拡充させるとともに、その学修から、中学校社会科の理論や学習指導の方法あるいは、その教育内容をめぐる研究課題を発見することができる。 ・教師として必要な社会性とコミュニケーション能力の基礎を確立するとともに、教師の仕事の特質を認識し、教職への意欲を高めることができる。
	第2学期	・教職課程での学びの成果として、中学校社会科の理論や学習指導の方法、あるいはその教育内容についての各自の課題意識に基づいた研究をまとめることができる。 ・これまでの教職課程の学びを振り返りつつ、著しい支障をきたすことなく教科指導や学級経営を行えるようになるとともに、教員として必要な使命感・責任感・子どもに対する愛情、および社会性とコミュニケーションの能力を形成し、教職への適性・意欲を高めることができる。

<教育学部学校教員養成課程> (高一種免 地理歴史)

年 次	時 期	各段階における到達目標
1年次	第1学期	・教員という職務の内容やその意義について理解することを通して、教職の特性を認識できる。 ・高等学校地理歴史科の学習内容の基盤となる日本史、地誌の理論の基礎を認識できる。 ・教員に必要とされる英語、健康・運動および数理・データサイエンスの基礎的な知識やスキルを形成できる。 ・学校教育・社会教育の現場での諸活動への参加を通して、教育現場に根ざした教師の仕事の特性に気付くことができる。
	第2学期	・生徒の学習の過程や学校生活をめぐる心理的理論の基礎を認識できる。 ・教員の服務に焦点をあてて教職の特性の理解を深めることを通して、教育法規・教育政策に関する理論的基礎を認識できる。 ・高等学校地理歴史科の学習内容の基盤となる自然地理学の理論の基礎を認識できる。 ・学校教育・社会教育の現場での諸活動を振り返ることで、教職への意欲を高めることができる。
2年次	第1学期	・教育の思想や歴史の基礎を認識することで、教育を考えるための理論的基礎を形成できる。 ・教育方法や子どもの発達に関する心理の認識、特別活動指導の理論と方法の習得を通して、子どもの学習およびその環境のデザインに関する理論的基礎を認識できる。 ・高等学校地理歴史科の学習内容の基盤となる外国史、人文地理学の理論の基礎を認識できる。
	第2学期	・教育の社会的側面の客観的認識や学校教育と社会の関係の考察を通して、教育を考えるための理論的基礎の理解を拡充できる。 ・教育課程と教育評価の理論と方法について総合的な探究の時間の指導と関わらせつつ習得することによって、教育内容の編成・開発に関する理論的基礎を認識できる。 ・情報通信技術を活用した教育についての基礎を習得するとともに、それに即した授業を計画できる。 ・高等学校地理歴史科の学習内容の基盤となる外国史の理論の認識を広げることができる。
3年次	第1学期	・道德教育に関する理論や指導法の習得を通して、豊かな心を育てる教育についての基礎的認識を形成できる。 ・生徒指導に関する知識の習得を通して、子どもの状況に応じた対応に関する基礎的な知識を習得できる。 ・社会認識教育および主権者育成の視点から、高等学校地理歴史科の意義や現代的課題、目標・内容・方法の特質や授業構成、学習評価についての基礎的認識を形成できるとともに、その理論に基づいた授業をある程度まで設計できるようになる。 ・社会科教育学・歴史学・地理学をはじめとする高等学校地理歴史科の背景にある諸学問分野についての知見を広げることができる。 ・著しい支障をきたすことなく、中等教育の現場での教科指導・学級経営等を実習として遂行できる。
	第2学期	・教育相談や特別支援教育に関する知識の習得を通して、特別な支援を必要とする子どもの状況に応じた対応に関する基礎的な認識やスキルを形成できる。 ・社会科教育学研究の成果に基づいて現代的実践課題に応える高等学校地理歴史科の授業や学習評価計画の開発・実施・検討を遂行できることで、地理歴史科の学習指導と学習評価の具体的なあり方を考察できる。 ・社会科教育学・歴史学・地理学をはじめとする高等学校地理歴史科の背景にある諸学問分野についての知見を深めるとともに、各学問分野の視点から現代の社会的諸課題を総合的に考察する考え方を修得できる。 ・教育実習での体験を振り返ることで自己の課題を認識し、教員として必要な資質の向上を図る。
4年次	第1学期	・高等学校における地理教育・歴史教育に関連する諸学問分野の学修をさらに拡充させるとともに、その学修から、高等学校地理歴史科の理論や学習指導の方法あるいは、その教育内容をめぐる研究課題を発見できる。 ・教師として必要な社会性とコミュニケーション能力の基礎を確立するとともに、教師の仕事の特質を認識し、教職への意欲を高めることができる。
	第2学期	・教職課程での学びの成果として、高等学校地理歴史科教育の理論や学習指導の方法、あるいはその教育内容についての各自の課題意識に基づいた研究をまとめることができる。 ・これまでの教職課程の学びを振り返りつつ、著しい支障をきたすことなく教科指導や学級経営を行えるようになるとともに、教員として必要な使命感・責任感・子どもに対する愛情、および社会性とコミュニケーションの能力を形成し、教職への適性・意欲を高めることができる。

<教育学部学校教員養成課程> (高一種免 公民)

年 次	時 期	各段階における到達目標
1年次	第1学期	・教員という職務の内容やその意義について理解することを通して、教職の特性を認識できる。 ・高等学校公民科の学習内容の基盤となる経済学、哲学の理論の基礎を認識できる。 ・教員に必要とされる英語、健康・運動および数理・データサイエンスの基礎的な知識やスキルを形成できる。 ・学校教育・社会教育の現場での諸活動への参加を通して、教育現場に根ざした教師の仕事の特性に気付くことができる。
	第2学期	・生徒の学習の過程や学校生活をめぐる心理的理論の基礎を認識できる。 ・教員の服務に焦点をあてて教職の特性の理解を深めることを通して、教育法規・教育政策に関する理論的基礎を認識できる。 ・高等学校公民科の学習内容の基盤となる法律学の理論の基礎を認識できる。 ・学校教育・社会教育の現場での諸活動を振り返ることで、教職への意欲を高めることができる。
2年次	第1学期	・教育の思想や歴史の基礎を認識することで、教育を考えるための理論的基礎を形成できる。 ・教育方法や子どもの発達に関する心理の認識、特別活動指導の理論と方法の習得を通して、子どもの学習およびその環境のデザインに関する理論的基礎を認識できる。 ・高等学校公民科の学習内容の基盤となる政治学、社会学の理論の基礎を認識できる。 ・高等学校における教育活動の観察を通して、教師の職務や学校の特質についての認識を深める。
	第2学期	・教育の社会的側面の客観的認識や学校教育と社会の関係の考察を通して、教育を考えるための理論的基礎の理解を拡充できる。 ・教育課程と教育評価の理論と方法について総合的な探究の時間の指導と関わらせつつ習得することによって、教育内容の編成・開発に関する理論的基礎を認識できる。 ・情報通信技術を活用した教育についての基礎を習得するとともに、それに即した授業を計画できる。 ・高等学校公民科の学習内容の基盤となる法律学、倫理学の理論の認識を広げることができる。
3年次	第1学期	・道徳教育に関する理論や指導法の習得を通して、豊かな心を育てる教育についての基礎的認識を形成できる。 ・生徒指導に関する知識の習得を通して、子どもの状況に応じた対応に関する基礎的な知識を習得できる。 ・主権者育成の視点から、高等学校公民科の意義や現代的課題、目標・内容・方法の特質や授業構成、学習評価についての基礎的認識を形成できるとともに、その理論に基づいた授業をある程度まで設計できるようになる。 ・社会科教育学・法律学・政治学・社会学・経済学・哲学・倫理学をはじめとする高等学校公民科の背景にある諸学問分野についての知見を広げることができる。 ・著しい支障をきたすことなく、中等教育の現場での教科指導・学級経営等を実習として遂行できる。
	第2学期	・教育相談や特別支援教育に関する知識の習得を通して、特別な支援を必要とする子どもの状況に応じた対応に関する基礎的な認識やスキルを形成できる。 ・社会科教育学研究の成果に基づいて現代的実践課題に応える高等学校公民科の授業や学習評価計画の開発・実施・検討を遂行できることで、公民科の学習指導と学習評価の具体的なあり方を考察できる。 ・社会科教育学・法律学・政治学・社会学・経済学・哲学・倫理学をはじめとする高等学校公民科の背景となる諸学問分野の知見を深めるとともに、各学問分野の視点から現代の社会的諸課題を総合的に考察する考え方を修得できる。 ・教育実習での体験を振り返ることで自己の課題を認識し、教員として必要な資質の向上を図る。
4年次	第1学期	・高等学校公民科の教育に関連する諸学問分野の学修をさらに拡充させるとともに、その学修から、高等学校公民科の理論や学習指導の方法、あるいはその教育内容をめぐる研究課題を発見できる。 ・教師として必要な社会性とコミュニケーション能力の基礎を確立するとともに、教師の仕事の特質を認識し、教職への意欲を高めることができる。
	第2学期	・教職課程での学びの成果として、高等学校公民科の理論や学習指導の方法、あるいはその教育内容についての各自の課題意識に基づいた研究をまとめることができる。 ・これまでの教職課程の学びを振り返りつつ、著しい支障をきたすことなく教科指導や学級経営を行えるようになるとともに、教員として必要な使命感・責任感・子どもに対する愛情、および社会性とコミュニケーションの能力を形成し、教職への適性・意欲を高めることができる。

<教育学部学校教員養成課程> (中一種免 数学)

年 次	時 期	各段階における到達目標
1年次	第1学期	・教員という職務の内容やその意義について理解することを通して、教職の特性を認識できる。 ・中学校数学科の学習内容の背景にある代数学、幾何学、解析学の理論の基礎を認識できる。 ・教員に必要とされる英語、健康・運動および数理・データサイエンスの基礎的な知識やスキルを形成できる。 ・学校教育・社会教育の現場での諸活動への参加を通して、教育現場に根ざした教師の仕事の特性に気付くことができる。
	第2学期	・生徒の学習の過程や学校生活をめぐる心理的理論の基礎を認識できる。 ・教員の服務に焦点をあてて教職の特性の理解を深めることを通して、教育法規・教育政策に関する理論的基礎を認識できる。 ・中学校数学科の学習内容の背景にある代数学、幾何学、解析学の理論の基礎の認識を広げることができる。 ・学校教育・社会教育の現場での諸活動を振り返ることで、教職への意欲を高めることができる。
2年次	第1学期	・教育の思想や歴史の基礎を認識することで、教育を考えるための理論的基礎を形成できる。 ・教育方法や子どもの発達に関する心理の認識、特別活動指導の理論と方法の習得を通して、子どもの学習およびその環境のデザインに関する理論的基礎を認識できる。 ・数学教育の目的・目標論、教科内容論（代数、幾何、解析、確率・統計）、教育方法論、教育評価論等に関する基礎理論を理解できる。 ・中学校数学科の学習内容の背景にある解析学・情報数学の理論の基礎を認識できるようになるとともに、代数学・幾何学・統計学の認識を深めることができる。 ・中学校における教育活動の観察を通して、教師の職務や学校の特質についての認識を深める。
	第2学期	・教育の社会的側面の客観的認識や学校教育と社会の関係の考察を通して、教育を考えるための理論的基礎の理解を拡充できる。 ・教育課程と教育評価の理論と方法について総合的な学習の時間の指導と関わらせつつ習得することによって、教育内容の編成・開発に関する理論的基礎を認識できる。 ・情報通信技術を活用した教育についての基礎を習得するとともに、それに即した授業を計画できる。 ・中学校数学科の学習内容について多角的に考察し、数学の授業者としての力量を養う。問題形式で様々な数学の領域における課題を考察することを基に、数学科の学習指導法及び教材開発の基礎を習得できる。 ・中学校数学科の学習内容の背景にある代数学・幾何学・解析学・統計学・情報数学の理論的認識を深めることができる。
3年次	第1学期	・道徳教育に関する理論や指導法の習得を通して、豊かな心を育てる教育についての基礎的認識を形成できる。 ・生徒指導に関する知識の習得を通して、子どもの状況に応じた対応に関する基礎的な知識を習得できる。 ・数学を活用して考える教科横断的教材の考察とそれをもとにした指導案を作成を通して、中学校数学科の学習内容の考察を深めるとともに、それらを基に学習指導の構成や教材開発ができるようになる。 ・代数学・幾何学・解析学・統計学・情報数学・数学教育学という中学校数学科の背景にある諸学問分野についての知見を広げることができる。 ・著しい支障をきたすことなく、中等教育の現場での教科指導・学級経営等を実習として遂行できる。
	第2学期	・教育相談や特別支援教育に関する知識の習得を通して、特別な支援を必要とする子どもの状況に応じた対応に関する基礎的な認識やスキルを形成できる。 ・中学校における数学授業の構成方法を中心にして、その基礎理論を理解し、それらの視点から教材研究を行い、数学科の授業が構成・分析できる。 ・代数学・幾何学・解析学・統計学・情報数学・数学教育学という中学校数学科の背景にある諸学問分野についての理論的な認識を拡充できる。 ・教育実習での体験を振り返ることで自己の課題を認識し、教員として必要な資質の向上を図る。
4年次	第1学期	・中学校数学科教育に関連する諸学問分野の学修をさらに拡充させるとともに、その学修から、中学校数学科の理論や学習指導の方法あるいは、その教育内容をめぐる研究課題を発見することができる。 ・教師として必要な社会性とコミュニケーション能力の基礎を確立するとともに、教師の仕事の特質を認識し、教職への意欲を高めることができる。
	第2学期	・教職課程での学びの成果として、中学校数学科の理論や学習指導の方法、あるいはその教育内容についての各自の課題意識に基づいた研究をまとめることができる。 ・これまでの教職課程の学びを振り返りつつ、著しい支障をきたすことなく教科指導や学級経営を行えるようになるとともに、教員として必要な使命感・責任感・子どもに対する愛情、および社会性とコミュニケーションの能力を形成し、教職への適性・意欲を高めることができる。

<教育学部学校教員養成課程> (高一種免 数学)

年 次	時 期	各段階における到達目標
1年次	第1学期	・教員という職務の内容やその意義について理解することを通して、教職の特性を認識できる。 ・高等学校数学科の学習内容の基盤となる代数学、幾何学、解析学の理論の基礎を認識できる。 ・教員に必要とされる英語、健康・運動および数理・データサイエンスの基礎的な知識やスキルを形成できる。 ・学校教育・社会教育の現場での諸活動への参加を通して、教育現場に根ざした教師の仕事の特性に気付くことができる。
	第2学期	・生徒の学習の過程や学校生活をめぐる心理的理論の基礎を認識できる。 ・教員の服務に焦点をあてて教職の特性の理解を深めることを通して、教育法規・教育政策に関する理論的基礎を認識できる。 ・高等学校数学科の学習内容の基盤となる代数学、幾何学、解析学の理論の基礎の認識を広げることができる。 ・学校教育・社会教育の現場での諸活動を振り返ることで、教職への意欲を高めることができる。
2年次	第1学期	・教育の思想や歴史の基礎を認識することで、教育を考えるための理論的基礎を形成できる。 ・教育方法や子どもの発達に関する心理の認識、特別活動指導の理論と方法の習得を通して、子どもの学習およびその環境のデザインに関する理論的基礎を認識できる。 ・数学教育の目的・目標論、教科内容論（代数、幾何、解析、確率・統計）、教育方法論、教育評価論等に関する基礎理論を理解できる。 ・高等学校数学科の教育内容の基盤となる解析学・情報数学の理論の基礎を認識できるようになるとともに、代数学・幾何学・統計学の認識を深めることができる。
	第2学期	・教育の社会的側面の客観的認識や学校教育と社会の関係の考察を通して、教育を考えるための理論的基礎の理解を拡充できる。 ・教育課程と教育評価の理論と方法について総合的な探究の時間の指導と関わらせつつ習得することによって、教育内容の編成・開発に関する理論的基礎を認識できる。 ・情報通信技術を活用した教育についての基礎を習得するとともに、それに即した授業を計画できる。 ・高等学校数学科の学習内容について多角的に考察し、数学の授業者としての力量を養う。問題形式で様々な数学の領域における課題を考察することを基に、数学科の学習指導法及び教材開発の基礎を習得できる。 ・高等学校数学科の学習内容の基盤となる代数学・幾何学・解析学・統計学・情報数学の理論的認識を深めることができる。
3年次	第1学期	・道徳教育に関する理論や指導法の習得を通して、豊かな心を育てる教育についての基礎的認識を形成できる。 ・生徒指導に関する知識の習得を通して、子どもの状況に応じた対応に関する基礎的な知識を習得できる。 ・数学を活用して考える教科横断的教材の考察とそれをもとにした指導案を作成を通して、高等学校数学科の学習内容の考察を深めるとともに、それらを基に学習指導の構成や教材開発ができるようになる。 ・代数学・幾何学・解析学・統計学・情報数学・数学教育学という高等学校数学科の基盤となる諸学問分野についての知見を広げることができる。 ・著しい支障をきたすことなく、中等教育の現場での教科指導・学級経営等を実習として遂行できる。
	第2学期	・教育相談や特別支援教育に関する知識の習得を通して、特別な支援を必要とする子どもの状況に応じた対応に関する基礎的な認識やスキルを形成できる。 ・高等学校における数学授業の構成方法を中心にして、その基礎理論を理解し、それらの視点から教材研究を行い、数学科の授業が構成・分析できる。 ・代数学・幾何学・解析学・統計学・情報数学・数学教育学という高等学校数学科の背景にある諸学問分野についての理論的な認識を拡充できる。 ・教育実習での体験を振り返ることで自己の課題を認識し、教員として必要な資質の向上を図る。
4年次	第1学期	・高等学校数学科教育に関連する諸学問分野の学修をさらに拡充させるとともに、その学修から、高等学校数学科の理論や学習指導の方法あるいは、その教育内容をめぐる研究課題を発見することができる。 ・教師として必要な社会性とコミュニケーション能力の基礎を確立するとともに、教師の仕事の特質を認識し、教職への意欲を高めることができる。
	第2学期	・教職課程での学びの成果として、高等学校数学科の理論や学習指導の方法、あるいはその教育内容についての各自の課題意識に基づいた研究をまとめることができる。 ・これまでの教職課程の学びを振り返りつつ、著しい支障をきたすことなく教科指導や学級経営を行えるようになるとともに、教員として必要な使命感・責任感・子どもに対する愛情、および社会性とコミュニケーションの能力を形成し、教職への適性・意欲を高めることができる。

<教育学部学校教員養成課程> (中一種免 理科)

年 次	時 期	各段階における到達目標
1年次	第1学期	・教員という職務の内容やその意義について理解することを通して、教職の特性を認識できる。 ・中学校理科の学習内容の背景にある物理学理論の基礎を認識できる。 ・教員に必要とされる英語、健康・運動および数理・データサイエンスの基礎的な知識やスキルを形成できる。 ・学校教育・社会教育の現場での諸活動への参加を通して、教育現場に根ざした教師の仕事の特性に気付くことができる。
	第2学期	・生徒の学習の過程や学校生活をめぐる心理的理論の基礎を認識できる。 ・教員の服務に焦点をあてて教職の特性の理解を深めることを通して、教育法規・教育政策に関する理論的基礎を認識できる。 ・中学校理科の学習内容の背景にある現代物理学理論の基礎を認識できる。 ・学校教育・社会教育の現場での諸活動を振り返ることで、教職への意欲を高めることができる。
2年次	第1学期	・教育の思想や歴史の基礎を認識することで、教育を考えるための理論的基礎を形成できる。 ・教育方法や子どもの発達に関する心理の認識、特別活動指導の理論と方法の習得を通して、子どもの学習およびその環境のデザインに関する理論的基礎を認識できる。 ・中学校理科の学習内容の背景にある化学・生物学・地学の理論的基礎を認識できるようになるとともに、それら諸学問における実験方法の基礎を修得できる。 ・理科教育学の基本理論や指導手法を理解し、構成主義に基づく子どもの資質・能力の育成や科学的概念の伸長に効果的な授業デザインについて学ぶとともに、単元の系統性や学習者を中心とした中学校理科授業を立案できる。 ・中学校における教育活動の観察を通して、教師の職務や学校の特質についての認識を深める。
	第2学期	・教育の社会的側面の客観的認識や学校教育と社会の関係の考察を通して、教育を考えるための理論的基礎の理解を拡充できる。 ・教育課程と教育評価の理論と方法について総合的な学習の時間の指導と関わらせつつ習得することによって、教育内容の編成・開発に関する理論的基礎を認識できる。 ・情報通信技術を活用した教育についての基礎を習得するとともに、それに即した授業を計画できる。 ・理科教育学の基本理論を理解し、子どもの学びに焦点をあてるアクティブ・ラーニングの視点に立って生徒の「深い学び」を助けるのに効果的な理科授業の開発とその実践方法を習得できる。 ・中学校理科の学習内容の背景にある物理学・化学・生物学・地学の基礎理論の認識を深めるとともに、それら諸学問における実験の方法について広く理解できる。
3年次	第1学期	・道徳教育に関する理論や指導法の習得を通して、豊かな心を育てる教育についての基礎的認識を形成できる。 ・生徒指導に関する知識の習得を通して、子どもの状況に応じた対応に関する基礎的な知識を習得できる。 ・探究的な学びの構築を目指し、中学～高等学校での学びを俯瞰していく指導観に基づいた中学校理科授業を開発するとともに、それを模擬的に実施し、検討できる。 ・物理学・化学・生物学・地学・理科教育学という中学校理科の背景にある諸学問分野についての知見を広げることができる。 ・著しい支障をきたすことなく、中等教育の現場での教科指導・学級経営等を実習として遂行できる。
	第2学期	・教育相談や特別支援教育に関する知識の習得を通して、特別な支援を必要とする子どもの状況に応じた対応に関する基礎的な認識やスキルを形成できる。 ・生徒の科学的な概念理解を深めるために有効な中学校理科の情報機器を活用した教材開発と授業設計を通して、実践的指導力を培うことができる。 ・物理学・化学・生物学・地学・理科教育学という中学校理科の背景にある諸学問分野の理論についての認識を深めることができる。 ・教育実習での体験を振り返ることで自己の課題を認識し、教員として必要な資質の向上を図る。
4年次	第1学期	・中学校理科教育に関連する諸学問分野の学修をさらに拡充させるとともに、その学修から、中学校理科の理論や学習指導の方法あるいは、その教育内容をめぐる研究課題を発見することができる。 ・教師として必要な社会性とコミュニケーション能力の基礎を確立するとともに、教師の仕事の特質を認識し、教職への意欲を高めることができる。
	第2学期	・教職課程での学びの成果として、中学校理科の理論や学習指導の方法、あるいはその教育内容についての各自の課題意識に基づいた研究をまとめることができる。 ・これまでの教職課程の学びを振り返りつつ、著しい支障をきたすことなく教科指導や学級経営を行えるようになるとともに、教員として必要な使命感・責任感・子どもに対する愛情、および社会性とコミュニケーションの能力を形成し、教職への適性・意欲を高めることができる。

<教育学部学校教員養成課程> (高一種免 理科)

年 次	時 期	各段階における到達目標
1年次	第1学期	・教員という職務の内容やその意義について理解することを通して、教職の特性を認識できる。 ・高等学校理科の学習内容の基盤となる物理学理論の基礎を認識できる。 ・教員に必要とされる英語、健康・運動および数理・データサイエンスの基礎的な知識やスキルを形成できる。 ・学校教育・社会教育の現場での諸活動への参加を通して、教育現場に根ざした教師の仕事の特性に気付くことができる。
	第2学期	・生徒の学習の過程や学校生活をめぐる心理的理論の基礎を認識できる。 ・教員の服務に焦点をあてて教職の特性の理解を深めることを通して、教育法規・教育政策に関する理論的基礎を認識できる。 ・高等学校理科の学習の基盤となる現代物理学理論の基礎を認識できる。 ・学校教育・社会教育の現場での諸活動を振り返ることで、教職への意欲を高めることができる。
2年次	第1学期	・教育の思想や歴史の基礎を認識することで、教育を考えるための理論的基礎を形成できる。 ・教育方法や子どもの発達に関する心理の認識、特別活動指導の理論と方法の習得を通して、子どもの学習およびその環境のデザインに関する理論的基礎を認識できる。 ・高等学校理科の学習内容の基盤となる化学・生物学・地学の理論的基礎を認識できるようになるとともに、それら諸学問における実験方法の基礎を修得できる。 ・理科教育学の基本理論や指導手法を理解し、構成主義に基づく子どもの資質・能力の育成や科学的概念の伸長に効果的な授業デザインについて学ぶとともに、単元の系統性や学習者を中心とした高等学校理科授業を立案できる。
	第2学期	・教育の社会的側面の客観的認識や学校教育と社会の関係の考察を通して、教育を考えるための理論的基礎の理解を拡充できる。 ・教育課程と教育評価の理論と方法について総合的な探究の時間の指導と関わらせつつ習得することによって、教育内容の編成・開発に関する理論的基礎を認識できる。 ・情報通信技術を活用した教育についての基礎を習得するとともに、それに即した授業を計画できる。 ・理科教育学の基本理論を理解し、子どもの学びに焦点をあてるアクティブ・ラーニングの視点に立って生徒の「深い学び」を助けるのに効果的な理科授業の開発とその実践方法を習得できる。 ・高等学校理科の教育内容の基盤となる物理学・化学・生物学・地学の基礎理論の認識を深めるとともに、それら諸学問における実験の方法について広く理解できる。
3年次	第1学期	・道徳教育に関する理論や指導法の習得を通して、豊かな心を育てる教育についての基礎的認識を形成できる。 ・生徒指導に関する知識の習得を通して、子どもの状況に応じた対応に関する基礎的な知識を習得できる。 ・探究的な学びの構築を目指し、中学～高等学校での学びを俯瞰していく指導観に基づいた高等学校理科授業を開発するとともに、それを模擬的に実施し、検討できる。 ・物理学・化学・生物学・地学・理科教育学という高等学校理科の基盤となる諸学問分野の理論についての知見を広げることができる。 ・著しい支障をきたすことなく、中等教育の現場での教科指導・学級経営等を実習として遂行できる。
	第2学期	・教育相談や特別支援教育に関する知識の習得を通して、特別な支援を必要とする子どもの状況に応じた対応に関する基礎的な認識やスキルを形成できる。 ・物理学・化学・生物学・地学・理科教育学という高等学校理科の背景にある諸学問分野の理論についての認識を深めることができる。 ・教育実習での体験を振り返ることで自己の課題を認識し、教員として必要な資質の向上を図る。
4年次	第1学期	・高等学校理科教育に関連する諸学問分野の学修をさらに拡充させるとともに、その学修から、高等学校理科の理論や学習指導の方法あるいは、その教育内容をめぐる研究課題を発見することができる。 ・教師として必要な社会性とコミュニケーション能力の基礎を確立するとともに、教師の仕事の特質を認識し、教職への意欲を高めることができる。
	第2学期	・教職課程での学びの成果として、高等学校理科の理論や学習指導の方法、あるいはその教育内容についての各自の課題意識に基づいた研究をまとめることができる。 ・これまでの教職課程の学びを振り返りつつ、著しい支障をきたすことなく教科指導や学級経営を行えるようになるとともに、教員として必要な使命感・責任感・子どもに対する愛情、および社会性とコミュニケーションの能力を形成し、教職への適性・意欲を高めることができる。

<教育学部学校教員養成課程> (中一種免 音楽)

年 次	時 期	各段階における到達目標
1年次	第1学期	・教員という職務の内容やその意義について理解することを通して、教職の特性を認識できる。 ・中学校音楽科の学習内容の背景にある音楽表現や音楽理論の基礎について認識できる。 ・中学校音楽科の学習指導に必要な声楽、ピアノの演奏技術を身に付けることができる。 ・教員に必要とされる英語、健康・運動および数理・データサイエンスの基礎的な知識やスキルを形成できる。 ・学校教育・社会教育の現場での諸活動への参加を通して、教育現場に根ざした教師の仕事の特性に気付くことができる。
	第2学期	・生徒の学習の過程や学校生活をめぐる心理的理論の基礎を認識できる。 ・教員の服務に焦点をあてて教職の特性の理解を深めることを通して、教育法規・教育政策に関する理論的基礎を認識できる。 ・中学校音楽科の学習指導に必要な声楽、ピアノの演奏技術を確実に修得できる。 ・学校教育・社会教育の現場での諸活動を振り返ることで、教職への意欲を高めることができる。
2年次	第1学期	・教育の思想や歴史の基礎を認識することで、教育を考えるための理論的基礎を形成できる。 ・教育方法や子どもの発達に関する心理の認識、特別活動指導の理論と方法の習得を通して、子どもの学習およびその環境のデザインに関する理論的基礎を認識できる。 ・中学校音楽科教育の目標・学習指導内容・学習指導計画・評価などについての基礎的基本的内容を体系的に学びとるとともに、中学校音楽授業実践の基礎的基本的内容を身に付けることができる。 ・中学校音楽科の学習指導に必要な管・弦・打楽器や伝統音楽の演奏技術の基礎を身に付けることができるとともに、ピアノおよび各自の専門にかかる音楽理論や演奏技術の力量を向上させることができる。 ・中学校における教育活動の観察を通して、教師の職務や学校の特質についての認識を深める。
	第2学期	・教育の社会的側面の客観的認識や学校教育と社会の関係の考察を通して、教育を考えるための理論的基礎の理解を拡充できる。 ・教育課程と教育評価の理論と方法について総合的な学習の時間の指導と関わらせつつ習得することによって、教育内容の編成・開発に関する理論的基礎を認識できる。 ・情報通信技術を活用した教育についての基礎を習得するとともに、それに即した授業を計画できる。 ・中学校音楽科の領域・分野の特性と課題について理解を深めるとともに、伝統音楽や創作音楽の指導に焦点をあてて、中学校における音楽教育上の課題の解決に資する授業を計画できる。 ・中学校音楽の学習指導に必要な管・弦・打楽器や伝統音楽の知識および演奏技術を深めることができるとともに、ピアノおよび各自の専門にかかる音楽理論や演奏技術の力量を向上させることができる。
3年次	第1学期	・道徳教育に関する理論や指導法の習得を通して、豊かな心を育てる教育についての基礎的認識を形成できる。 ・生徒指導に関する知識の習得を通して、子どもの状況に応じた対応に関する基礎的な知識を習得できる。 ・中学校音楽科における鑑賞の指導法について関連する分野の教育内容と関わらせて理解を深めるとともに、当該分野の指導計画を作成し、模擬授業として実践できる。 ・器楽・声楽・音楽理論・音楽史・音楽教育学という中学校音楽科の背景にある各分野の理論的知識を深めるとともに実践の力量を高めることができる。 ・著しい支障をきたすことなく、中等教育の現場での教科指導・学級経営等を実習として遂行できる。
	第2学期	・教育相談や特別支援教育に関する知識の習得を通して、特別な支援を必要とする子どもの状況に応じた対応に関する基礎的な認識やスキルを形成できる。 ・器楽・声楽・音楽理論・音楽史・音楽教育学という中学校音楽科の背景にある諸分野についての理論と実践に関する力量を深化できる。 ・教育実習での体験を振り返ることで自己の課題を認識し、教員として必要な資質の向上を図る。
4年次	第1学期	・中学校音楽科教育に関連する分野の理論的知識・実践的力量をさらに拡充させるとともに、その学修から、中学校音楽科の理論や学習指導の方法あるいは、その教育内容をめぐる研究課題を発見することができる。 ・教師として必要な社会性とコミュニケーション能力の基礎を確立するとともに、教師の仕事の特質を認識し、教職への意欲を高めることができる。
	第2学期	・教職課程での学びの成果として、中学校音楽科の理論や学習指導の方法、あるいはその教育内容の背景となる理論についての各自の課題意識に基づいた研究、あるいは各自の専門とする分野の演奏を発表できる。 ・これまでの教職課程の学びを振り返りつつ、著しい支障をきたすことなく教科指導や学級経営を行えるようになるとともに、教員として必要な使命感・責任感・子どもに対する愛情、および社会性とコミュニケーションの能力を形成し、教職への適性・意欲を高めることができる。

<教育学部学校教員養成課程> (高一種免 音楽)

年 次	時 期	各段階における到達目標
1年次	第1学期	・教員という職務の内容やその意義について理解することを通して、教職の特性を認識できる。 ・高等学校音楽科の学習内容の基盤となる音楽表現や音楽理論の基礎について認識できる。 ・高等学校音楽科の学習指導に必要な声楽、ピアノの演奏技術の基礎を身に付けることができる。 ・教員に必要とされる英語、健康・運動および数理・データサイエンスの基礎的な知識やスキルを形成できる。 ・学校教育・社会教育の現場での諸活動への参加を通して、教育現場に根ざした教師の仕事の特性に気付くことができる。
	第2学期	・生徒の学習の過程や学校生活をめぐる心理的理論の基礎を認識できる。 ・教員の服務に焦点をあてて教職の特性の理解を深めることを通して、教育法規・教育政策に関する理論的基礎を認識できる。 ・高等学校音楽科の学習指導に必要な声楽、ピアノの演奏技術の基礎を確実に修得できる。 ・学校教育・社会教育の現場での諸活動を振り返ることで、教職への意欲を高めることができる。
2年次	第1学期	・教育の思想や歴史の基礎を認識することで、教育を考えるための理論的基礎を形成できる。 ・教育方法や子どもの発達に関する心理の認識、特別活動指導の理論と方法の習得を通して、子どもの学習およびその環境のデザインに関する理論的基礎を認識できる。 ・高等学校音楽科教育の目標・学習指導内容・学習指導計画・評価などについての基礎的基本的内容を体系的に学びるとともに、高等学校音楽授業実践の基礎的基本的内容を身に付けることができる。 ・高等学校音楽の学習指導に必要な管・弦・打楽器や伝統音楽の演奏技術の基礎を身に付けることができるとともに、ピアノおよび各自の専門にかかる音楽理論や演奏技術の力量を向上させることができる。
	第2学期	・教育の社会的側面の客観的認識や学校教育と社会の関係の考察を通して、教育を考えるための理論的基礎の理解を拡充できる。 ・教育課程と教育評価の理論と方法について総合的な探究の時間の指導と関わらせつつ習得することによって、教育内容の編成・開発に関する理論的基礎を認識できる。 ・情報通信技術を活用した教育についての基礎を習得するとともに、それに即した授業を計画できる。 ・高等学校音楽科の領域・分野の特性と課題について理解を深め、改善点について考察できるようになるとともに、伝統音楽や創作音楽の指導に焦点をあてて、高等学校における音楽教育上の課題の解決に資する授業を計画できる。 ・高等学校音楽科の学習指導に必要な管・弦・打楽器や伝統音楽の知識および演奏技術を深めることができるとともに、ピアノおよび各自の専門にかかる音楽理論や演奏技術の力量を向上させることができる。
3年次	第1学期	・道德教育に関する理論や指導法の習得を通して、豊かな心を育てる教育についての基礎的認識を形成できる。 ・生徒指導に関する知識の習得を通して、子どもの状況に応じた対応に関する基礎的な知識を習得できる。 ・高等学校音楽科における鑑賞の指導法について関連する分野の教育内容と関わらせて理解を深めるとともに、当該分野の指導計画を作成し、模擬授業として実践できる。 ・器楽・声楽・音楽理論・音楽史・音楽教育学という高等学校音楽科の基盤となる各分野の理論的知識を深めるとともに実践の力量を高めることができる。 ・著しい支障をきたすことなく、中等教育の現場での教科指導・学級経営等を実習として遂行できる。
	第2学期	・教育相談や特別支援教育に関する知識の習得を通して、特別な支援を必要とする子どもの状況に応じた対応に関する基礎的な知識やスキルを形成できる。 ・器楽・声楽・音楽理論・音楽史・音楽教育学という高等学校音楽科の基盤となる諸分野についての理論と実践に関する力量を深化できる。 ・教育実習での体験を振り返ることで自己の課題を認識し、教員として必要な資質の向上を図る。
4年次	第1学期	・高等学校音楽科教育に関連する分野の理論的知識・実践的力量をさらに拡充させるとともに、その学修から、高等学校音楽科の理論や学習指導の方法あるいは、その教育内容をめぐる研究課題を発見することができる。 ・教師として必要な社会性とコミュニケーション能力の基礎を確立するとともに、教師の仕事の特質を認識し、教職への意欲を高めることができる。
	第2学期	・教職課程での学びの成果として、高等学校音楽科の理論や学習指導の方法、あるいはその教育内容の背景となる理論についての各自の課題意識に基づいた研究、あるいは各自の専門とする分野の演奏を発表できる。 ・これまでの教職課程の学びを振り返りつつ、著しい支障をきたすことなく教科指導や学級経営を行えるようになるとともに、教員として必要な使命感・責任感・子どもに対する愛情、および社会性とコミュニケーションの能力を形成し、教職への適性・意欲を高めることができる。

<教育学部学校教員養成課程> (中一種免 美術)

年 次	時 期	各段階における到達目標
1年次	第1学期	・教員という職務の内容やその意義について理解することを通して、教職の特性を認識できる。 ・中学校美術科の学習内容の背景にある絵画と工芸に関する技能と理論の基礎を身に付けることができる。 ・教員に必要とされる英語、健康・運動および数理・データサイエンスの基礎的な知識やスキルを形成できる。 ・学校教育・社会教育の現場での諸活動への参加を通して、教育現場に根ざした教師の仕事の特性に気付くことができる。
	第2学期	・生徒の学習の過程や学校生活をめぐる心理的理論の基礎を認識できる。 ・教員の服務に焦点をあてて教職の特性の理解を深めることを通して、教育法規・教育政策に関する理論的基礎を認識できる。 ・中学校美術科の学習内容の背景にある彫刻とデザインに関する技能と理論の基礎を身に付けることができる。 ・学校教育・社会教育の現場での諸活動を振り返ることで、教職への意欲を高めることができる。
2年次	第1学期	・教育の思想や歴史の基礎を認識することで、教育を考えるための理論的基礎を形成できる。 ・教育方法や子どもの発達に関する心理の認識、特別活動指導の理論と方法の習得を通して、子どもの学習およびその環境のデザインに関する理論的基礎を認識できる。 ・中学校美術科教育の歴史とその目標・内容に関する基本的理論を習得するとともに、映像メディアによる表現に焦点をあてた中学校美術科授業を計画し、模擬的に実施できる。 ・中学校美術科の学習内容の背景にある美術理論の基礎を認識できるとともに、中学校美術科の学習指導に必要な絵画・彫刻・デザイン・工芸に関する技能と理論的知識の基礎を修得できる。 ・中学校における教育活動の観察を通して、教師の職務や学校の特質についての認識を深める。
	第2学期	・教育の社会的側面の客観的認識や学校教育と社会の関係の考察を通して、教育を考えるための理論的基礎の理解を拡充できる。 ・教育課程と教育評価の理論と方法について総合的な学習の時間の指導と関わらせつつ習得することによって、教育内容の編成・開発に関する理論的基礎を認識できる。 ・情報通信技術を活用した教育についての基礎を習得するとともに、それに即した授業を計画できる。 ・中学校美術科の学習指導に必要な絵画・彫刻・デザイン・工芸に関する技能と理論的知識を深めるとともに、美術理論に関する理論的認識を広げることができる。
3年次	第1学期	・道徳教育に関する理論や指導法の習得を通して、豊かな心を育てる教育についての基礎的認識を形成できる。 ・生徒指導に関する知識の習得を通して、子どもの状況に応じた対応に関する基礎的な知識を習得できる。 ・絵画・彫刻・デザイン・工芸、美術理論、美術教育学という中学校美術科の背景にある各分野の理論的知識を深めるとともに実践の力量を高めることができる。 ・著しい支障をきたすことなく、中等教育の現場での教科指導・学級経営等を実習として遂行できる。
	第2学期	・教育相談や特別支援教育に関する知識の習得を通して、特別な支援を必要とする子どもの状況に応じた対応に関する基礎的な認識やスキルを形成できる。 ・美術教育の意義や芸術文化の今日の動向の認識に基づいて中学校美術科の授業を開発するとともに、それを模擬的に実施したうえでその結果について分析・検討できる。 ・絵画・彫刻・デザイン・工芸・美術理論・美術教育学という中学校美術科の背景にある諸分野の理論と実践に関する力量を深化できる。 ・教育実習での体験を振り返ることで自己の課題を認識し、教員として必要な資質の向上を図る。
4年次	第1学期	・中学校美術科教育に関連する分野の理論的知識・実践的力量をさらに拡充させるとともに、その学修から、中学校美術科の理論や学習指導の方法あるいは、その教育内容をめぐる研究課題を発見することができる。 ・教師として必要な社会性とコミュニケーション能力の基礎を確立するとともに、教師の仕事の特質を認識し、教職への意欲を高めることができる。
	第2学期	・教職課程での学びの成果として、中学校美術科の理論や学習指導の方法、あるいはその教育内容の背景となる理論についての各自の課題意識に基づいた研究、あるいは各自の専門とする分野の作品を発表できる。 ・これまでの教職課程の学びを振り返りつつ、著しい支障をきたすことなく教科指導や学級経営を行えるようになるとともに、教員として必要な使命感・責任感・子どもに対する愛情、および社会性とコミュニケーションの能力を形成し、教職への適性・意欲を高めることができる。

<教育学部学校教員養成課程> (高一種免 美術)

年 次	時 期	各段階における到達目標
1年次	第1学期	・教員という職務の内容やその意義について理解することを通して、教職の特性を認識できる。 ・高等学校美術科の学習内容の基盤となる絵画と工芸に関する技能と理論の基礎を身に付けることができる。 ・教員に必要とされる英語、健康・運動および数理・データサイエンスの基礎的な知識やスキルを形成できる。 ・学校教育・社会教育の現場での諸活動への参加を通して、教育現場に根ざした教師の仕事の特性に気付くことができる。
	第2学期	・生徒の学習の過程や学校生活をめぐる心理的理論の基礎を認識できる。 ・教員の服務に焦点をあてて教職の特性の理解を深めることを通して、教育法規・教育政策に関する理論的基礎を認識できる。 ・高等学校美術科の学習内容の基盤となる彫刻とデザインに関する技能と理論の基礎を身に付けることができる。 ・学校教育・社会教育の現場での諸活動を振り返ることで、教職への意欲を高めることができる。
2年次	第1学期	・教育の思想や歴史の基礎を認識することで、教育を考えるための理論的基礎を形成できる。 ・教育方法や子どもの発達に関する心理の認識、特別活動指導の理論と方法の習得を通して、子どもの学習およびその環境のデザインに関する理論的基礎を認識できる。 ・高等学校美術科教育の歴史とその目標・内容に関する基本的理論を習得するとともに、映像メディアによる表現に焦点をあてた高等学校美術科授業を計画し、模擬的に実施できる。 ・高等学校美術科の学習内容の基盤となる美術理論の基礎を認識できる。
	第2学期	・教育の社会的側面の客観的認識や学校教育と社会の関係の考察を通して、教育を考えるための理論的基礎の理解を拡充できる。 ・教育課程と教育評価の理論と方法について総合的な探究の時間の指導と関わらせつつ習得することによって、教育内容の編成・開発に関する理論的基礎を認識できる。 ・情報通信技術を活用した教育についての基礎を習得するとともに、それに即した授業を計画できる。 ・高等学校美術科の学習指導に必要な絵画・彫刻・デザイン・工芸に関する技能と理論的知識を高めるとともに、美術理論に関する理論的認識を広げることができる。
3年次	第1学期	・道德教育に関する理論や指導法の習得を通して、豊かな心を育てる教育についての基礎的認識を形成できる。 ・生徒指導に関する知識の習得を通して、子どもの状況に応じた対応に関する基礎的な知識を習得できる。 ・絵画・彫刻・デザイン・工芸、美術理論、美術教育学という高等学校美術科の基盤となる各分野の理論的知識を深めるとともに実践の力量を高めることができる。 ・著しい支障をきたすことなく、中等教育の現場での教科指導・学級経営等を実習として遂行できる。
	第2学期	・教育相談や特別支援教育に関する知識の習得を通して、特別な支援を必要とする子どもの状況に応じた対応に関する基礎的な認識やスキルを形成できる。 ・美術教育の意義や芸術文化の今日の動向の認識に基づいて高等学校美術科の授業を開発するとともに、それを模擬的に実施したうえでその結果について分析・検討できる。 ・絵画・彫刻・デザイン・工芸・美術理論・美術教育学という高等学校美術科の基盤となる諸分野の理論と実践に関する力量を深化できる。 ・教育実習での体験を振り返ることで自己の課題を認識し、教員として必要な資質の向上を図る。
4年次	第1学期	・高等学校美術科教育に関連する分野の理論的知識・実践的力量をさらに拡充させるとともに、その学修から、高等学校美術科の理論や学習指導の方法あるいは、その教育内容をめぐる研究課題を発見することができる。 ・教師として必要な社会性とコミュニケーション能力の基礎を確立するとともに、教師の仕事の特質を認識し、教職への意欲を高めることができる。
	第2学期	・教職課程での学びの成果として、高等学校美術科の理論や学習指導の方法、あるいはその教育内容の背景となる理論についての各自の課題意識に基づいた研究、あるいは各自の専門とする分野の作品を発表できる。 ・これまでの教職課程の学びを振り返りつつ、著しい支障をきたすことなく教科指導や学級経営を行えるようになるとともに、教員として必要な使命感・責任感・子どもに対する愛情、および社会性とコミュニケーションの能力を形成し、教職への適性・意欲を高めることができる。

<教育学部学校教員養成課程> (中一種免 保健体育)

年 次	時 期	各段階における到達目標
1年次	第1学期	・教員という職務の内容やその意義について理解することを通して、教職の特性を認識できる。 ・中学校保健体育科の学習内容の背景にある生理学・運動生理学の理論的基礎について認識できる。 ・中学校保健体育科の学習指導に必要な体づくり運動・ダンス、陸上競技、水泳の技能と理論、指導法を修得できる。 ・教員に必要とされる英語、健康・運動および数理・データサイエンスの基礎的な知識やスキルを形成できる。 ・学校教育・社会教育の現場での諸活動への参加を通して、教育現場に根ざした教師の仕事の特性に気付くことができる。
	第2学期	・生徒の学習の過程や学校生活をめぐる心理的理論の基礎を認識できる。 ・教員の服務に焦点をあてて教職の特性の理解を深めることを通して、教育法規・教育政策に関する理論的基礎を認識できる。 ・学校教育・社会教育の現場での諸活動を振り返ることで、教職への意欲を高めることができる。
2年次	第1学期	・教育の思想や歴史の基礎を認識することで、教育を考えるための理論的基礎を形成できる。 ・教育方法や子どもの発達に関する心理の認識、特別活動指導の理論と方法の習得を通して、子どもの学習およびその環境のデザインに関する理論的基礎を認識できる。 ・中学校保健体育科教育の学習内容の背景にある体育原理、体育心理学の理論的基礎について認識できる。 ・中学校保健体育科の学習指導に必要な器械運動、ゴール型球技、武道の技能と理論、指導法を修得できる。 ・中学校における教育活動の観察を通して、教師の職務や学校の特質についての認識を深める。
	第2学期	・教育の社会的側面の客観的認識や学校教育と社会の関係の考察を通して、教育を考えるための理論的基礎の理解を拡充できる。 ・教育課程と教育評価の理論と方法について総合的な学習の時間の指導と関わらせつつ習得することによって、教育内容の編成・開発に関する理論的基礎を認識できる。 ・情報通信技術を活用した教育についての基礎を習得するとともに、それに即した授業を計画できる。 ・中学校保健体育科の目標論や内容論について基礎的な理解を得るとともに、これまでの授業論を検討しながら保健体育科の授業設計について認識を深める。また、それらの基礎的認識に基づいて、保健体育科のより発展的な授業の可能性を探ることができる。 ・中学校保健体育科教育の学習内容の背景にある運動方法学、衛生学・公衆衛生学、学校保健の理論的基礎について認識できる。
3年次	第1学期	・道徳教育に関する理論や指導法の習得を通して、豊かな心を育てる教育についての基礎的認識を形成できる。 ・生徒指導に関する知識の習得を通して、子どもの状況に応じた対応に関する基礎的な知識を習得できる。 ・中学校保健体育科における各運動領域の指導を中心とした指導内容、指導方法、学習過程、学習評価に関する理論と方法を認識するとともに、学習者の現状を踏まえた中学校体育授業における教材について考察できる。 ・保健体育科教育・体育学・運動方法学・運動学・学校保健学という中学校保健体育科の背景にある各学問分野に関する知識と技能を深めることができる。 ・著しい支障をきたすことなく、中等教育の現場での教科指導・学級経営等を実習として遂行できる。
	第2学期	・教育相談や特別支援教育に関する知識の習得を通して、特別な支援を必要とする子どもの状況に応じた対応に関する基礎的な認識やスキルを形成できる。 ・中学校保健体育科における体育理論と学校保健の指導を中心とした指導内容、指導方法、学習過程に関する理論と方法を認識するとともに、授業計画を作成してそれを模擬授業として実施できる。 ・中学校保健体育科授業の観察と検討会への参加から、保健体育科の授業分析・授業研究の方法の基礎について理解できる。 ・保健体育科教育・体育学・運動方法学・運動学・学校保健学という中学校保健体育科の背景にある諸学問分野についての理論と実践に関する力量を深化できる。 ・教育実習での体験を振り返ることで自己の課題を認識し、教員として必要な資質の向上を図る。
4年次	第1学期	・中学校保健体育科教育に関連する分野の理論的知識・実践的力量をさらに拡充させるとともに、その学修から、中学校保健体育科の理論や学習指導の方法あるいは、その教育内容をめぐる研究課題を発見することができる。 ・教師として必要な社会性とコミュニケーション能力の基礎を確立するとともに、教師の仕事の特質を認識し、教職への意欲を高めることができる。
	第2学期	・教職課程での学びの成果として、中学校保健体育科の理論や学習指導の方法、あるいはその教育内容の背景となる理論についての各自の課題意識に基づいた研究をまとめることができる。 ・これまでの教職課程の学びを振り返りつつ、著しい支障をきたすことなく教科指導や学級経営を行えるようになるとともに、教員として必要な使命感・責任感・子どもに対する愛情、および社会性とコミュニケーションの能力を形成し、教職への適性・意欲を高めることができる。

<教育学部学校教員養成課程> (高一種免 保健体育)

年 次	時 期	各段階における到達目標
1年次	第1学期	・教員という職務の内容やその意義について理解することを通して、教職の特性を認識できる。 ・高等学校保健体育科の学習内容の基盤となる生理学・運動生理学の理論的基礎について認識できる。 ・高等学校保健体育科の学習指導に必要な体づくり運動・ダンス、陸上競技、水泳の技能と理論・指導法を修得できる。 ・教員に必要とされる英語、健康・運動および数理・データサイエンスの基礎的な知識やスキルを形成できる。 ・学校教育・社会教育の現場での諸活動への参加を通して、教育現場に根ざした教師の仕事の特性に気付くことができる。
	第2学期	・生徒の学習の過程や学校生活をめぐる心理的理論の基礎を認識できる。 ・教員の服務に焦点をあてて教職の特性の理解を深めることを通して、教育法規・教育政策に関する理論的基礎を認識できる。 ・学校教育・社会教育の現場での諸活動を振り返ることで、教職への意欲を高めることができる。
2年次	第1学期	・教育の思想や歴史の基礎を認識することで、教育を考えるための理論的基礎を形成できる。 ・教育方法や子どもの発達に関する心理の認識、特別活動指導の理論と方法の習得を通して、子どもの学習およびその環境のデザインに関する理論的基礎を認識できる。 ・高等学校保健体育科の学習内容の基盤となる体育原理、体育心理学の理論的基礎について認識できる。 ・高等学校保健体育科の学習指導に必要な器械運動、ゴール型球技、武道の技能と理論、指導法を修得できる。
	第2学期	・教育の社会的側面の客観的認識や学校教育と社会の関係の考察を通して、教育を考えるための理論的基礎の理解を拡充できる。 ・教育課程と教育評価の理論と方法について総合的な探究の時間の指導と関わらせつつ習得することによって、教育内容の編成・開発に関する理論的基礎を認識できる。 ・情報通信技術を活用した教育についての基礎を習得するとともに、それに即した授業を計画できる。 ・高等学校保健体育科の目標論や内容論について基礎的な理解を得るとともに、これまでの授業論を検討しながら保健体育科の授業設計について認識を深める。また、それらの基礎的認識に基づいて、保健体育科のより発展的な授業の可能性を探ることができる。 ・高等学校保健体育科教育の学習内容の背景にある運動方法学、衛生学・公衆衛生学、学校保健の理論的基礎について認識できる。
3年次	第1学期	・道徳教育に関する理論や指導法の習得を通して、豊かな心を育てる教育についての基礎的認識を形成できる。 ・生徒指導に関する知識の習得を通して、子どもの状況に応じた対応に関する基礎的な知識を習得できる。 ・高等学校保健体育科における各運動領域の指導を中心とした指導内容、指導方法、学習過程、学習評価に関する理論と方法を認識するとともに、学習者の現状を踏まえた高等学校体育授業における教材について考察できる。 ・保健体育科教育・体育学・運動方法学・運動学・学校保健学という高等学校保健体育科の基盤となる各学問分野に関する知識と技能を深めることができる。 ・著しい支障をきたすことなく、中等教育の現場での教科指導・学級経営等を実習として遂行できる。
	第2学期	・教育相談や特別支援教育に関する知識の習得を通して、特別な支援を必要とする子どもの状況に応じた対応に関する基礎的な認識やスキルを形成できる。 ・保健体育科教育・体育学・運動方法学・運動学・学校保健学という高等学校保健体育科の基盤となる諸学問分野についての理論と実践に関する力量を深化できる。 ・教育実習での体験を振り返ることで自己の課題を認識し、教員として必要な資質の向上を図る。
4年次	第1学期	・高等学校保健体育科教育に関連する分野の理論的知識・実践的力量をさらに拡充させるとともに、その学修から、高等学校保健体育科の理論や学習指導の方法あるいは、その教育内容をめぐる研究課題を発見することができる。 ・教師として必要な社会性とコミュニケーション能力の基礎を確立するとともに、教師の仕事の特質を認識し、教職への意欲を高めることができる。
	第2学期	・教職課程での学びの成果として、高等学校保健体育科の理論や学習指導の方法、あるいはその教育内容の背景となる理論についての各自の課題意識に基づいた研究をまとめることができる。 ・これまでの教職課程の学びを振り返りつつ、著しい支障をきたすことなく教科指導や学級経営を行えるようになるとともに、教員として必要な使命感・責任感・子どもに対する愛情、および社会性とコミュニケーションの能力を形成し、教職への適性・意欲を高めることができる。

<教育学部学校教員養成課程> (中一種免 技術)

年 次	時 期	各段階における到達目標
1年次	第1学期	・教員という職務の内容やその意義について理解することを通して、教職の特性を認識できる。 ・科学技術を学ぶ際の必要となる数学・工学知識の基礎を習得できる。 ・教員に必要とされる英語、健康・運動および数理・データサイエンスの基礎的な知識やスキルを形成できる。 ・学校教育・社会教育の現場での諸活動への参加を通して、教育現場に根ざした教師の仕事の特性に気付くことができる。
	第2学期	・生徒の学習の過程や学校生活をめぐる心理的理論の基礎を認識できる。 ・教員の服務に焦点をあてて教職の特性の理解を深めることを通して、教育法規・教育政策に関する理論的基礎を認識できる。 ・技術科教育における教材・教具の基礎理論とその実践について、1人1台端末環境下での教材、教具の開発および活用の視点で学ぶことにより、主体的・対話的で深い学びを組み込んだ授業のデザインを試みることができる。 ・技術科の学習内容の背景にある木材加工、電気工学の基礎的な理論や技能を身に付けることができる。 ・学校教育・社会教育の現場での諸活動を振り返ることで、教職への意欲を高めることができる。
2年次	第1学期	・教育の思想や歴史の基礎を認識することで、教育を考えるための理論的基礎を形成できる。 ・教育方法や子どもの発達に関する心理の認識、特別活動指導の理論と方法の習得を通して、子どもの学習およびその環境のデザインに関する理論的基礎を認識できる。 ・技術科の学習内容である木材加工、金属加工、機械、電気、栽培、情報の各領域の学修を通して、技術科の学習指導に必要な理論と技能の基礎を修得できる。 ・中学校における教育活動の観察を通して、教師の職務や学校の特質についての認識を深める。
	第2学期	・教育の社会的側面の客観的認識や学校教育と社会の関係の考察を通して、教育を考えるための理論的基礎の理解を拡充できる。 ・教育課程と教育評価の理論と方法について総合的な学習の時間の指導と関わらせつつ習得することによって、教育内容の編成・開発に関する理論的基礎を認識できる。 ・情報通信技術を活用した教育についての基礎を習得するとともに、それに即した授業を計画できる。 ・技術科の学習内容である木材加工、金属加工、機械、電気、栽培、情報の各領域の学修を通して、技術科の学習指導に必要な理論と技能を広く修得できる。
3年次	第1学期	・道徳教育に関する理論や指導法の習得を通して、豊かな心を育てる教育についての基礎的認識を形成できる。 ・生徒指導に関する知識の習得を通して、子どもの状況に応じた対応に関する基礎的な知識を習得できる。 ・技術教育の現代的課題や技術科の教科観および技術科の特徴について認識できるとともに、教材開発や実験の指導の理論と方法について修得することができる。 ・金属加工・機械工学・電気工学・栽培学という技術科の教育内容の背景にある各分野に関する知識と技能を深めることができる。 ・著しい支障をきたすことなく、中等教育の現場での教科指導・学級経営等を実習として遂行できる。
	第2学期	・教育相談や特別支援教育に関する知識の習得を通して、特別な支援を必要とする子どもの状況に応じた対応に関する基礎的な認識やスキルを形成できる。 ・技術科教育の変遷を通して技術科の役割を認識できるようになるとともに、実習の習熟過程をはじめとする技術科の学習指導の方法について認識を深めるとともに、技術科の学習指導計画を作成しそれを模擬的に実施することができる。 ・金属加工・機械工学・電気工学・栽培学など技術科の教育内容の背景にある諸分野の知識と技能を拡充できる。 ・教育実習での体験を振り返ることで自己の課題を認識し、教員として必要な資質の向上を図る。
4年次	第1学期	・技術科に関連する分野の理論的知識・実践的力量をさらに拡充させるとともに、その学修から、技術教育の理論や学習指導の方法あるいは、その教育内容をめぐる研究課題を発見することができる。 ・教師として必要な社会性とコミュニケーション能力の基礎を確立するとともに、教師の仕事の特質を認識し、教職への意欲を高めることができる。
	第2学期	・教職課程での学びの成果として、技術教育の理論や学習指導の方法、あるいはその教育内容の背景となる理論や技能についての各自の課題意識に基づいた研究をまとめることができる。 ・これまでの教職課程の学びを振り返りつつ、著しい支障をきたすことなく教科指導や学級経営を行えるようになるとともに、教員として必要な使命感・責任感・子どもに対する愛情、および社会性とコミュニケーションの能力を形成し、教職への適性・意欲を高めることができる。

<教育学部学校教員養成課程> (中一種免 家庭)

年 次	時 期	各段階における到達目標
1年次	第1学期	・教員という職務の内容やその意義について理解することを通して、教職の特性を認識できる。 ・中学校家庭科の学習内容の背景にある被服学・住居学の基礎的な理論と方法を身に付けることができる。 ・教員に必要とされる英語、健康・運動および数理・データサイエンスの基礎的な知識やスキルを形成できる。 ・学校教育・社会教育の現場での諸活動への参加を通して、教育現場に根ざした教師の仕事の特性に気付くことができる。
	第2学期	・生徒の学習の過程や学校生活をめぐる心理的理論の基礎を認識できる。 ・教員の服務に焦点をあてて教職の特性の理解を深めることを通して、教育法規・教育政策に関する理論的基礎を認識できる。 ・中学校家庭科の学習内容の背景にある家庭経営学の理論的な基礎を認識できる。 ・学校教育・社会教育の現場での諸活動を振り返ることで、教職への意欲を高めることができる。
2年次	第1学期	・教育の思想や歴史の基礎を認識することで、教育を考えるための理論的基礎を形成できる。 ・教育方法や子どもの発達に関する心理の認識、特別活動指導の理論と方法の習得を通して、子どもの学習およびその環境のデザインに関する理論的基礎を認識できる。 ・中学校家庭科の目標・内容・方法の特徴や歴史や学問的背景を説明できるようになるとともに、家庭科カリキュラムの分析ができる。 ・中学校家庭科の学習内容の背景にある食物学・保育学の基礎的な理論と方法を身に付けることができる。 ・中学校家庭科の学習指導に必要な被服・食物の技能と方法論の基礎について修得できる。 ・中学校における教育活動の観察を通して、教師の職務や学校の特質についての認識を深める。
	第2学期	・教育の社会的側面の客観的認識や学校教育と社会の関係の考察を通して、教育を考えるための理論的基礎の理解を拡充できる。 ・教育課程と教育評価の理論と方法について総合的な学習の時間の指導と関わせつつ習得することによって、教育内容の編成・開発に関する理論的基礎を認識できる。 ・情報通信技術を活用した教育についての基礎を習得するとともに、それに即した授業を計画できる。 ・中学校家庭科の各領域における教材研究・教材構成の考え方と方法を身に付けることができる。 ・中学校家庭科の学習内容の背景にある家庭電気・機械、情報処理に関する基礎的な理論と方法を身に付けることができる。 ・中学校家庭科の学習指導に必要な住居、家庭電気・機械、情報処理に関する技能と方法の基礎について修得できる。
3年次	第1学期	・道徳教育に関する理論や指導法の習得を通して、豊かな心を育てる教育についての基礎的認識を形成できる。 ・生徒指導に関する知識の習得を通して、子どもの状況に応じた対応に関する基礎的な知識を習得できる。 ・中学校家庭科の授業構成・指導方法・学習評価方法の理論認識を深めるとともに、中学校家庭科の学習指導計画を立案でき、それを模擬的に実施できる。 ・家庭科教育学・被服学・食物学・住居学・生活科学という中学校家庭科の教育内容の背景にある各学問分野に関する知識と技能を深めることができる。 ・著しい支障をきたすことなく、中等教育の現場での教科指導・学級経営等を実習として遂行できる。
	第2学期	・教育相談や特別支援教育に関する知識の習得を通して、特別な支援を必要とする子どもの状況に応じた対応に関する基礎的な認識やスキルを形成できる。 ・中学校家庭科における学習評価の理論と方法、および授業分析の方法を習得できる。 ・家庭科教育学・被服学・食物学・住居学・生活科学という中学校家庭科の教育内容の背景にある諸学問分野の知識と技能を拡充できる。 ・教育実習での体験を振り返ることで自己の課題を認識し、教員として必要な資質の向上を図る。
4年次	第1学期	・中学校家庭科に関連する分野の理論的知識・実践的力量をさらに拡充させるとともに、その学修から、中学校家庭科教育の理論や学習指導の方法あるいは、その教育内容をめぐる研究課題を発見することができる。 ・教師として必要な社会性とコミュニケーション能力の基礎を確立するとともに、教師の仕事の特質を認識し、教職への意欲を高めることができる。
	第2学期	・教職課程での学びの成果として、中学校家庭科教育の理論や学習指導の方法、あるいはその教育内容の背景となる理論や技能についての各自の課題意識に基づいた研究をまとめることができる。 ・これまでの教職課程の学びを振り返りつつ、著しい支障をきたすことなく教科指導や学級経営を行えるようになるとともに、教員として必要な使命感・責任感・子どもに対する愛情、および社会性とコミュニケーションの能力を形成し、教職への適性・意欲を高めることができる。

<教育学部学校教員養成課程> (高一種免 家庭)

年 次	時 期	各段階における到達目標
1年次	第1学期	・教員という職務の内容やその意義について理解することを通して、教職の特性を認識できる。 ・高等学校家庭科の学習内容の基盤となる被服学・住居学の基礎的な理論と方法を身に付けることができる。 ・教員に必要とされる英語、健康・運動および数理・データサイエンスの基礎的な知識やスキルを形成できる。 ・学校教育・社会教育の現場での諸活動への参加を通して、教育現場に根ざした教師の仕事の特性に気付くことができる。
	第2学期	・生徒の学習の過程や学校生活をめぐる心理的理論の基礎を認識できる。 ・教員の服務に焦点をあてて教職の特性の理解を深めることを通して、教育法規・教育政策に関する理論的基礎を認識できる。 ・高等学校家庭科の学習内容の基盤となる家庭経営学の理論的な基礎を認識できる。 ・学校教育・社会教育の現場での諸活動を振り返ることで、教職への意欲を高めることができる。
2年次	第1学期	・教育の思想や歴史の基礎を認識することで、教育を考えるための理論的基礎を形成できる。 ・教育方法や子どもの発達に関する心理の認識、特別活動指導の理論と方法の習得を通して、子どもの学習およびその環境のデザインに関する理論的基礎を認識できる。 ・高等学校家庭科の目標・内容・方法の特徴や歴史や学問的背景を説明できるようになるとともに、家庭科カリキュラムの分析ができる。 ・高等学校家庭科の学習内容の基盤となる食物学・保育学の基礎的な理論と方法を身に付けることができる。 ・高等学校家庭科の学習指導に必要な被服・食物の技能と方法論の基礎について修得できる。
	第2学期	・教育の社会的側面の客観的認識や学校教育と社会の関係の考察を通して、教育を考えるための理論的基礎の理解を拡充できる。 ・教育課程と教育評価の理論と方法について総合的な探究の時間の指導と関わらせつつ習得することによって、教育内容の編成・開発に関する理論的基礎を認識できる。 ・情報通信技術を活用した教育についての基礎を習得するとともに、それに即した授業を計画できる。 ・高等学校家庭科の各領域における教材研究・教材構成の考え方と方法を身に付けることができる。 ・高等学校家庭科の学習内容の基盤となる家庭電気・機械、情報処理に関する基礎的な理論と方法を身に付けることができる。 ・高等学校家庭科の学習指導に必要な住居、家庭電気・機械、情報処理に関する技能と方法の基礎について修得できる。 ・家庭科の学習内容である被服学・食物学・住居学・生活科学・家庭経営学の各領域の学修を通して、高等学校家庭科の学習指導に必要な理論と技能の基礎を広く修得できる。
3年次	第1学期	・道徳教育に関する理論や指導法の習得を通して、豊かな心を育てる教育についての基礎的認識を形成できる。 ・生徒指導に関する知識の習得を通して、子どもの状況に応じた対応に関する基礎的な知識を習得できる。 ・高等学校家庭科の授業構成・指導方法・学習評価方法の理論認識を深めるとともに、高等学校家庭科の学習指導計画を立案でき、それを模擬的に実施できる。 ・被服学・食物学・住居学・生活科学・家庭科教育学という高等学校家庭科の教育内容の基盤となる各学問分野に関する知識と技能を深めることができる。 ・著しい支障をきたすことなく、中等教育の現場での教科指導・学級経営等を実習として遂行できる。
	第2学期	・教育相談や特別支援教育に関する知識の習得を通して、特別な支援を必要とする子どもの状況に応じた対応に関する基礎的な認識やスキルを形成できる。 ・高等学校家庭科における学習評価の理論と方法、および授業分析の方法を習得できる。 ・被服学・食物学・住居学・生活科学・家庭科教育学という高等学校家庭科の教育内容の基盤となる諸学問分野の知識と技能を拡充できる。 ・教育実習での体験を振り返ることで自己の課題を認識し、教員として必要な資質の向上を図る。
4年次	第1学期	・高等学校家庭科に関連する分野の理論的知識・実践的力量をさらに拡充させるとともに、その学修から、高等学校家庭科教育の理論や学習指導の方法あるいは、その教育内容をめぐる研究課題を発見することができる。 ・教師として必要な社会性とコミュニケーション能力の基礎を確立するとともに、教師の仕事の特質を認識し、教職への意欲を高めることができる。
	第2学期	・教職課程での学びの成果として、高等学校家庭科教育の理論や学習指導の方法、あるいはその教育内容の背景となる理論や技能についての各自の課題意識に基づいた研究をまとめることができる。 ・これまでの教職課程の学びを振り返りつつ、著しい支障をきたすことなく教科指導や学級経営を行えるようになるとともに、教員として必要な使命感・責任感・子どもに対する愛情、および社会性とコミュニケーションの能力を形成し、教職への適性・意欲を高めることができる。

<教育学部学校教員養成課程> (中一種免 英語)

年 次	時 期	各段階における到達目標
1年次	第1学期	・教員という職務の内容やその意義について理解することを通して、教職の特性を認識できる。 ・中学校英語科の学習内容の背景にある英語学の理論的基礎を形成できる。 ・中学校英語科の学習指導に必要なスピーキング、リーディングの基礎的な技能と理論を身に付けることができる。 ・教員に必要とされる英語、健康・運動および数理・データサイエンスの基礎的な知識やスキルを形成できる。 ・学校教育・社会教育の現場での諸活動への参加を通して、教育現場に根ざした教師の仕事の特性に気付くことができる。
	第2学期	・生徒の学習の過程や学校生活をめぐる心理的理論の基礎を認識できる。 ・教員の服務に焦点をあてて教職の特性の理解を深めることを通して、教育法規・教育政策に関する理論的基礎を認識できる。 ・中学校英語科の学習内容の背景にある英語学の理論に関する認識を広げることができる。 ・中学校英語科の学習指導に必要なスピーキング、リーディングの基礎的な技能と理論を確実に修得できる。 ・学校教育・社会教育の現場での諸活動を振り返ることで、教職への意欲を高めることができる。
2年次	第1学期	・教育の思想や歴史の基礎を認識することで、教育を考えるための理論的基礎を形成できる。 ・教育方法や子どもの発達に関する心理の認識、特別活動指導の理論と方法の習得を通して、子どもの学習およびその環境のデザインに関する理論的基礎を認識できる。 ・中学校における英語の学習・指導に関する知識と授業指導および学習評価の理論と方法の基礎を身に付けることができる。 ・中学校英語科の学習指導に必要なリスニング、ライティングの基礎的な技能と理論を身に付けることができる。 ・中学校における教育活動の観察を通して、教師の職務や学校の特質についての認識を深める。
	第2学期	・教育の社会的側面の客観的認識や学校教育と社会の関係の考察を通して、教育を考えるための理論的基礎の理解を拡充できる。 ・教育課程と教育評価の理論と方法について総合的な学習の時間の指導と関わらせつつ習得することによって、教育内容の編成・開発に関する理論的基礎を認識できる。 ・情報通信技術を活用した教育についての基礎を習得するとともに、それに即した授業を計画できる。 ・英語の授業を行うための基本的な技能の習得と関わらせつつ、中学校の実践的な英語指導法を模擬授業を通じて習得できる。 ・中学校英語科の学習内容の背景にある英語文学の理論的基礎を身に付けることができる。 ・中学校英語科の学習指導に必要なリスニング、ライティングの基礎的な技能と理論を確実に修得できる。
3年次	第1学期	・道德教育に関する理論や指導法の習得を通して、豊かな心を育てる教育についての基礎的認識を形成できる。 ・生徒指導に関する知識の習得を通して、子どもの状況に応じた対応に関する基礎的な知識を習得できる。 ・中学校英語科における英語授業の基本的な構成および枠組みおよび指導案作成の基本的形式を理解するとともに学習者のレベルや4技能の別を念頭に置いた具体的な授業案の作成ができる。 ・中学校英語科の学習内容の背景にある異文化理解の理論的基礎を認識できる。 ・英語学・英語文学・英語コミュニケーション論・英語科教育学という中学校英語科の教育内容の背景にある各学問分野に関する知識と、学習指導に必要な英語コミュニケーションの諸技能を深めることができる。 ・著しい支障をきたすことなく、中等教育の現場での教科指導・学級経営等を実習として遂行できる。
	第2学期	・教育相談や特別支援教育に関する知識の習得を通して、特別な支援を必要とする子どもの状況に応じた対応に関する基礎的な認識やスキルを形成できる。 ・中学校英語科における学習評価の特質および理論と方法を認識するとともに、テスト作成の方法を習得できる。 ・英語学・英語文学・英語コミュニケーション論・英語科教育学という中学校英語科の教育内容の背景にある諸学問分野に関する知識を拡充するとともに、学習指導に必要な英語コミュニケーション諸技能に習熟することができる。 ・教育実習での体験を振り返ることで自己の課題を認識し、教員として必要な資質の向上を図る。
4年次	第1学期	・中学校英語科に関連する分野の理論的知識・実践的力量をさらに拡充させるとともに、その学修から、中学校英語科教育の理論や学習指導の方法あるいは、その教育内容をめぐる研究課題を発見することができる。 ・教師として必要な社会性とコミュニケーション能力の基礎を確立するとともに、教師の仕事の特質を認識し、教職への意欲を高めることができる。
	第2学期	・教職課程での学びの成果として、中学校英語科教育の理論や学習指導の方法、あるいはその教育内容の背景となる理論や技能についての各自の課題意識に基づいた研究をまとめることができる。 ・これまでの教職課程の学びを振り返りつつ、著しい支障をきたすことなく教科指導や学級経営を行えるようになるとともに、教員として必要な使命感・責任感・子どもに対する愛情、および社会性とコミュニケーションの能力を形成し、教職への適性・意欲を高めることができる。

<教育学部学校教員養成課程> (高一種免 英語)

年 次	時 期	各段階における到達目標
1年次	第1学期	・教員という職務の内容やその意義について理解することを通して、教職の特性を認識できる。 ・高等学校英語科の学習内容の基盤となる英語学の理論的基礎を形成できる。 ・高等学校英語科の学習指導に必要なスピーキング、リーディングの基礎的な技能と理論を身に付けることができる。 ・教員に必要とされる英語、健康・運動および数理・データサイエンスの基礎的な知識やスキルを形成できる。 ・学校教育・社会教育の現場での諸活動への参加を通して、教育現場に根ざした教師の仕事の特性に気付くことができる。
	第2学期	・生徒の学習の過程や学校生活をめぐる心理的理論の基礎を認識できる。 ・教員の服務に焦点をあてて教職の特性の理解を深めることを通して、教育法規・教育政策に関する理論的基礎を認識できる。 ・高等学校英語科の学習内容の背景にある英語学の理論に関する認識を広げることができる。 ・高等学校英語科の学習指導に必要となるスピーキング、リーディングの基礎的な技能と理論を確実に修得できる。 ・学校教育・社会教育の現場での諸活動を振り返ることで、教職への意欲を高めることができる。
2年次	第1学期	・教育の思想や歴史の基礎を認識することで、教育を考えるための理論的基礎を形成できる。 ・教育方法や子どもの発達に関する心理の認識、特別活動指導の理論と方法の習得を通して、子どもの学習およびその環境のデザインに関する理論的基礎を認識できる。 ・高等学校における英語の学習・指導に関する知識と授業指導および学習評価の理論と方法の基礎を身に付けることができる。 ・高等学校英語科の学習指導に必要なリスニング、ライティングの基礎的な技能と理論を身に付けることができる。
	第2学期	・教育の社会的側面の客観的認識や学校教育と社会の関係の考察を通して、教育を考えるための理論的基礎の理解を拡充できる。 ・教育課程と教育評価の理論と方法について総合的な探究の時間の指導と関わせつつ習得することによって、教育内容の編成・開発に関する理論的基礎を認識できる。 ・情報通信技術を活用した教育についての基礎を習得するとともに、それに即した授業を計画できる。 ・英語の授業を行うための基本的な技能の習得と関わせつつ、高等学校の実践的な英語指導法を模擬授業を通じて習得できる。 ・高等学校英語科の学習内容の基盤となる英語文学の理論的基礎を身に付けることができる。 ・高等学校英語科の学習指導に必要なリスニング、ライティングの基礎的な技能と理論を確実に修得できる。
3年次	第1学期	・道徳教育に関する理論や指導法の習得を通して、豊かな心を育てる教育についての基礎的認識を形成できる。 ・生徒指導に関する知識の習得を通して、子どもの状況に応じた対応に関する基礎的な知識を習得できる。 ・高等学校英語科における英語授業の基本的な構成および枠組みおよび指導案作成の基本的形式を理解するとともに学習者のレベルや4技能の別を念頭に置いた具体的な授業案の作成ができる。 ・高等学校英語科の学習内容の基盤となる異文化理解の理論的基礎を認識できる。 ・英語学・英語文学・英語コミュニケーション論・英語科教育学という高等学校英語科の教育内容の基盤となる各学問分野に関する知識と、学習指導に必要な英語コミュニケーションの諸技能を深めることができる。 ・著しい支障をきたすことなく、中等教育の現場での教科指導・学級経営等を実習として遂行できる。
	第2学期	・教育相談や特別支援教育に関する知識の習得を通して、特別な支援を必要とする子どもの状況に応じた対応に関する基礎的な認識やスキルを形成できる。 ・高等学校英語科における学習評価の特質および理論と方法を認識するとともに、テスト作成の方法を習得できる。 ・英語学・英語文学・英語コミュニケーション論・英語科教育学という高等学校英語科の教育内容の基盤となる諸学問分野に関する知識を拡充するとともに、学習指導に必要な英語コミュニケーション諸技能に習熟することができる。 ・教育実習での体験を振り返ることで自己の課題を認識し、教員として必要な資質の向上を図る。
4年次	第1学期	・高等学校英語科に関連する分野の理論的知識・実践的力量をさらに拡充させるとともに、その学修から、高等学校英語科教育の理論や学習指導の方法あるいは、その教育内容をめぐる研究課題を発見することができる。 ・教師として必要な社会性とコミュニケーション能力の基礎を確立するとともに、教師の仕事の特質を認識し、教職への意欲を高めることができる。
	第2学期	・教職課程での学びの成果として、高等学校英語科教育の理論や学習指導の方法、あるいはその教育内容の背景となる理論や技能についての各自の課題意識に基づいた研究をまとめることができる。 ・これまでの教職課程の学びを振り返りつつ、著しい支障をきたすことなく教科指導や学級経営を行えるようになるとともに、教員として必要な使命感・責任感・子どもに対する愛情、および社会性とコミュニケーションの能力を形成し、教職への適性・意欲を高めることができる。

<教育学部学校教員養成課程> (特支一種免 知・肢・病)

年 次	時 期	各段階における到達目標
1年次	第1学期	・教員という職務の内容やその意義について理解することを通して、教職の特性を認識できる。 ・小学校における各教科の教科内容の背景にある諸学問についての入門的な認識を形成できる。 ・教員に必要とされる英語、健康・運動および数理・データサイエンスの基礎的な知識やスキルを形成できる。 ・学校教育・社会教育の現場での諸活動への参加を通して、教育現場に根ざした教師の仕事の特性に気付くことができる。
	第2学期	・児童の学習の過程や学校生活をめぐる心理的理論の基礎を認識できる。 ・教員の服務に焦点をあてて教職の特性の理解を深めることを通して、教育法規・教育政策に関する理論的基礎を認識できる。 ・小学校における各教科の教科内容の背景にある諸学問についての入門的な認識を形成できる。 ・学校教育・社会教育の現場での諸活動を振り返ることで、教職への意欲を高めることができる。
2年次	第1学期	・小学校で教える教科内容の背景にある諸学問についての基礎的な認識を形成できる。 ・教育の思想や歴史の基礎を認識することで、教育を考えるための理論的基礎を形成できる。 ・教育方法や子どもの発達に関する心理の認識、特別活動指導の理論と方法の習得を通して、子どもの学習およびその環境のデザインに関する理論的基礎を認識できる。 ・小学校で教える各教科の性格や教育内容・授業・評価の理論と方法についての基礎を習得するとともに、それに即した授業を計画・実施できる。 ・病弱児、重複障害の心理・病理を中心に、心身に障害のある児童・生徒の心理・生理・病理およびその指導に関する理論と方法の基礎的認識を形成できる。 ・特別支援学校における教育活動の観察を通して、教師の職務や学校の特質についての認識を深める。
	第2学期	・小学校で教える教科内容の背景にある諸学問についての基礎的な認識を拡充できる。 ・教育の社会的側面の客観的認識や学校教育と社会の関係の考察を通して、教育を考えるための理論的基礎の理解を拡充できる。 ・教育課程と教育評価の理論と方法について総合的な学習の時間の指導と関わらせつつ習得することによって、教育内容の編成・開発に関する理論的基礎を認識できる。 ・小学校で教える各教科の性格や教育内容・授業・評価の理論と方法、および情報通信技術を活用した教育についての基礎を習得するとともに、それに即した授業を計画・実施できる。 ・知的障害、言語障害、発達障害、肢体不自由の心理とその指導を中心に、心身に障害のある児童・生徒の心理・生理・病理およびその指導に関する理論と方法の基礎的認識を形成できる。
3年次	第1学期	・特別支援教育に関わる諸分野の学修と関わらせて、小学校各教科の内容の背景にある諸学問の認識および教科の学習指導についての認識を深めることができる。 ・道徳教育に関する理論や指導法の習得を通して、豊かな心を育てる教育についての基礎的認識を形成できる。 ・生徒指導に関する知識の習得をとおして、子どもの状況に応じた対応に関する基礎的な知識を習得できる。 ・特別支援教育の役割や特質、障害の種類に応じた指導についての基礎的な理論を認識できるようになるとともに、心身に障害のある児童・生徒の心理・生理・病理に関する理論と方法の認識を深めることができる。 ・著しい支障をきたすことなく、特別支援教育の現場での指導・支援等を実習として遂行できる。
	第2学期	・特別支援教育学・障害児心理学・障害児病理学・言語障害心理学という特別支援教育の基盤となる諸分野の理論と方法に関する知識を拡充できる。 ・教育相談に関する知識の習得を通して、特別な支援を必要とする子どもの状況に応じた対応に関する基礎的な知識やスキルを形成できる。 ・教育実習での体験を振り返ることで自己の課題を認識し、教員として必要な資質の向上を図る。
4年次	第1学期	・特別支援教育に関わる諸分野および小学校教育に関わる諸分野の学修をさらに拡充させるとともに、その学修から、障害のある児童・生徒の心理・生理・病理や特別支援学校における指導や諸領域の活動をめぐる研究課題を発見することができる。 ・著しい支障をきたすことなく、小学校の教育現場での教育実習を遂行できるとともに、その体験を振り返ることで自己の課題を認識し、教員として必要な資質の向上を図る。 ・教師として必要な社会性とコミュニケーション能力の基礎を確立するとともに、教師の仕事の特質を認識し、教職への意欲を高めることができる。
	第2学期	・教職課程での学びの成果として、障害のある児童・生徒の心理・生理・病理や特別支援学校における指導や諸領域の活動をめぐる各自の課題意識に基づく研究をまとめることができる。 ・これまでの教職課程の学びを振り返りつつ、著しい支障をきたすことなく教科指導や学級経営を行えるようになるとともに、教員として必要な使命感・責任感・子どもに対する愛情、および社会性とコミュニケーションの能力を形成し、教職への適性・意欲を高めることができる。

<法学部法学科> （認定課程：高等学校一種（公民））

年 次	時 期		各段階における到達目標
1年次	第1学期	第1ターム	教職の意義を考え、教員の役割、職務内容、および進路選択に資する各種の機会の提供および教科の指導法について理解する。また、大学の学びに必要なスキルの修得や法学の基礎的素養を集中的に身につける。
		第2ターム	
	第2学期	第3ターム	教育についての基礎的な概念と手法および生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)について理解する。また、法学・政治学の基本的事項を講義を通じて身につける。
		第4ターム	
2年次	第1学期	第1ターム	教育課程の意義及び編成の方法、教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想を理解する。また、演習を通じて1年次に修得した法学の知識を定着させ、判例実務を踏まえて多角的に法律理論を理解するための基礎的視座を修得する。
		第2ターム	
	第2学期	第3ターム	今日求められる資質・能力を育成するために必要な教科指導の方法と、それを成立させる指導技術を理解し、その基本を身につける。また、演習等を通じて学びを深めつつ社会問題を解決するためのツールとしての法学・政治学の基本的知見を涵養する。
		第4ターム	
3年次	第1学期	第1ターム	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項、社会科の指導法、生徒指導、進路指導や教育相談の理論及び方法を理解する。法政演習（ゼミ）を通じて、社会問題を解決するためのツールとしての専門的知見を深めていく。同時に、インターンシップによって自らの学びと社会との関連を意識づけ、実践能力を身につける。
		第2ターム	
	第2学期	第3ターム	高度な科目の教育方法、道徳の指導方法と生徒指導、進路指導や教育相談の理論及び方法を理解する。また、実際に生じている社会問題を解決するための視点を分野・領域横断的な視点から得られるような態度を身につける。
		第4ターム	
4年次	第1学期	第1ターム	教育実習を通して教員の業務について理解を深め、自己の課題を認識し、教員に必要な資質を向上させる。また、卒業研究（ゼミ）において専門的知見を高めながら、ジュニア・リサーチ・ペーパーに向けた問題意識を深化させる。
		第2ターム	
	第2学期	第3ターム	教育実習での体験をグループで振り返り、効果的な板書や説明の方法を身に付けることおよび専門分野のまとめを行い、その分野の背景や研究の意義を理解し、教職実践演習を通じて自己の課題を認識し、教員に必要な資質を向上させる。また、学部における学修の集大成としてジュニア・リサーチ・ペーパーを執筆し発表会に臨み、課題解決に必要な能力およびプレゼンテーション能力を身につける。
		第4ターム	

<経済科学部総合経済学科> (認定課程：高等学校 一種(商業))

年 次	時 期		各段階における到達目標
1年次	第1学期	第1ターム	商業に関する専門領域を学ぶ準備として、ビジネスやマネジメント、簿記に関係する経営学や会計学の基礎的な知識を修得するほか、教職の意義及び教員の役割、教員の職務内容、進路選択に資する各種の機会の提供等を理解する。また、日本国憲法や情報機器の操作、英語科目を履修することで、実践できる力を身に着ける。
		第2ターム	
	第2学期	第3ターム	ビジネスやマネジメント、財務会計、原価計算に関係する経営学や会計学の基礎的な概念や知識を身に着け、企業経営に関するデータの情報処理方法も修得し、教育についての基礎的な概念と手法及び生徒の心身に発達及び学習の過程についてや特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対し理解する。
		第4ターム	
2年次	第1学期	第1ターム	法規も含めてビジネスについての理解を深め、会計の実践的な方法である簿記や基礎的な会計の諸理論を修得すると共に、情報処理の基礎も修得し、教職科目では、教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想、教育課程の意義及び編成や教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む）、総合的な学習の時間の指導法と教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む）について理解する。
		第2ターム	
	第2学期	第3ターム	ビジネスやマネジメント、マーケティング、商品開発などに関連する基本的な経営学の科目の履修を通じて、経営学に関する基本的な知識を修得すると共に、財務会計や原価計算、ビジネス法務（法人税法等）の基本的な知識を修得し、教職科目では、教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む）と特別活動の指導法について理解する。
		第4ターム	
3年次	第1学期	第1ターム	企業経営、会計、税務に関する科目の履修を通じて、ビジネスやマネジメント、会計に関する基本的な知識の積み上げをすると共に、企業経営に関する情報の作成方法や利用方法についても修得し、教職科目では、生徒指導の理論及び方法について理解する。 高校生に対するキャリア指導法を学ぶため、職業指導を履修する。
		第2ターム	
	第2学期	第3ターム	経営学や会計学の応用的な分野を中心に知識の修得すると共に、グローバルな視点から経営や会計を学習し、教職科目では、教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む）の理論及び方法について理解する。
		第4ターム	
4年次	第1学期	第1ターム	専門分野の文献を読み、経営学や会計学に関する専門知識を深めることと、中等教育実習Ⅱでは、商業高校における教育の実地研究を通じて教員の資質を理解し、教員としてあるべき姿を体験する。
		第2ターム	
	第2学期	第3ターム	自ら設定した専門的なテーマについて、調査し、自分の考えを論文にまとめることと、教職実践演習では、教員になるための自己の課題を認識し、自己の不足している知識や技能を補い、教員としての資質を身に着ける。
		第4ターム	

<理学科（数学プログラム）>（認定課程： 中学校教諭（数学））

年次	時期		各段階における到達目標
1 年次	第 1 学期	第1ターム	教職の意義を考え、教員の役割、職務内容、および進路選択に資する各種の機会の提供および教科の指導法について理解する。
		第2ターム	これから大学で数学を学ぶ準備として、文献等の資料収集方法やレポート等の作成方法を身に付け、アクティブ・ラーニングを通して積極的に授業に参加する姿勢を身に付けながら、現実社会における数学研究の役割について理解を深める。
	第 2 学期	第3ターム	教育についての基礎的な概念と手法および生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)について理解する。
		第4ターム	数列の収束、関数の極限や連続性、連立1次方程式の解法や行列計算の諸法則、微分積分学の基本定理、定積分や不定積分、行列式、平面ベクトルや空間ベクトルについて正しく理解する。
2 年次	第 1 学期	第1ターム	教育課程の意義及び編成の方法、教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想を理解する。
		第2ターム	多変数関数や偏微分、線形空間や行列の階数、重積分や広義重積分、固有値や対称行列の対角化について正しく理解する。
	第 2 学期	第3ターム	今日求められる資質・能力を育成するために必要な教科指導の方法と、それを成立させる指導技術を理解し、その基本を身につける。
		第4ターム	関数の一様連続性や極限值、ベクトル空間や2次の表現行列、関数の各点収束や一様収束、正規直交基底や2次曲面について正しく理解する。
3 年次	第 1 学期	第1ターム	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項、理科の指導法、生徒指導、進路指導や教育相談の理論及び方法を理解する。
		第2ターム	距離空間や位相空間、複素数の定義や基本事項、連続写像やコンパクト性、解析関数や初等関数について正しく理解する。
	第 2 学期	第3ターム	高度な科目の教育方法、道徳の指導方法と生徒指導、進路指導や教育相談の理論及び方法を理解する。
		第4ターム	複素関数の微分や積分、ノルム空間やバナッハ空間、コーシーの積分定理や留数定理、線形作用素や共役作用素について正しく理解する。
4 年次	第 1 学期	第1ターム	教育実習を通して教員の業務について理解を深め、自己の課題を認識し、教員に必要な資質を向上させる。
		第2ターム	数学分野の文献や論文を講読し、数学の専門知識を深める。
	第 2 学期	第3ターム	教育実習での体験をグループで振り返り、効果的な板書や説明の方法を身に付けることおよび専門分野のまとめを行い、その分野の背景や研究の意義を理解し、教職実践演習を通じて自己の課題を認識し、教員に必要な資質を向上させる。
		第4ターム	

<理学科（数学プログラム）>（認定課程： 高等学校教諭（数学））

履修年次			各段階における到達目標
年次	時期		
1 年次	第 1 学期	第1ターム	教職の意義を考え、教員の役割、職務内容、および進路選択に資する各種の機会の提供および教科の指導法について理解する。
		第2ターム	これから大学で数学を学ぶ準備として、文献等の資料収集方法やレポート等の作成方法を身に付け、アクティブ・ラーニングを通して積極的に授業に参加する姿勢を身に付けながら、現実社会における数学研究の役割について理解を深める。
	第 2 学期	第3ターム	教育についての基礎的な概念と手法および生徒の心身の発達及び学 習の過程(障害のある生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)について理解する。
		第4ターム	数列の収束、関数の極限や連続性、連立1次方程式の解法や行列計算の諸法則、微分積分学の基本定理、定積分や不定積分、行列式、平面ベクトルや空間ベクトルについて正しく理解する。
2 年次	第 1 学期	第1ターム	教育課程の意義及び編成の方法、教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想を理解する。
		第2ターム	多変数関数や偏微分、線形空間や行列の階数、重積分や広義重積分、固有値や対称行列の対角化について正しく理解する。
	第 2 学期	第3ターム	今日求められる資質・能力を育成するために必要な教科指導の方法と、それを成立させる指導技術を理解し、その基本を身につける。
		第4ターム	関数の一様連続性や極限值、ベクトル空間や2次の表現行列、関数の各点収束や一様収束、正規直交基底や2次曲面について正しく理解する。
3 年次	第 1 学期	第1ターム	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項、理科の指導法、生徒指導、進路指導や教育相談の理論及び方法を理解する。
		第2ターム	距離空間や位相空間、複素数の定義や基本事項、連続写像やコンパクト性、解析関数や初等関数について正しく理解する。
	第 2 学期	第3ターム	高度な科目の教育方法、道徳の指導方法と生徒指導、進路指導や教育相談の理論及び方法を理解する。
		第4ターム	複素関数の微分や積分、ノルム空間やバナッハ空間、コーシーの積分定理や留数定理、線形作用素や共役作用素について正しく理解する。
4 年次	第 1 学期	第1ターム	教育実習を通して教員の業務について理解を深め、自己の課題を認識し、教員に必要な資質を向上させる。
		第2ターム	数学分野の文献や論文を講読し、数学の専門知識を深める
	第 2 学期	第3ターム	教育実習での体験をグループで振り返り、効果的な板書や説明の方法を身に付けることおよび専門分野のまとめを行い、その分野の背景や研究の意義を理解し、教職実践演習を通じて自己の課題を認識し、教員に必要な資質を向上させる。
		第4ターム	

<理学科（物理学プログラム）>（認定課程：中学校教諭（理科））

履修年次			各段階における到達目標
年次	時期		
1 年次	第 1 学期	第1ターム	教職の意義を考え、教員の役割、職務内容、および進路選択に資する各種の機会の提供および教科の指導法について理解する。
		第2ターム	これから大学で物理学を学ぶ準備として、文献等の資料収集方法やレポート等の作成方法を身に付け、アクティブ・ラーニング型科目を通して積極的に授業に参加する姿勢を身に付けながら、現実社会における物理学の役割について理解を深める。
	第 2 学期	第3ターム	教育についての基礎的な概念と手法および生徒の心身の発達及び学 習の過程(障害のある生徒の心身の発達及び学 習の過程を含む。)について理解する。
		第4ターム	力学を題材として、物理学を学ぶ上で必要な用語や記号、基礎的な概念と手法を理解しながら、適切に使えるようになり、物理学に関する様々な実験により測定方法やデータの扱い方を身につけ、表、グラフや数式を用いたレポート作成能力を修得する。
2 年次	第 1 学期	第1ターム	教育課程の意義及び編成の方法、教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想を理解する。
		第2ターム	物理学を学ぶ上で必要となる、基本的な数学概念を理解し、電磁気学を題材として、物理学を学ぶ上で必要な用語や記号、基礎的な概念と手法を理解し適切に使えるようにする。
	第 2 学期	第3ターム	今日求められる資質・能力を育成するために必要な教科指導の方法と、それを成立させる指導技術を理解し、その基本を身につける。
		第4ターム	物理学、化学、生物学、地学の理学各分野における、基礎的な概念と方法を理解する。
3 年次	第 1 学期	第1ターム	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項、理科の指導法、生徒指導、進路指導や教育相談の理論及び方法を理解する。
		第2ターム	物理学、化学、生物学、地学の理学各分野において、様々な実践技能を身につけ、多様な自然現象に対する実験観察手法を理解し、分かりやすい授業を展開するためのプレゼンテーション能力を身に付ける。
	第 2 学期	第3ターム	高度な科目の教育方法、道徳の指導方法と生徒指導、進路指導や教育相談の理論及び方法を理解する。
		第4ターム	物理学の様々な現象を体験し、基盤的な実験技能と科学的なデータ処理法を身に付け、量子力学や統計力学などの現代物理学の基本体系を理解する。
4 年次	第 1 学期	第1ターム	教育実習を通して教員の業務について理解を深め、自己の課題を認識し、教員に必要な資質を向上させる。
		第2ターム	物理学分野の文献や論文を講読し、物理学の専門知識を深める。
	第 2 学期	第3ターム	教育実習での体験をグループで振り返り、効果的な板書や説明の方法を身に付けることおよび専門分野のまとめを行い、その分野の背景や研究の意義を理解し、教職実践演習を通じて自己の課題を認識し、教員に必要な資質を向上させる。
		第4ターム	

<理学科（物理学プログラム）>（認定課程：高等学校教諭（理科））

履修年次			各段階における到達目標
年次	時期		
1 年次	第 1 学期	第1ターム	教職の意義を考え、教員の役割、職務内容、および進路選択に資する各種の機会の提供および教科の指導法について理解する。
		第2ターム	これから大学で物理学を学ぶ準備として、文献等の資料収集方法やレポート等の作成方法を身に付け、物理学における基礎的な概念と方法および理学他分野の基礎的な概念と方法を理解しながら、アクティブ・ラーニング型科目を通して積極的に授業に参加する姿勢を身に付け、現実社会における物理学の役割について理解を深める。
	第 2 学期	第3ターム	教育についての基礎的な概念と手法および生徒の心身の発達及び学 習の過程(障害のある生徒の心身の発達及び学 習の過程を含む。)について理解する。
		第4ターム	物理学を学ぶため力学および数学を題材として、基礎的な概念と手法を理解し、適切に使えるようになり、物理学や化学に関する様々な実験により測定方法やデータの扱い方を身につけ、表、グラフや数式を用いたレポート作成能力を修得する。
2 年次	第 1 学期	第1ターム	教育課程の意義及び編成の方法、教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想を理解する。
		第2ターム	電磁気学を題材として、物理学を学ぶ上で必要な用語や記号、基礎的な概念および現代物理学につながる発展的な力学の概念と手法を理解し、適切に使えるようにする。
	第 2 学期	第3ターム	今日求められる資質・能力を育成するために必要な教科指導の方法と、それを成立させる指導技術を理解し、その基本を身につける。
		第4ターム	電磁気学や熱力学を題材として、物理学を学ぶ上で必要な用語や記号、基礎的な概念と手法を理解し、適切に使えるようにする。
3 年次	第 1 学期	第1ターム	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項、理科の指導法、生徒指導、進路指導や教育相談の理論及び方法を理解する。
		第2ターム	量子力学や統計力学などの現代物理学の基本的な概念を理解し物理学の様々な現象を体験し、基本的な実験技能と科学的なデータ処理能力、レポートにまとめる力、基盤的な実験技能、科学的なデータ処理法を身に付ける。
	第 2 学期	第3ターム	高度な科目の教育方法、道徳の指導方法と生徒指導、進路指導や教育相談の理論及び方法を理解する。
		第4ターム	量子力学や統計力学などの現代物理学の基本体系を理解し、物理現象に適用できる能力を身につける。また、物理学の様々な現象を体験し、基盤的な実験技能と科学的なデータ処理法を身に付ける。
4 年次	第 1 学期	第1ターム	教育実習を通して教員の業務について理解を深め、自己の課題を認識し、教員に必要な資質を向上させる。 物理学分野の文献や論文を講読し、物理学の専門知識を深める。
		第2ターム	
	第 2 学期	第3ターム	教育実習での体験をグループで振り返り、効果的な板書や説明の方法を身に付けることおよび専門分野のまとめを行い、その分野の背景や研究の意義を理解し、教職実践演習を通じて自己の課題を認識し、教員に必要な資質を向上させる。
		第4ターム	

<理学科（化学プログラム）＞（認定課程：中学校教諭（理科））

履修年次			各段階における到達目標
年次	時期		
1 年次	第 1 学期	第1ターム	教職の意義を考え、教員の役割、職務内容、および進路選択に資する各種の機会の提供および教科の指導法について理解する。
		第2ターム	基礎化学として、分子を構成する結合と物質の状態変化と反応速度について理解することと、化学以外の理科学分野について基礎的な知識を習得する。
	第 2 学期	第3ターム	教育についての基礎的な概念と手法および生徒の心身の発達及び学 習の過程(障害のある生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)について理解する。
		第4ターム	分析化学、物理化学、無機化学、有機化学に関する基礎的な知識を学ぶと共に、化学基礎実習 a, bにより基本的な実験操作を習得する。
2 年次	第 1 学期	第1ターム	教育課程の意義及び編成の方法、教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想を理解する。 化学についての基礎的な知識を基に、各分野の化学を理解するために必要な基本的知識を習得する。
		第2ターム	
	第 2 学期	第3ターム	今日求められる資質・能力を育成するために必要な教科指導の方法と、それを成立させる指導技術を理解し、その基本を身につける。
		第4ターム	中核的な化学に関する知識を習得する。
3 年次	第 1 学期	第1ターム	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項、理科の指導法、生徒指導、進路指導や教育相談の理論及び方法を理解する。 発展的な化学に関する知識を習得する。
		第2ターム	
	第 2 学期	第3ターム	高度な科目の教育方法、道徳の指導方法と生徒指導、進路指導や教育相談の理論及び方法を理解する。
		第4ターム	化学の専門性を深める一方、化学以外の理科学分野について基礎的な実験操作を習得する。
4 年次	第 1 学期	第1ターム	教育実習を通して教員の業務について理解を深め、自己の課題を認識し、教員に必要な資質を向上させる。 化学分野の文献や論文を講読して専攻した化学分野の専門知識を深める。
		第2ターム	
	第 2 学期	第3ターム	教育実習での体験をグループで振り返り、効果的な板書や説明の方法を身に付けることおよび専門分野のまとめを行い、その分野の背景や研究の意義を理解し、教職実践演習を通じて自己の課題を認識し、教員に必要な資質を向上させる。
		第4ターム	

<理学科（化学プログラム）>（認定課程：高等学校教諭（理科））

履修年次			各段階における到達目標
年次	時期		
1 年次	第 1 学期	第1ターム	教職の意義を考え、教員の役割、職務内容、および進路選択に資する各種の機会の提供および教科の指導法について理解する。
		第2ターム	基礎化学として、分子を構成する結合と物質の状態変化と反応速度について理解することと、化学以外の理科分野について基礎的な知識を習得する。
	第 2 学期	第3ターム	教育についての基礎的な概念と手法および生徒の心身の発達及び学 習の過程(障害のある生徒の心身の発達及び学 習の過程を含む。)について理解する。
		第4ターム	分析化学、物理化学、無機化学、有機化学に関する基礎的な知識を学ぶと共に、化学基礎実習 a, b により基本的な実験操作を習得する。
2 年次	第 1 学期	第1ターム	教育課程の意義及び編成の方法、教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想を理解する。 化学についての基礎的な知識を基に、各分野の化学を理解するために必要な基本的知識を習得する。
		第2ターム	
	第 2 学期	第3ターム	今日求められる資質・能力を育成するために必要な教科指導の方法と、それを成立させる指導技術を理解し、その基本を身につける。 中核的な化学に関する知識を習得する。
		第4ターム	
3 年次	第 1 学期	第1ターム	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項、理科の指導法、生徒指導、進路指導や教育相談の理論及び方法を理解する。 発展的な化学に関する知識を習得する。
		第2ターム	
	第 2 学期	第3ターム	高度な科目の教育方法、道徳の指導方法と生徒指導、進路指導や教育相談の理論及び方法を理解する。 化学の専門性を深める。
		第4ターム	
4 年次	第 1 学期	第1ターム	教育実習を通して教員の業務について理解を深め、自己の課題を認識し、教員に必要な資質を向上させる。 化学分野の文献や論文を講読して専攻した化学分野の専門知識を深める。
		第2ターム	
	第 2 学期	第3ターム	教育実習での体験をグループで振り返り、効果的な板書や説明の方法を身に付けることおよび専門分野のまとめを行い、その分野の背景や研究の意義を理解し、教職実践演習を通じて自己の課題を認識し、教員に必要な資質を向上させる。
		第4ターム	

<理学科（生物学プログラム）>（認定課程：中学校教諭（理科））

履修年次			各段階における到達目標
年次	時期		
1 年次	第 1 学期	第1ターム	教職の意義を考え、教員の役割、職務内容、および進路選択に資する各種の機会の提供および教科の指導法について理解する。
		第2ターム	これから大学で生物学を学ぶ準備として、化学などの理学の基礎力を身につけ、現実社会における生物学の役割について理解を深める。
	第 2 学期	第3ターム	教育についての基礎的な概念と手法および生徒の心身の発達及び学 習の過程(障害のある生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。))について理解する。
		第4ターム	物理学や化学、地学などの理学の基礎力を身につけるとともに、遺伝や細胞を題材として、生物学を学ぶ上で必要な用語と手法を理解する。
2 年次	第 1 学期	第1ターム	教育課程の意義及び編成の方法、教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想を理解する。
		第2ターム	植物学や生理学を題材として、生物学を学ぶ上で必要な用語と手法を理解するとともに、地学の基礎的な手法を理解する。
	第 2 学期	第3ターム	今日求められる資質・能力を育成するために必要な教科指導の方法と、それを成立させる指導技術を理解し、その基本を身につける。
		第4ターム	生物化学や形態学、発生学を題材として、生物学を学ぶ上で必要な用語と手法を理解するとともに、物理学や化学の基礎的な手法を理解する。
3 年次	第 1 学期	第1ターム	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項、理科の指導法、生徒指導、進路指導や教育相談の理論及び方法を理解する。
		第2ターム	分子生物学や分子遺伝学、細胞生物学などの現代生命科学の基本的な概念や手法を理解する。
	第 2 学期	第3ターム	高度な科目の教育方法、道徳の指導方法と生徒指導、進路指導や教育相談の理論及び方法を理解する。
		第4ターム	動物生理学や植物生理学などの現代生命科学の基本体系を理解し、生命現象の理解に適用できる能力を身につける。
4 年次	第 1 学期	第1ターム	教育実習を通して教員の業務について理解を深め、自己の課題を認識し、教員に必要な資質を向上させる。
		第2ターム	生物学の様々な現象を体験し、継続的な実験によって技能と科学的なデータ処理法を身につけるとともに、生物学分野の文献や論文を講読し専門知識を深める。
	第 2 学期	第3ターム	教育実習での体験をグループで振り返り、効果的な板書や説明の方法を身に付けることおよび専門分野のまとめを行い、その分野の背景や研究の意義を理解し、教職実践演習を通じて自己の課題を認識し、教員に必要な資質を向上させる。
		第4ターム	

<理学科（生物学プログラム）＞（認定課程：高等学校学校教諭（理科））

履修年次			各段階における到達目標
年次	時期		
1 年次	第 1 学期	第1ターム	教職の意義を考え、教員の役割、職務内容、および進路選択に資する各種の機会の提供および教科の指導法について理解する。
		第2ターム	これから大学で生物学を学ぶ準備として、化学などの理学の基礎力を身につけ、現実社会における生物学の役割について理解を深める。
	第 2 学期	第3ターム	教育についての基礎的な概念と手法および生徒の心身の発達及び学 習の過程(障害のある生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)について理解する。
		第4ターム	物理学や地学などの理学の基礎力を身につけるとともに、遺伝や細胞を題材として、生物学を学ぶ上で必要な用語と手法を理解する。
2 年次	第 1 学期	第1ターム	教育課程の意義及び編成の方法、教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想を理解する。
		第2ターム	植物学や生理学を題材として、生物学を学ぶ上で必要な用語と手法を理解理解する。
	第 2 学期	第3ターム	今日求められる資質・能力を育成するために必要な教科指導の方法と、それを成立させる指導技術を理解し、その基本を身につける。
		第4ターム	生物化学や形態学、発生学を題材として、生物学を学ぶ上で必要な用語と手法を理解する。
3 年次	第 1 学期	第1ターム	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項、理科の指導法、生徒指導、進路指導や教育相談の理論及び方法を理解する。
		第2ターム	分子生物学や分子遺伝学、細胞生物学などの現代生命科学の基本的な概念や手法を理解する。
	第 2 学期	第3ターム	高度な科目の教育方法、道徳の指導方法と生徒指導、進路指導や教育相談の理論及び方法を理解する。
		第4ターム	動物生理学や植物生理学などの現代生命科学の基本体系を理解し、生命現象の理解に適用できる能力を身につける。
4 年次	第 1 学期	第1ターム	教育実習を通して教員の業務について理解を深め、自己の課題を認識し、教員に必要な資質を向上させる。
		第2ターム	生物学の様々な現象を体験し、継続的な実験によって技能と科学的なデータ処理法を身につけるとともに、生物学分野の文献や論文を講読し専門知識を深める。
	第 2 学期	第3ターム	教育実習での体験をグループで振り返り、効果的な板書や説明の方法を身に付けることおよび専門分野のまとめを行い、その分野の背景や研究の意義を理解し、教職実践演習を通じて自己の課題を認識し、教員に必要な資質を向上させる。
		第4ターム	

<理学科（地質科学プログラム）>（認定課程：中学校教諭（理科））

履修年次			各段階における到達目標
年次	時期		
1 年次	第 1 学期	第1ターム	教職の意義を考え、 教員の役割、 職務内容、 および進路選択に資する各種の機会の提供および教科の指導法について理解する。 理科分野について基礎的な知識を習得する。
		第2ターム	
	第 2 学期	第3ターム	教育についての基礎的な概念と手法および生徒の心身の発達及び学 習の過程(障害のある生徒の心身の発達及び学 習の過程を含む。)について理解する。 地質学を学ぶ上で必要な基礎的な概念と知識を身につける。
		第4ターム	
2 年次	第 1 学期	第1ターム	教育課程の意義及び編成の方法、教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想を理解する。 基礎的な地質調査の方法について学び、地層、化石、岩石や鉱物に関する基礎的概念と知識を身につける。
		第2ターム	
	第 2 学期	第3ターム	今日求められる資質・能力を育成するために必要な教科指導の方法と、それを成立させる指導技術を理解し、その基本を身につける。 第 1 学期の知識をふまえ応用的な地質調査の方法について学び、地層、化石、岩石や鉱物に関する基礎的概念と知識を身につける。
		第4ターム	
3 年次	第 1 学期	第1ターム	教育に関する社会的、 制度的又は経営的事項、理科の指導法、 生徒指導、進路指導や教育相談の理論及び方法を理解する。 岩石学、鉱物学、地層学、構造地質学などの地質学の基本体系を学び、野外での地質調査に取り組み、野外観察に基づいて地質現象を説明する能力を身につける。
		第2ターム	
	第 2 学期	第3ターム	高度な科目の教育方法、道徳の指導方法と生徒指導、進路指導や教育相談の理論及び方法を理解する。 専門分野の文献や論文を講読し、地質科学の専門知識を深める。
		第4ターム	
4 年次	第 1 学期	第1ターム	教育実習を通して教員の業務について理解を深め、自己の課題を認識し、 教員に必要な資質を向上させる。 地学分野の文献や論文を講読し専門知識を深める。
		第2ターム	
	第 2 学期	第3ターム	教育実習での体験をグループで振り返り、 効果的な板書や説明の方法を身に付けることおよび専門分野のまとめを行い、その分野の背景や研究の意義を理解し、 教職実践演習を通じて自己の課題を認識し、 教員に必要な資質を向上させる。
		第4ターム	

<理学科（地質科学プログラム）>（認定課程：高等学校教諭（理科））

履修年次			各段階における到達目標
年次	時期		
1 年次	第 1 学期	第1ターム	教職の意義を考え、 教員の役割、 職務内容、および進路選択に資する各種の機会の提供および教科の指導法について理解する。
		第2ターム	理科分野について基礎的な知識を習得する。
	第 2 学期	第3ターム	教育についての基礎的な概念と手法および生徒の心身の発達及び学 習の過程(障害のある生徒の心身の発達及び学 習の過程を含む。)について理解する。
		第4ターム	地質学を学ぶ上で必要な基礎的な概念と知識を身につける。
2 年次	第 1 学期	第1ターム	教育課程の意義及び編成の方法、教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想を理解する。
		第2ターム	基礎的な地質調査の方法について学び、地層、化石、岩石や鉱物に関する基礎的な概念と知識を身につける。
	第 2 学期	第3ターム	今日求められる資質・能力を育成するために必要な教科指導の方法と、それを成立させる指導技術を理解し、その基本を身につける。
		第4ターム	第 1 学期の知識をふまえた応用的な地質調査の方法について学び、地層、化石、岩石や鉱物に関する基礎的な概念と知識を身につける。
3 年次	第 1 学期	第1ターム	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項、理科の指導法、生徒指導、進路指導や教育相談の理論及び方法を理解する。
		第2ターム	岩石学、鉱物学、地層学、構造地質学などの地質学の基本体系を学び、野外での地質調査に取り組み、野外観察に基づいて地質現象を説明する能力を身につける。
	第 2 学期	第3ターム	高度な科目の教育方法、道徳の指導方法と生徒指導、進路指導や教育相談の理論及び方法を理解する。
		第4ターム	専門分野の文献や論文を講読し、地質科学の専門知識を深める。
4 年次	第 1 学期	第1ターム	教育実習を通して教員の業務について理解を深め、自己の課題を認識し、教員に必要な資質を向上させる。
		第2ターム	地学分野の文献や論文を講読し専門知識を深めることと教育実習を通して教員の業務について理解を深める。
	第 2 学期	第3ターム	教育実習での体験をグループで振り返り、効果的な板書や説明の方法を身に付けることおよび専門分野のまとめを行い、その分野の背景や研究の意義を理解し、教職実践演習を通じて自己の課題を認識し、教員に必要な資質を向上させる。
		第4ターム	

< 理学科（自然環境科学プログラム） >（認定課程：中学校教諭（理科））

履修年次			各段階における到達目標	
年次	時期			
1 年次	第 1 学期	第1ターム	教職の意義を考え、教員の役割、職務内容、および進路選択に資する各種の機会の提供および教科の指導法について理解する。	
		第2ターム	これから大学で環境科学と深く関わる理学諸分野を学ぶ準備として、文献等の資料収集方法やレポート等の作成方法を身に付ける。	
	第 2 学期	第3ターム	教育についての基礎的な概念と手法および生徒の心身の発達及び学 習の過程(障害のある生徒の心身の発達及び学 習の過程を含む。)	について理解する。
		第4ターム	基礎科目、実習科目を通して、理学の基礎的な知識と実験・実習手法を修得する。	
2 年次	第 1 学期	第1ターム	教育課程の意義及び編成の方法、教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想を理解する。	
		第2ターム	環境科学に必要な物理学、化学、生物学、地学の各分野における知識を修得する。	
	第 2 学期	第3ターム	今日求められる資質・能力を育成するために必要な教科指導の方法と、それを成立させる指導技術を理解し、その基本を身につける。	
		第4ターム	環境分析の基礎を理解し、数式や法則を用いて定量計算を行える。生物界全体を概観して、多様性や普遍性を説明でき、動物の組織、細胞、器官やその仕組みを理解し、動物の体の構造形成・機能を説明でき、また、生物多様性や保全の意義を理解し、遺伝的多様性について、進化・保全上の意味を説明できる。	
3 年次	第 1 学期	第1ターム	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項、理科の指導法、生徒指導、進路指導や教育相談の理論及び方法を理解する。	
		第2ターム	地球システムに関する現象を説明するための物理学や化学の知識を修得し、概念を理解したうえで、進化が生物学を統合する重要な概念であることを理解し、生物現象の解明に遺伝学が果たしてきた役割を説明できる。	
	第 2 学期	第3ターム	高度な科目の教育方法、道徳の指導方法と生徒指導、進路指導や教育相談の理論及び方法を理解する。植物の環境ストレスに対する防御、動物の多様な水環境への適応のしくみについて理解し、説明できる。力学を用いて大気海洋の循環特性と大気海洋相互作用のメカニズムを理論的に説明できる。基礎的な量子力学の知識を使って、高層大気における原子分子衝突過程を説明できる。地圏の変動の過程を理解し、地震や液化化の仕組みを説明できる。理学の基礎知識に基づいて、エネルギーやその変換における基本的な法則を理解し、現代のエネルギー問題の解決策の議論ができる能力を修得する。	
		第4ターム		
4 年次	第 1 学期	第1ターム	教育実習を通して教員の業務について理解を深め、自己の課題を認識し、教員に必要な資質を向上させる。	
		第2ターム	専門分野の文献や論文を講読し、環境生物学、環境物質化学、あるいは地球環境科学の専門知識を深める。	
	第 2 学期	第3ターム	教育実習での体験をグループで振り返り、効果的な板書や説明の方法を身に付けることおよび専門分野のまとめを行い、その分野の背景や研究の意義を理解し、教育実習および教職実践演習を通じて自己の課題を認識し、教員に必要な資質を向上させる。	
		第4ターム		

< 理学科（自然環境科学プログラム） >（認定課程：高等学校教諭（理科））

履修年次			各段階における到達目標
年次	時期		
1 年次	第 1 学期	第1ターム	教職の意義を考え、教員の役割、職務内容、および進路選択に資する各種の機会の提供および教科の指導法について理解する。
		第2ターム	これから大学で環境科学と深く関わる理学諸分野を学ぶ準備として、文献等の資料収集方法やレポート等の作成方法を身に付ける。
	第 2 学期	第3ターム	教育についての基礎的な概念と手法および生徒の心身の発達及び学 習の過程(障害のある生徒の心身の発達及び学 習の過程を含む。))について理解する。
		第4ターム	基礎科目、実習科目を通して、理学の基礎的な知識と実験・実習手法を修得する。
2 年次	第 1 学期	第1ターム	教育課程の意義及び編成の方法、教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想を理解する。
		第2ターム	環境科学に必要な物理学、化学、生物学、地学の各分野における知識を修得する。
	第 2 学期	第3ターム	今日求められる資質・能力を育成するために必要な教科指導の方法と、それを成立させる指導技術を理解し、その基本を身につける。
		第4ターム	環境分析の基礎を理解し、数式や法則を用いて定量計算を行える。生物界全体を概観して、多様性や普遍性を説明でき、動物の組織、細胞、器官やその仕組みを理解し、動物の体の構造形成・機能を説明でき、また、生物多様性や保全の意義を理解し、遺伝的多様性について、進化・保全上の意味を説明できる。
3 年次	第 1 学期	第1ターム	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項、理科の指導法、生徒指導、進路指導や教育相談の理論及び方法を理解する。
		第2ターム	地球システムに関する現象を説明するための物理学や化学の知識を修得し、概念を理解したうえで、進化が生物学を統合する重要な概念であることを理解でき、生物現象の解明に遺伝学が果たしてきた役割を説明できる。
	第 2 学期	第3ターム	高度な科目の教育方法、道徳の指導方法と生徒指導、進路指導や教育相談の理論及び方法を理解する。植物の環境ストレスに対する防御、動物の多様な水環境への適応のしくみについて理解し、説明できる。力学を用いて大気海洋の循環特性と大気海洋相互作用のメカニズムを理論的に説明できる。基礎的な量子力学の知識を使って、高層大気における原子分子衝突過程を説明できる。地圏の変動の過程を理解し、地震や液状化の仕組みを説明できる。理学の基礎知識に基づいて、エネルギーやその変換における基本的な法則を理解し、現代のエネルギー問題の解決策の議論ができる能力を修得する。
		第4ターム	
4 年次	第 1 学期	第1ターム	教育実習を通して教員の業務について理解を深め、自己の課題を認識し、教員に必要な資質を向上させる。
		第2ターム	専門分野の文献や論文を講読し、環境生物学、環境物質化学、あるいは地球環境科学の専門知識を深める。
	第 2 学期	第3ターム	教育実習での体験をグループで振り返り、効果的な板書や説明の方法を身に付けることおよび専門分野のまとめを行い、その分野の背景や研究の意義を理解し、教職実践演習を通じて自己の課題を認識し、教員に必要な資質を向上させる。
		第4ターム	

<理学科（フィールド科学人材育成プログラム）>（認定課程：中学校教諭（理科））

履修年次			各段階における到達目標
年次	時期		
1 年次	第 1 学期	第1ターム	教職の意義を考え、 教員の役割、 職務内容、 および進路選択に資する各種の機会の提供および教科の指導法について理解する。
		第2ターム	これから大学でフィールド科学と深く関わる理学諸分野を学ぶ準備として、理学の基礎力を身につける。
	第 2 学期	第3ターム	教育についての基礎的な概念と手法および生徒の心身の発達及び学 習の過程(障害のある生徒の心身の発達及び学 習の過程を含む。)について理解する。
		第4ターム	基礎科目、実習科目を通して理学に必要な基礎を修得する。
2 年次	第 1 学期	第1ターム	教育課程の意義及び編成の方法、教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想を理解する。
		第2ターム	フィールド科学に必要な化学、生物学、地学の各分野における基礎的な知識と方法を理解する。
	第 2 学期	第3ターム	今日求められる資質・能力を育成するために必要な教科指導の方法と、それを成立させる指導技術を理解し、その基本を身につける。
		第4ターム	地表面環境のエネルギーや物質の輸送・交換過程を、化学の知識に基づいて定量的に理解し分析でき、また物理学の法則に基づいて理解し、理論や数式によって定量的に説明・評価できる。生物の系統分類の仕組みや環境との相互作用を理解し、生物の多様性・普遍性を説明できる能力や生物保全の意義を理解し、生物現象の解明に遺伝学が果たしてきた役割を説明できる能力を習得する。
3 年次	第 1 学期	第1ターム	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項、理科の指導法、 生徒指導、進路指導や教育相談の理論及び方法を理解する。
		第2ターム	地球システムに関する現象を説明するための化学の知識や海洋沿岸域・河川に生息する生物の多様性や生態を理解し、生物の進化と環境適応の仕組みや意義を説明できる。自然環境の変遷を地質学的スケールで理解し、フィールドにおける地質現象を記載し解釈できる能力を修得する。
	第 2 学期	第3ターム	高度な科目の教育方法、道徳の指導方法と生徒指導、進路指導や教育相談の理論及び方法を理解する。
		第4ターム	化学の知識に基づいて、海洋間の熱や物質の輸送・交換過程を理解し、理論や数式によって定量的に説明でき、地圏の変動の過程、地震や液状化の仕組み、海洋や河川・湖沼などの水圏フィールドの環境構造や特徴を理解し、そこに生息する生物の多様性と進化、環境適応の仕組みや意義を説明できる能力を修得する。
4 年次	第 1 学期	第1ターム	教育実習を通して教員の業務について理解を深め、自己の課題を認識し、 教員に必要な資質を向上させる。
		第2ターム	専門分野の文献や論文を講読し、フィールド科学の専門知識を深める。
	第 2 学期	第3ターム	教育実習での体験をグループで振り返り、効果的な板書や説明の方法を身に付けることおよび専門分野のまとめを行い、その分野の背景や研究の意義を理解し、教職実践演習を通じて自己の課題を認識し、教員に必要な資質を向上させる。
		第4ターム	

<理学科（フィールド科学人材育成プログラム）>（認定課程：高等学校教諭（理科））

履修年次			各段階における到達目標
年次	時期		
1 年次	第 1 学期	第1ターム	教職の意義を考え、教員の役割、職務内容、および進路選択に資する各種の機会の提供および教科の指導法について理解する。
		第2ターム	これから大学でフィールド科学と深く関わる理学諸分野を学ぶ準備として、理学の基礎力を身につける。
	第 2 学期	第3ターム	教育についての基礎的な概念と手法および生徒の心身の発達及び学 習の過程(障害のある生徒の心身の発達及び学 習の過程を含む。))について理解する。
		第4ターム	基礎科目、実習科目を通して理学に必要な基礎を修得する。
2 年次	第 1 学期	第1ターム	教育課程の意義及び編成の方法、教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想を理解する。
		第2ターム	フィールド科学に必要な化学、生物学、地学の各分野における基礎的な知識と方法を理解する。
	第 2 学期	第3ターム	今日求められる資質・能力を育成するために必要な教科指導の方法と、それを成立させる指導技術を理解し、その基本を身につける。 地表面環境のエネルギーや物質の輸送・交換過程を、化学の知識に基づいて定量的に理解し分析でき、また物理学の法則に基づいて理解し、理論や数式によって定量的に説明・評価できる。生物の系統分類の仕組みや環境との相互作用を理解し、生物の多
		第4ターム	様性・普遍性を説明できる能力や生物保全の意義を理解し、生物現象の解明に遺伝学が果たしてきた役割を説明できる能力を習得する。
3 年次	第 1 学期	第1ターム	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項、理科の指導法、生徒指導、進路指導や教育相談の理論及び方法を理解する。
		第2ターム	地球システムに関する現象を説明するための化学の知識や海洋沿岸域・河川に生息する生物の多様性や生態を理解し、生物の進化と環境適応の仕組みや意義を説明できる。自然環境の変遷を地質学的スケールで理解し、フィールドにおける地質現象を記載し解釈できる能力を修得する。
	第 2 学期	第3ターム	高度な科目の教育方法、道徳の指導方法と生徒指導、進路指導や教育相談の理論及び方法を理解する。
		第4ターム	化学の知識に基づいて、海洋間の熱や物質の輸送・交換過程を理解し、理論や数式によって定量的に説明でき、地圏の変動の過程、地震や液状化の仕組み、海洋や河川・湖沼などの水圏フィールドの環境構造や特徴を理解し、そこに生息する生物の多様性と進化、環境適応の仕組みや意義を説明できる能力を修得する。
4 年次	第 1 学期	第1ターム	教育実習を通して教員の業務について理解を深め、自己の課題を認識し、教員に必要な資質を向上させる。
		第2ターム	専門分野の文献や論文を講読し、フィールド科学の専門知識を深め、教職実習を通じて自己の課題を認識する。
	第 2 学期	第3ターム	教育実習での体験をグループで振り返り、効果的な板書や説明の方法を身に付けることおよび専門分野のまとめを行い、その分野の背景や研究の意義を理解し、教職実践演習を通じて自己の課題を認識し、教員に必要な資質を向上させる。
		第4ターム	

<工学科 機械システム工学プログラム> (認定課程: 高等学校 工業)

(1) 各段階における到達目標

履修年次			到達目標
年次	時期		
1年次	第1学期	第1ターム	教職に関する科目としては「教職入門」を履修することによって、教職の意義及び教員の役割、教員の職務内容(研修、含む及び身分保障)、進路選択に資する各種の機会の提供等を理解する。教科に関する科目においては「総合工学概論」ならびに「総合技術科学演習」を履修することによって工業に関する科目の一般的包括的内容を理解し、適切に説明できるようになることを到達目標とする。教養系科目において体育実技と情報機器の操作方法を履修することによって、それぞれ実践できるようになる。英語のリーディング科目とリスニング科目を履修することによって外国語コミュニケーションを実践できるようになる。新潟大学工学部の特色科目である「工学リテラシー入門」を履修することによって、工学の学習法を学ぶとともに上級生とのコミュニケーション能力を身に付ける。
		第2ターム	
	第2学期	第3ターム	教職に関する科目として「教育・学校心理学B」を履修することによって、幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)を理解する。教養系科目においては英語のライティング科目と基礎英語を履修することによって外国語コミュニケーション能力を高め、「日本国憲法」を履修することによって日本国憲法を学ぶ。教科に関する科目としては、工業に関する一般的包括的科目である「技術者の心がまえ」を履修することによって、技術者倫理・研究者倫理を学び、工学部共通科目である「知的財産概論」および「情報セキュリティ概論」を履修することによって、知的財産と情報セキュリティの基礎を学ぶ。「機械工学概論」、「材料力学入門」を履修することによって機械システム工学プログラムの専門基礎科目の一部を修得する。
		第4ターム	
2年次	第1学期	第1ターム	教職に関する科目として「教育学概論」を履修することにより、教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想を理解し、「教育の制度と経営」を履修することによって、教育に関する社会的、制度的又は経営的事項を理解する。さらに、「教育課程及び総合的な学習の時間の指導法B」を履修することによって、教育課程の意義及び編成の方法、総合的な学習の時間の指導法を学ぶ。機械システム工学プログラムの専門基礎科目の履修を進めることによって、機械工学を学ぶための基礎的な内容を理解し、適切に説明できるようになる。測定や加工を実際に行う能力を養成するため、「機械工作実習Ⅰ」、「機械工作実習Ⅱ」を履修する。
		第2ターム	
	第2学期	第3ターム	「教育方法及び特別活動の指導法B」を履修することによって、教育の方法及び技術、特別活動の指導法を理解する。機械システム工学の専門基礎科目群・専門応用科目群の講義科目の履修により、機械工学の理解を深める。測定や加工を実際に行う能力を養成するため、「機械工作実習Ⅲ」を履修する。機械設計に必要な基本的な製図能力を養成するため、「製図基礎」を履修する。
		第4ターム	
3年次	第1学期	第1ターム	「教育相談・進路指導B」を履修し、教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む)の理論及び方法・進路指導及びキャリア教育の理論及び方法を学ぶ。「工業科教育法Ⅰ」を履修し、工業科の指導法の基礎を学ぶ。機械システム工学プログラムの専門応用科目群の講義科目を履修し、機械工学諸分野の理解を深める。「機械工学実験Ⅰ」及び「機械工学実験Ⅱ」を通して各種装置の操作方法を学び、データを取得して解析できるようになる。さらに、機械設計および製図に関する能力を養成するため、「設計製図Ⅰ」、「設計製図Ⅱ」を履修する。
		第2ターム	
	第2学期	第3ターム	「生徒指導B」を履修し、生徒指導の理論及び方法を学ぶ。「工業科教育法Ⅱ」を履修し、工業科の指導法の発展的内容を学ぶ。機械システム工学プログラムの専門応用科目群の講義科目を履修し、機械工学諸分野の理解を深める。「機械工学実験Ⅲ」、「機械工学実験Ⅳ」を履修し、データを取得して解析できるようになる。さらに、機械設計および製図に関する能力を養成するため、「設計製図Ⅲ」、「設計製図Ⅳ」を履修する。
		第4ターム	
4年次	第1学期	第1ターム	「中等教育実習Ⅱ」を履修し、工業高校における教育の実地研究を通じて教員の資質を理解し、教員としてあるべき姿を体験する。「卒業研修」において、研究の進め方や関連情報の収集方法を学ぶとともに、新入生の授業(「工学リテラシー入門」)に参加し、下級生に教えることを通じて世代を超えた協力を実践する。「英文輪読Ⅰ」を履修することにより、機械工学諸分野の学術論文等の内容を理解し、研究に役立てることができるようになる。高校生に対するキャリア指導法を学ぶために「職業指導(工)」を履修する。
		第2ターム	
	第2学期	第3ターム	「教職実践演習(中等)」を履修して、教員になるための自己の課題を認識し、自己の不足している知識や技能を補い、教員として恥じない資質を見につける。同科目の一部として高校生の大学訪問などにもボランティアとして参加して世代を超えたコミュニケーション能力を高める。「英文輪読Ⅱ」を履修することによって、機械工学諸分野の学術的な論文を理解し、研究や技術開発に役立てることができるようになる。「卒業研究」を通じて、研究の進め方を学ぶとともに機械工学の諸分野に対する理解を深め、機械工学の専門性を高める。
		第4ターム	

<工学科 社会基盤工学プログラム> (認定課程: 高等学校 工業)

(1) 各段階における到達目標

履修年次			到達目標
年次	時期		
1年次	第1学期	第1ターム	教職に関する科目としては「教職入門」を履修することによって、教職の意義及び教員の役割、教員の職務内容(研修、含む及び身分保障)、進路選択に資する各種の機会の提供等を理解する。教科に関する科目においては「総合工学概論」ならびに「総合技術科学演習」を履修することによって工業に関する科目の一般的包括的内容を理解し、適切に説明できるようになることを到達目標とする。教養系科目において体育実技と情報機器の操作方法を履修することによって、それぞれ実践できるようになる。英語のリーディング科目とリスニング科目を履修することによって外国語コミュニケーションを実践できるようになる。新潟大学工学部の特色科目である「工学リテラシー入門」を履修することによって、工学の学習法を学ぶとともに上級生とのコミュニケーション能力を身に付ける。
		第2ターム	
	第2学期	第3ターム	教職に関する科目として「教育・学校心理学B」を履修することによって、幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)を理解する。教養系科目においては英語のライティング科目と基礎英語を履修することによって外国語コミュニケーション能力を高め、「日本国憲法」を履修することによって日本国憲法を学ぶ。教科に関する科目としては、工業に関する一般的包括的科目である「技術者の心がまえ」を履修することによって、技術者倫理・研究者倫理を学び、工学部共通科目である「知的財産概論」および「情報セキュリティ概論」を履修することによって、知的財産と情報セキュリティの基礎を学ぶ。「材料力学入門」、「社会基盤工学概論」を履修することにより、社会基盤工学プログラムの専門科目を学ぶための基礎を修得する。
		第4ターム	
2年次	第1学期	第1ターム	教職に関する科目として「教育学概論」を履修することにより、教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想を理解し、「教育の制度と経営」を履修することによって、教育に関する社会的、制度的又は経営的事項を理解する。さらに、「教育課程及び総合的な学習の時間の指導法B」を履修することによって、教育課程の意義及び編成の方法、総合的な学習の時間の指導法を学ぶ。社会基盤工学プログラムにおける応用力学と水理学、及び建設材料に関する基礎を修得し、設計や製図に関する科目を履修することにより、土木工学・社会基盤工学を学ぶための基礎的な内容を理解し、適切に説明できるようになる。
		第2ターム	
	第2学期	第3ターム	「教育方法及び特別活動の指導法B」を履修することによって、教育の方法及び技術、特別活動の指導法を理解する。社会基盤工学プログラムにおける地盤工学とコンクリート工学、及び測量に関する基礎を修得し、専門応用科目群の履修を進めることによって、土木工学・社会基盤工学への理解を深める。
		第4ターム	
3年次	第1学期	第1ターム	「教育相談・進路指導B」を履修し、教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む)の理論及び方法・進路指導及びキャリア教育の理論及び方法を学ぶ。「工業科教育法Ⅰ」を履修し、工業科の指導法の基礎を学ぶ。社会基盤工学プログラムの専門応用科目群の講義科目を履修し、土木工学・社会基盤工学の理解を深める。「社会基盤工学実験Ⅰ」及び「測量学実習(工)」を通して各種装置・機器の操作方法を学び、データを取得して計算・解析ができるようになる。
		第2ターム	
	第2学期	第3ターム	「生徒指導B」を履修し、生徒指導の理論及び方法を学ぶ。「工業科教育法Ⅱ」を履修し、工業科の指導法の発展的内容を学ぶ。社会基盤工学プログラムの専門応用科目群の講義科目を履修し、土木工学・社会基盤工学の理解を深める。「社会基盤工学実験Ⅱ」を通して各種装置の操作方法を学び、データを取得して解析できるようになる。「社会基盤プロジェクト・マネージメント」を履修し、社会基盤施設の計画・設計・施工・維持管理の各課題に取り組むことで、専門科目の知識を総合した問題解決能力とプレゼンテーション能力を身に付ける。
		第4ターム	
4年次	第1学期	第1ターム	「中等教育実習Ⅱ」を履修し、工業高校における教育の実地研究を通じて教員の資質を理解し、教員としてあるべき姿を体験する。「卒業研修」において、研究の進め方や関連情報の収集方法を学ぶとともに、新入生の授業(「工学リテラシー入門」)に参加し、下級生に教えることを通じて世代を超えた協力を実践する。「技術英語Ⅰ」を履修することにより、工学分野の外国語コミュニケーション能力を高める。「土木技術者倫理」を履修することにより、土木工学・社会基盤工学分野における倫理問題を理解する。高校生に対するキャリア指導法を学ぶために「職業指導(工)」を履修する。
		第2ターム	
	第2学期	第3ターム	「教職実践演習(中等)」を履修して、教員になるための自己の課題を認識し、自己の不足している知識や技能を補い、教員として恥じない資質を見につける。同科目の一部として高校生の大学訪問などにもボランティアとして参加して世代を超えたコミュニケーション能力を高める。「技術英語Ⅱ」を履修することにより、社会基盤工学の学術的な英語論文を理解し、研究や国際的な活動に役立てることができるようになる。「卒業研究」を通じて、研究の進め方を学ぶとともに土木工学・社会基盤工学の理解を深め、その専門性を高める。
		第4ターム	

<工学科 電子情報通信プログラム> (認定課程: 高等学校 工業)

(1) 各段階における到達目標

履修年次			到達目標
年次	時期		
1年次	第1学期	第1ターム	教職に関する科目としては「教職入門」を履修することによって、教職の意義及び教員の役割、教員の職務内容(研修, 含む及び身分保障)、進路選択に資する各種の機会の提供等を理解する。教科に関する科目においては「総合工学概論」ならびに「総合技術科学演習」を履修することによって工業に関する科目の一般的包括的内容を理解し、適切に説明できるようになることを到達目標とする。教養系科目において体育実技と情報機器の操作方法を履修することによって、それぞれ実践できるようになる。英語のリーディング科目とリスニング科目を履修することによって外国語コミュニケーションを実践できるようになる。新潟大学工学部の特色科目である「工学リテラシー入門」を履修することによって、工学の学習法を学ぶとともに上級生とのコミュニケーション能力を身に付ける。
		第2ターム	
	第2学期	第3ターム	教職に関する科目として「教育・学校心理学B」を履修することによって、幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)を理解する。教養系科目においては英語のライティング科目と基礎英語を履修することによって外国語コミュニケーション能力を高め、「日本国憲法」を履修することによって日本国憲法を学ぶ。教科に関する科目としては、工業に関する一般的包括的科目である「技術者の心がまえ」を履修することによって、技術者倫理・研究者倫理を学び、工学部共通科目である「知的財産概論」および「情報セキュリティ概論」を履修することによって、知的財産と情報セキュリティの基礎を学ぶ。
		第4ターム	
2年次	第1学期	第1ターム	教職に関する科目として「教育学概論」を履修することにより、教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想を理解し、「教育の制度と経営」を履修することによって、教育に関する社会的、制度的又は経営的事項を理解する。さらに、「教育課程及び総合的な学習の時間の指導法B」を履修することによって、教育課程の意義及び編成の方法、総合的な学習の時間の指導法を学ぶ。電子情報通信プログラムの専門基礎科目、コンピューターやプログラミングに関する基礎、「電気回路」の履修を進めることによって、電子情報通信を学ぶための基礎的な内容を理解し、適切に説明できるようになる。
		第2ターム	
	第2学期	第3ターム	「教育方法及び特別活動の指導法B」を履修することによって、教育の方法及び技術、特別活動の指導法を理解する。電子情報通信プログラムの専門基礎科目群・専門応用科目群の講義科目の履修により、電子情報通信の理解を深める。電子情報通信実験を通して各種装置の操作方法を学び、データを取得して解析できるようになる。
		第4ターム	
3年次	第1学期	第1ターム	「教育相談・進路指導B」を履修し、教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む)の理論及び方法・進路指導及びキャリア教育の理論及び方法を学ぶ。「工業科教育法Ⅰ」を履修し、工業科の指導法の基礎を学ぶ。電子情報通信プログラムの専門応用科目群の講義科目を履修し、電子情報通信技術がどのような課題に応用されるかを理解する。電子情報通信実験を通して各種装置の操作方法を学び、データを取得して解析できるようになる。
		第2ターム	
	第2学期	第3ターム	「生徒指導B」を履修し、生徒指導の理論及び方法を学ぶ。「工業科教育法Ⅱ」を履修し、工業科の指導法の発展的内容を学ぶ。電子情報通信プログラムの専門応用科目群の講義科目を履修し、電子情報通信技術がどのような課題に応用されるかを理解する。電子情報通信実験や電子情報通信設計製図などの課題解決型の授業を通して課題解決方法の計画、計画の実施、実験データを正確かつ工学的に解析・考察した上で、結果を分かりやすく定められた期日までに的確に報告できる。
		第4ターム	
4年次	第1学期	第1ターム	「中等教育実習Ⅱ」を履修し、工業高校における教育の実地研究を通じて教員の資質を理解し、教員としてあるべき姿を体験する。「卒業研修」において、研究の進め方や関連情報の収集方法を学ぶとともに、新入生の授業(「工学リテラシー入門」)に参加し、下級生に教えることを通じて世代を超えた協力を実践する。「論文輪講」を履修することにより、工業分野の外国語コミュニケーション能力を高める。電子情報通信実験を通して課題解決方法の計画、計画の実施、実験データを正確かつ工学的に解析・考察した上で、結果を分かりやすく定められた期日までに的確に報告できる。「卒業研修」を通じて、これまでに学んできた教科に関する科目について専門性を深めるとともに、社会や産業界・工学分野などで解決あるいは改善すべき課題について理解し、設定された研究課題の背景や目的、その研究の意義を理解できる。高校生に対するキャリア指導法を学ぶために「職業指導(工)」を履修する。
		第2ターム	
	第2学期	第3ターム	「教職実践演習(中等)」を履修して、教員になるための自己の課題を認識し、自己の不足している知識や技能を補い、教員として恥じない資質を見につける。同科目の一部として高校生の大学訪問などにもボランティアとして参加して世代を超えたコミュニケーション能力を高める。「卒業研究」を通じて、これまでに学んできた教科に関する科目について専門性を深めるとともに、社会や産業界・工学分野などで解決あるいは改善すべき課題について理解し、設定された研究課題の背景や目的、その研究の意義を理解し、専門性を深めるとともに、研究計画の立案、研究計画による実験の実施、得られた結果に対する考察及び問題の解決、期限内での報告書の作成、プレゼンテーション能力を向上させる。
		第4ターム	

<工学科 知能情報システムプログラム> (認定課程: 高等学校 工業)

(1) 各段階における到達目標

履修年次			到達目標
年次	時期		
1年次	第1学期	第1ターム	教職に関する科目としては「教職入門」を履修することによって、教職の意義及び教員の役割、教員の職務内容(研修、含む及び身分保障)、進路選択に資する各種の機会の提供等を理解する。教科に関する科目においては「総合工学概論」ならびに「総合技術科学演習」を履修することによって工業に関する科目の一般的包括的内容を理解し、適切に説明できるようになることを到達目標とする。教養系科目において体育実技と情報機器の操作方法を履修することによって、それぞれ実践できるようになる。英語のリーディング科目とリスニング科目を履修することによって外国語コミュニケーションを実践できるようになる。新潟大学工学部の特色科目である「工学リテラシー入門」を履修することによって、工学の学習法を学ぶとともに上級生とのコミュニケーション能力を身に付ける。
		第2ターム	
	第2学期	第3ターム	教職に関する科目として「教育・学校心理学B」を履修することによって、幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)を理解する。教養系科目においては英語のライティング科目と基礎英語を履修することによって外国語コミュニケーション能力を高め、「日本国憲法」を履修することによって日本国憲法を学ぶ。教科に関する科目としては、工業に関する一般的包括的科目である「技術者の心がまえ」を履修することによって、技術者倫理・研究者倫理を学び、工学部共通科目である「知的財産概論」および「情報セキュリティ概論」を履修することによって、知的財産と情報セキュリティの基礎を学ぶ。知能情報システムに関する工学の基礎的な内容を理解し、適切に説明できる。
		第4ターム	
2年次	第1学期	第1ターム	教職に関する科目として「教育学概論」を履修することにより、教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想を理解し、「教育の制度と経営」を履修することによって、教育に関する社会的、制度的又は経営的事項を理解する。さらに、「教育課程及び総合的な学習の時間の指導法B」を履修することによって、教育課程の意義及び編成の方法、総合的な学習の時間の指導法を学ぶ。ソフトウェアやハードウェアの基礎理論に関する講義科目を履修し、知能情報システムに関する工学の基礎的な内容を理解し、適切に説明できる。
		第2ターム	
	第2学期	第3ターム	「教育方法及び特別活動の指導法B」を履修することによって、教育の方法及び技術、特別活動の指導法を理解する。知能情報システムの要素であるソフトウェアやハードウェアの基礎理論に関する講義科目を履修し、知能情報システムに関する工学の基礎的な内容を理解し、適切に説明できる。その他教職課程に関係のある実習科目において、ソフトウェアあるいはハードウェアに関する問題の設定、解決策の探求を主体的かつ創造的に進めるPBL型の学習を体験し、知能情報システムに関する工学的設計手法を身に付ける。
		第4ターム	
3年次	第1学期	第1ターム	「教育相談・進路指導B」を履修し、教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む)の理論及び方法・進路指導及びキャリア教育の理論及び方法を学ぶ。「工業科教育法Ⅰ」を履修し、工業科の指導法の基礎を学ぶ。ソフトウェアやハードウェアの応用に関する講義科目を履修し、知能情報システムプログラムに関する工学の発展的な内容を理解し、適切に説明できる。その他教職課程に関係のある実験科目を通して、履修してきた知能情報システムプログラムに関する講義内容を体験し、理解を深める。
		第2ターム	
	第2学期	第3ターム	「生徒指導B」を履修し、生徒指導の理論及び方法を学ぶ。「工業科教育法Ⅱ」を履修し、工業科の指導法の発展的内容を学ぶ。ソフトウェアやハードウェアの応用に関する講義科目を履修し、知能情報システムプログラムに関する工学の発展的な内容を理解し、適切に説明できる。その他教職課程に関係のある実験科目を通して、履修してきた知能情報システムプログラムに関する講義内容を体験し、理解を深める。
		第4ターム	
4年次	第1学期	第1ターム	「中等教育実習Ⅱ」を履修し、工業高校における教育の実地研究を通じて教員の資質を理解し、教員としてあるべき姿を体験する。「卒業研修」において、研究の進め方や関連情報の収集方法を学び、知能情報システムに関する工学の専門性を深め、実験能力や研究能力を向上させるとともに、新入生の授業(「工学リテラシー入門」)にチームリーダーとして参加し、下級生に教えることを通じて世代を超えた協力を実践する。高校生に対するキャリア指導法を学ぶために「職業指導(工)」を履修する。
		第2ターム	
	第2学期	第3ターム	「教職実践演習(中等)」を履修して、教員になるための自己の課題を認識し、自己の不足している知識や技能を補い、教員として恥じない資質を見につける。同科目の一部として高校生の大学訪問などにもボランティアとして参加して世代を超えたコミュニケーション能力を高める。「卒業研究」を通じて、研究の進め方を学ぶとともに、自分の考えを的確に記述、表現、発表し、他者との討議を行うコミュニケーション能力を身に付け、学んできた教科に関する科目について専門性を深める。
		第4ターム	

<工学科化学システム工学プログラム> (認定課程: 高等学校 工業)

(1) 各段階における到達目標

履修年次			到達目標
年次	時期		
1年次	第1学期	第1ターム	教職に関する科目としては「教職入門」を履修することによって、教職の意義及び教員の役割、教員の職務内容(研修、含む及び身分保障)、進路選択に資する各種の機会の提供等を理解する。教科に関する科目においては「総合工学概論」ならびに「総合技術科学演習」を履修することによって工業に関する科目の一般的包括的内容を理解し、適切に説明できるようになることを到達目標とする。教養系科目において体育実技と情報機器の操作方法を履修することによって、それぞれ実践できるようになる。英語のリーディング科目とリスニング科目を履修することによって外国語コミュニケーションを実践できるようになる。新潟大学工学部の特色科目である「工学リテラシー入門」を履修することによって、工学の学習法を学ぶとともに上級生とのコミュニケーション能力を身に付ける。
		第2ターム	
	第2学期	第3ターム	教職に関する科目として「教育・学校心理学B」を履修することによって、幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)を理解する。教養系科目においては英語のライティング科目と基礎英語を履修することによって外国語コミュニケーション能力を高め、「日本国憲法」を履修することによって日本国憲法を学ぶ。教科に関する科目としては、工業に関する一般的包括的科目である「技術者の心がまえ」を履修することによって、技術者倫理・研究者倫理を学び、工学部共通科目である「知的財産概論」および「情報セキュリティ概論」を履修することによって、知的財産と情報セキュリティの基礎を学ぶ。「基礎有機化学」・「基礎無機化学」・「化学工学基礎」を履修することによって化学システム工学プログラムの専門基礎科目の一部を修得する。
		第4ターム	
2年次	第1学期	第1ターム	教職に関する科目として「教育学概論」を履修することにより、教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想を理解し、「教育の制度と経営」を履修することによって、教育に関する社会的、制度的又は経営的事項を理解する。さらに、「教育課程及び総合的な学習の時間の指導法B」を履修することによって、教育課程の意義及び編成の方法、総合的な学習の時間の指導法を学ぶ。化学システム工学プログラムの専門基礎科目および専門応用科目のうち基礎的な内容を持つ科目の履修を進めることによって、応用化学及び化学工学を学ぶための基礎的な内容を理解し、適切に説明できるようになる。
		第2ターム	
	第2学期	第3ターム	「教育方法及び特別活動の指導法B」を履修することによって、教育の方法及び技術、特別活動の指導法を理解する。化学システム工学プログラムの専門基礎科目群および専門応用科目群のうち応用化学及び化学工学の共通基盤となる講義科目の履修により応用化学及び化学工学の共通となる内容を理解し、加えて応用化学または化学工学のそれぞれの分野の専門応用科目群の基礎的な内容を含む講義科目を通じてそれぞれの分野の基盤を理解し、実験科目を通じ基本的な操作を学びデータを取得し解析できるようになり、さらに課題解決型の演習科目を通じて課題解決方法の計画、計画の実施、データの解析および考察方法を修得する。以上を総合して講義内容の理解を深め適切に説明できるようになる。
		第4ターム	
3年次	第1学期	第1ターム	「教育相談・進路指導B」を履修し、教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む)の理論及び方法・進路指導及びキャリア教育の理論及び方法を学ぶ。「工業科教育法Ⅰ」を履修し、工業科の指導法の基礎を学ぶ。化学システム工学プログラムの専門基礎科目群および専門応用科目群のうち応用化学及び化学工学に共通する講義科目の履修により応用化学及び化学工学に共通する高度な内容を理解するとともに、応用化学または化学工学のそれぞれの分野の専門応用科目群の専門的な講義科目・演習科目を通じてそれぞれの分野の専門的な理解を深め、さらに実験科目を通じて実験装置の高度な操作を学び、データを取得して高度な解析ができるようになるとともに講義で得た知識を応用できるようになる。
		第2ターム	
	第2学期	第3ターム	「生徒指導B」を履修し、生徒指導の理論及び方法を学ぶ。「工業科教育法Ⅱ」を履修し、工業科の指導法の発展的内容を学ぶ。化学システム工学プログラム専門応用科目群のうち応用化学及び化学工学に共通する発展的内容を含む講義科目の履修により応用化学及び化学工学に共通する発展的な内容を理解するとともに、応用化学または化学工学のそれぞれの分野の専門応用科目群の発展的な講義科目を通じてそれぞれの分野の高度に専門的な知識の理解を深め適切に説明できるようになる。
		第4ターム	
4年次	第1学期	第1ターム	「中等教育実習Ⅱ」を履修し、工業高校における教育の実地研究を通じて教員の資質を理解し、教員としてあるべき姿を体験する。「卒業研修」において、研究の進め方や関連情報の収集方法を学ぶとともに、新入生の授業(「工学リテラシー入門」)に参加し、下級生に教えることを通じて世代を超えた協力を実践する。「技術文献リサーチA」および「技術文献リサーチB」を履修することにより、工業分野の外国語コミュニケーション能力のうち特に外国語の理解力と表現力を高める。高校生に対するキャリア指導法を学ぶために「職業指導(工)」を履修する。
		第2ターム	
	第2学期	第3ターム	「教職実践演習(中等)」を履修して、教員になるための自己の課題を認識し、自己の不足している知識や技能を補い、教員として恥じない資質を見につける。同科目の一部として高校生の大学訪問などにもボランティアとして参加して世代を超えたコミュニケーション能力を高める。「技術文献リサーチC」および「技術文献リサーチD」を履修することによって、化学システム工学の学術的な論文を理解し、研究や技術開発に役立てることができるようになる。「卒業研究」を通じて研究の進め方を学ぶとともに、応用化学・化学工学の理解を深め、応用化学・化学工学の専門性を高める。
		第4ターム	

<工学科 材料科学プログラム> (認定課程: 高等学校 工業)

(1) 各段階における到達目標

履修年次			到達目標
年次	時期		
1年次	第1学期	第1ターム	教職に関する科目としては「教職入門」を履修することによって、教職の意義及び教員の役割、教員の職務内容(研修、含む及び身分保障)、進路選択に資する各種の機会の提供等を理解する。教科に関する科目においては「総合工学概論」ならびに「総合技術科学演習」を履修することによって工業に関する科目の一般的包括的内容を理解し、適切に説明できるようになることを到達目標とする。教養系科目において体育実技と情報機器の操作方法を履修することによって、それぞれ実践できるようになる。英語のリーディング科目とリスニング科目を履修することによって外国語コミュニケーションを実践できるようになる。新潟大学工学部の特色科目である「工学リテラシー入門」を履修することによって、工学の学習法を学ぶとともに上級生とのコミュニケーション能力を身に付ける。
		第2ターム	
	第2学期	第3ターム	教職に関する科目として「教育・学校心理学B」を履修することによって、幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)を理解する。教養系科目においては英語のライティング科目と基礎英語を履修することによって外国語コミュニケーション能力を高め、「日本国憲法」を履修することによって日本国憲法を学ぶ。教科に関する科目としては、工業に関する一般的包括的科目である「技術者の心がまえ」を履修することによって、技術者倫理・研究者倫理を学び、工学部共通科目である「知的財産概論」および「情報セキュリティ概論」を履修することによって、知的財産と情報セキュリティの基礎を学ぶ。「基礎有機化学」・「基礎無機化学」を履修することによって材料科学プログラムの専門基礎科目の一部を修得する。
		第4ターム	
2年次	第1学期	第1ターム	教職に関する科目として「教育学概論」を履修することにより、教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想を理解し、「教育の制度と経営」を履修することによって、教育に関する社会的、制度的又は経営的事項を理解する。さらに、「教育課程及び総合的な学習の時間の指導法B」を履修することによって、教育課程の意義及び編成の方法、総合的な学習の時間の指導法を学ぶ。工学部専門系科目として材料科学プログラムの専門基礎科目の履修を進めることによって、工業材料を学ぶための基礎的な内容を理解し、適切に説明できるようになる。
		第2ターム	
	第2学期	第3ターム	「教育方法及び特別活動の指導法B」を履修することによって、教育の方法及び技術、特別活動の指導法を理解する。工学部専門系科目として材料科学プログラムの専門基礎科目群・専門応用科目群の講義科目の履修することにより、工業材料の理解を深める。
		第4ターム	
3年次	第1学期	第1ターム	「教育相談・進路指導B」を履修し、教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む)の理論及び方法・進路指導及びキャリア教育の理論及び方法を学ぶ。「工業科教育法Ⅰ」を履修し、工業科の指導法の基礎を学ぶ。工学部専門系科目として材料科学プログラムの専門応用科目群の講義科目を履修し、工業材料の理解を深める。「材料科学実験Ⅰ」及び「材料科学実験Ⅱ」を通して各種装置の操作方法を学び、データを取得して解析できるようになる。
		第2ターム	
	第2学期	第3ターム	「生徒指導B」を履修し、生徒指導の理論及び方法を学ぶ。「工業科教育法Ⅱ」を履修し、工業科の指導法の発展的内容を学ぶ。工学部専門系科目として材料科学プログラムの専門応用科目群の講義科目を履修し、工業材料の理解を深める。実験を含む課題解決型の授業(「材料科学PBL」)を通して課題解決方法の計画、計画の実施、データの解析および考察方法を修得する。
		第4ターム	
4年次	第1学期	第1ターム	「中等教育実習Ⅱ」を履修し、工業高校における教育の実地研究を通じて教員の資質を理解し、教員としてあるべき姿を体験する。工学部専門系科目の「卒業研修」において、研究の進め方や関連情報の収集方法を学ぶとともに、新入生の授業(「工学リテラシー入門」)に参加し、下級生に工学の学習法を教えることを通じて世代を超えた協同活動を実践する。「技術英語」を履修することにより、工業分野の外国語コミュニケーション能力を高める。高校生に対するキャリア指導法を学ぶために「職業指導(工)」を履修する。
		第2ターム	
	第2学期	第3ターム	「教職実践演習(中等)」を履修して、教員になるための自己の課題を認識し、自己の不足している知識や技能を補い、教員として恥じない資質を見につける。同科目の一部として高校生の大学訪問などにもボランティアとして参加して世代を超えたコミュニケーション能力を高める。工学部専門系科目では「論文輪講」を履修することによって、材料科学の学術的な論文を理解し、研究や技術開発に役立てることができるようになる。「卒業研究」を通じて、研究の進め方を学ぶとともに工業材料の理解を深め、材料科学の専門性を高める。
		第4ターム	

<工学科 建築学プログラム> (認定課程: 高等学校 工業)

(1) 各段階における到達目標

履修年次			到達目標
年次	時期		
1年次	第1学期	第1ターム	教職に関する科目としては「教職入門」を履修することによって、教職の意義及び教員の役割、教員の職務内容(研修、含む及び身分保障)、進路選択に資する各種の機会の提供等を理解する。教科に関する科目においては「総合工学概論」ならびに「総合技術科学演習」を履修することによって工業に関する科目の一般的包括的内容を理解し、適切に説明できるようになることを到達目標とする。教養系科目において体育実技と情報機器の操作方法を履修することによって、それぞれ実践できるようになる。英語のリーディング科目とリスニング科目を履修することによって外国語コミュニケーションを実践できるようになる。新潟大学工学部の特色科目である「工学リテラシー入門」を履修することによって、工学の学習法を学ぶとともに上級生とのコミュニケーション能力を身に付ける。
		第2ターム	
	第2学期	第3ターム	教職に関する科目として「教育・学校心理学B」を履修することによって、幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)を理解する。教養系科目においては英語のライティング科目と基礎英語を履修することによって外国語コミュニケーション能力を高め、「日本国憲法」を履修することによって日本国憲法を学ぶ。教科に関する科目としては、工業に関する一般的包括的科目である「技術者の心がまえ」を履修することによって、技術者倫理・研究者倫理を学び、工学部共通科目である「知的財産概論」および「情報セキュリティ概論」を履修することによって、知的財産と情報セキュリティの基礎を学ぶ。「建築学概論」を履修することによって建築学プログラムの専門応用科目群の一部を修得する。
		第4ターム	
2年次	第1学期	第1ターム	教職に関する科目として「教育学概論」を履修することにより、教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想を理解し、「教育の制度と経営」を履修することによって、教育に関する社会的、制度的又は経営的事項を理解する。さらに、「教育課程及び総合的な学習の時間の指導法B」を履修することによって、教育課程の意義及び編成の方法、総合的な学習の時間の指導法を学ぶ。建築学プログラムの専門応用科目群の履修を進めることによって、建築を学ぶための基礎的な内容を理解し、適切に説明できるようになる。
		第2ターム	
	第2学期	第3ターム	「教育方法及び特別活動の指導法B」を履修することによって、教育の方法及び技術、特別活動の指導法を理解する。建築学プログラムの建築計画、建築材料構造、建築環境工学、都市計画の4分野に係る専門応用科目を履修することにより、建築の理解を深める。
		第4ターム	
3年次	第1学期	第1ターム	「教育相談・進路指導B」を履修し、教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む)の理論及び方法・進路指導及びキャリア教育の理論及び方法を学ぶ。「工業科教育法Ⅰ」を履修し、工業科の指導法の基礎を学ぶ。建築学プログラムの専門応用科目群の講義科目の履修により、建築の理解を深める。製図や演習を含む課題解決型の授業を通して課題解決方法の計画、計画の実施、データの解析および考察方法を修得する。
		第2ターム	
	第2学期	第3ターム	「生徒指導B」を履修し、生徒指導の理論及び方法を学ぶ。「工業科教育法Ⅱ」を履修し、工業科の指導法の発展的内容を学ぶ。建築学プログラムの専門応用科目群の講義科目の履修により、建築の理解を深める。実験を含む課題解決型の授業を通して課題解決方法の計画、計画の実施、データの解析および考察方法を修得する。
		第4ターム	
4年次	第1学期	第1ターム	「中等教育実習Ⅱ」を履修し、工業高校における教育の実地研究を通じて教員の資質を理解し、教員としてあるべき姿を体験する。「卒業研修又は基礎設計」において、研究の進め方や関連情報の収集方法を学ぶとともに、新入生の授業(「工学リテラシー入門」)に参加し、下級生に教えることを通じて世代を超えた協力を実践する。卒業研修において、研究の進め方やプレゼンテーション技術を学ぶとともに教科に関する科目の理解を深める。高校生に対するキャリア指導法を学ぶために「職業指導(工)」を履修する。
		第2ターム	
	第2学期	第3ターム	「教職実践演習(中等)」を履修して、教員になるための自己の課題を認識し、自己の不足している知識や技能を補い、教員として恥じない資質を見につける。同科目の一部として高校生の大学訪問などにもボランティアとして参加して世代を超えたコミュニケーション能力を高める。「卒業研究又は設計」を通じて、研究の進め方とまとめ方を学ぶとともに学んできた教科に関する科目について専門性を深める。
		第4ターム	

<工学部工学科 知能情報システムプログラム>（認定課程：高等学校 情報）

履修年次			各段階における到達目標
年 次	時 期		
1年次	第1学期	第1ターム	教職科目では、教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む）を理解する。情報に関する専門知識を学ぶ準備として、新潟大学工学部の特色科目である「工学リテラシー入門」を履修することによって、工学における学習法を学ぶとともに上級生とのコミュニケーション能力を身に付ける。教養系科目においては「日本国憲法」を履修することによって日本国憲法を学び、保健体育講義を履修することによって、健康管理の一般的な理論及び方法を理解する。
		第2ターム	
	第2学期	第3ターム	教職科目では、幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を理解する。教養系科目においては英語のリーディング科目とリスニング科目を履修することによって外国語の理解力を高め、体育実技を履修することによって、それぞれ実践できるようになる。情報に関する専門知識を学ぶ準備として、「数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作」に係る教養系科目の履修とともに、工学部共通科目である「知的財産概論」および「情報セキュリティ概論」を履修することによって、知的財産と情報セキュリティの基礎を学び、「電子情報通信概論」および「知能情報システム概論」を履修することによって情報に関する科目の一般的包括的内容を理解し、適切に説明できるようになる。
		第4ターム	
2年次	第1学期	第1ターム	教職科目では、教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想、教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む）、教育の方法及び技術、情報科や特別活動の指導法、生徒指導の理論及び方法を理解する。専門科目では、プログラミングやデータ構造とアルゴリズム、コンピュータネットワーク、情報メディアに関する講義や演習科目を履修し、情報処理や情報通信ネットワークの基礎的な内容を理解し、適切に説明できる。
		第2ターム	
	第2学期	第3ターム	専門科目では、形式言語とオートマトン、オペレーティングシステム、ネットワーク工学に関する講義を履修し、情報処理、情報システム、情報通信ネットワークに関する基礎的な内容を理解し、適切に説明できる。その他教職課程に関係のある実習科目において、ソフトウェアあるいはハードウェアに関する問題の設定、解決策の探求を主体的かつ創造的に進めるPBL型の学習を体験し、情報システムに関する情報学的設計手法を身に付ける。
		第4ターム	
3年次	第1学期	第1ターム	教職科目では、情報通信技術を活用した教育の理論及び方法、情報科や総合的な探求の時間の指導法と教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む）、教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む）と進路指導及びキャリア教育の理論及び方法について理解する。専門科目では、データ工学、機械学習、コンパイラ、経営管理や倫理に関する講義を履修し、情報システムやマルチメディア技術の発展的な内容を理解し、適切に説明できる。その他教職課程に関係のある実験科目を通して、履修してきた知能情報システムプログラムに関する講義内容を体験し、理解を深める。
		第2ターム	
	第2学期	第3ターム	教職科目では、特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解及び特別支援教育の実践に必要な知識を習得する。専門科目では、マルチメディア・コンピューティング、情報システムとセキュリティ、データベースに関する講義を履修し、情報通信ネットワーク、マルチメディア表現・マルチメディア技術の発展的な内容を理解し、適切に説明できる。その他教職課程に関係のある実験科目を通して、履修してきた知能情報システムプログラムに関する講義内容を体験し、理解を深める。
		第4ターム	
4年次	第1学期	第1ターム	教職科目の中等教育実習Ⅱでは、教科「情報」における教育の実地研究を通じて教員の資質を理解し、教員としてあるべき姿を体験する。「卒業研修」において、研究の進め方や関連情報の収集方法を学び、知能情報システムに関する情報学の専門性を深め、実験能力や研究能力を向上させるとともに、新入生の授業（「工学リテラシー入門」）にチームリーダーとして参加し、下級生に教えることを通じて世代を超えた協力を実践する。
		第2ターム	
	第2学期	第3ターム	教職科目の教職実践演習では、教員になるための自己の課題を認識し、自己の不足している知識や技能を補い、教員としての資質を身に付ける。「卒業研究」を通じて、研究の進め方を学ぶとともに、自分の考えを的確に記述、表現、発表し、他者との討議を行うコミュニケーション能力を身に付け、学んできた教科に関する科目について専門性を深める。
		第4ターム	

＜農学部農学科＞（認定課程:高等学校一種(農業)）

年 次	時 期		各段階における到達目標
1年次	第1学期	第1ターム	「農学入門ⅠおよびⅡ」（教職農業必修科目）を受講し、広範囲の農学の基礎的知識について理解する。教職の意義を考え、教員の役割、職務内容、および進路選択に資する各種の機会の提供および教科の指導法について理解する。また、日本国憲法や情報機器の操作、英語科目を履修することで、実践できる力を身につける。
		第2ターム	
	第2学期	第3ターム	「新潟の農林業」（教職農業必修科目）ならびに「土と水」（教職農業必修科目）を受講し、新潟県の農林業の概要と農学の基礎的知識について理解する。教育についての基礎的な概念と手法および生徒の心身の発達および学習の過程(障害のある生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)について理解する。また、日本国憲法や情報機器の操作、英語科目を履修することで、実践できる力を身につける。
		第4ターム	
2年次	第1学期	第1ターム	「基礎農林学実習」（教職農業必修科目）を受講し、農業の現場を理解するとともに、農学を実践できる。また、教育課程の意義および編成の方法、教育の理念ならびに教育に関する歴史および思想を理解する。
		第2ターム	
	第2学期	第3ターム	専門科目を受講し、農学の基礎的ならびに高度な知識を理解する。また、実験・実習・演習を受講し、授業で修得した知識を実践できる。また、今日求められる資質・能力を育成するために必要な教科指導の方法と、それを成立させる指導技術を理解し、その基本を身につける。
		第4ターム	
3年次	第1学期	第1ターム	専門科目を受講し、農学の基礎的ならびに高度な知識を理解する。また、実験・実習・演習を受講し、授業で修得した知識を実践できる。また、教育に関する社会的、制度的または経営的事項、教科の指導法、生徒指導、進路指導や教育相談の理論および方法を理解する。
		第2ターム	
	第2学期	第3ターム	専門分野の文献を読んだり、研究討論会（セミナー）などに参加し、農学に関する専門知知識を深める。また、高度な科目の教育方法、生徒指導、進路指導や教育相談の理論および方法を理解する。
		第4ターム	
4年次	第1学期	第1ターム	研究課題について、修得した専門的知識と技術を用いて取組み、研究結果を発表できる。また、教育実習を通して教員の業務について理解を深め、自己の課題を認識し、教員に必要な資質を向上させる。
		第2ターム	
	第2学期	第3ターム	研究課題について、修得した専門的知識と技術を用いて取組み、研究結果を発表できる。また、教育実習での体験をグループで振り返り、効果的な板書や説明の方法を身に付けることおよび専門分野のまとめを行い、その分野の背景や研究の意義を理解し、教職実践演習を通じて自己の課題を認識し、教員に必要な資質を向上させる。
		第4ターム	